

願望実現法とUFO出現特集

UFO

SINCE 1961  
GAP-JAPAN NEWSLETTER



UFO/超能力/宇宙哲学

コンタクティー

contactee

SPRING  
1994

124

信念の力、希望の力、絶対に諦めない力を起こす方法

今世紀末、大変動発生なし！  
私を助けてくれる異星人達  
アダムスキー型円盤、長時間出現  
浅草上空に出現したUFO

UFO・宇宙・人間



CONTENTS <Dedicated to Space Brothers and Cosmic Consciousness>

〈巻頭言〉 黎明	1
<b>信念の力、希望の力、絶対に諦めない力を起こす方法</b>	久保田八郎 2
今世紀末、大変動発生なし!	秋山 真人 8
〈写真〉浅草上空のUFO	松村 芳之 13
私を助けてくれる異星人達(2)	上原 則子 14
我が家の周囲に不思議な光とUFO	武村 豊助 18
アダムスキー型円盤、長時間出現	石井 佳子 19
GAP短信	21
科学—SCIENCE	22
浅草上空に出現したUFO	堀江 健一 24
不思議な夢	久保田房子 26
夢の中で激励される/感動のUFO出現/ある未来透視	関 高明/山岡みよ子/瀬尾あゆみ 27
イメージ法で美術館が実現	清水 南 28
丸暗記とイメージ法で英会話の達人	首藤 秀利 29
英語上達のための助言(2)	久保田八郎 31
<b>UFO・宇宙・人間</b>	G. アダムスキー 32
1993年度日本GAP総会	岡部 智成 40
久保田先生と語るう会	加藤 純一 42
〈予告〉第1回・横浜支部大会	43
〈予告〉第5回・秋田支部大会	44
〈予告〉第2回・伊豆支部大会	45
本誌/バックナンバー掲載記事目録	46
〈予告〉1994年度日本GAP海外研修旅行	47
〈投稿欄〉ユーコン広場	48
〈広告〉新アダムスキー全集	50
編集後記	51
日本GAP全国月例セミナー案内	52



金星人からジョージ・アダムスキーに伝えられた金星のシンボルマーク。2個の図形の内、左側は宇宙の父性原理(陽)、右側は母性原理(陰)を意味する。円は宇宙をあらわしている。

## GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来たるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コスミック・パワー”の子であり、そのパワーの諸法則が宇宙に遍満している事実を確信をもって知ること」にありました。この諸法則は他の世界(惑星)から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”の研究と理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・ブラザーズ問題を関心ある人々に伝えることにあり、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることにあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米ソ等の大国政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト(接触)しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・ブラザーズとコンタクトしている人々が少数存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

### 〈表紙写真〉

1978年11月15日午後4時頃、ブラジルのゴヤス州のイバマリで撮影された円盤型UFO。撮影者不詳。

アダムスキーをいかかわしい人物と  
きめつけた本は昔から国内外に跡を絶  
たない。現在でも彼のUFO写真を模  
型による偽造だと断じた記述が出回っ  
ているらしい。そのために関心ある宇  
宙的なカルマを持ちながら、自己をみ  
ずから俗物的な井蛙の管見におとす若  
い人々が少なからずいると思われる。

印刷された文章は一見して権威があ  
るように見えるが、これを活字の持つ  
説得力という。特に横文字に弱い日本  
人は、海外で出版されたUFO関係の  
書物を見ると一も二もなく正確な立派

<巻頭言>  
めい  
れい  
明  
黎



な内容だと思ひ込み、神様から与えら  
れたご宣託のごとく拝み奉つたりする。  
そしてその内容を鵜呑みにしてUFO  
関係の記事を書いたりする。こうした  
例が過去にどれほどあったことか。編  
者は昔UFOの専門誌を出す出版社を  
経営して多くのUFO関係の原稿を集  
めていたから、裏面をよく知っている  
つもりだ。

現在もUFO関係のまやかし本が出  
回っている。例えばイギリスで数年前  
に発行された『UFO百科辞典』と題  
する分厚な本を見ると、アダムスキー

の項目があるにはあるが、その解説文  
の中に次の一節がある。

「またアダムスキーはパロマー山一  
世、最大の望遠鏡」と多くの関係を持っ  
たが、実際にはその関係は山腹の旅行  
者用軽食堂で彼がハンバーガーを出し  
ていたことであり、その詳細は後に彼  
の書物(複数)で明確にしている」

この文章は歪曲の極に達したも  
のであり、真実とはおよそかけ離れた記  
述である。アダムスキーが何度も述べ  
ているように、あの軽食堂は弟子のア  
リス・ウエルズ女史が経営していたも  
のであって、これはアダムスキー一族  
の生活費を捻出するための仕事であっ  
た。この詳細については編者もウエル  
ズ女史から直接に聞いたことがある。

またパロマー天文台の二〇〇インチ  
(五メートル) 反射望遠鏡は「世界最  
大」ではない。この望遠鏡が建造され  
た当時は確かに世界一であったが、そ  
の後一九七六年にソ連(現在はロシ  
ア)がゼレンチュクスカヤに口径六メ  
ートルの反射望遠鏡を建設して、これ  
が世界最大となっている。前記の百科  
事典が七六年以前に書かれたものなら  
ば、パロマーを世界最大と記しても正  
当であったが、この本は初版が一九九  
一年となつてゐるから、パロマー世界  
一は完全な誤りである。その他、アダ  
ムスキーの写真説明には、彼のことを  
「誘拐されたアダムスキー」と書いて  
いる。

こんなずさんな本の著書が当代一流  
のUFO研究者と称されているのだから  
恐れいふ話だ。天文学関係の知識  
は皆無といつてよい。たぶん反射望遠  
鏡の仕組みについても知らないだろう。  
以上の例でわかるように、世界のU  
FO研究界は、ひどく混乱していて、

特になぜか「誘拐事件」を好む研究家  
が多いのは特筆にあたいする。誘拐、  
巨大な目玉のついた逆三角形の顔のオ  
バケ宇宙人、宇宙船内での検査、事後  
の催眠術による記憶追跡テスト等々。  
こうしたパターンの背後にはある種の  
情報工作が潜んでいると思われるが、  
詳細は述べきれない。

しかしジョージ・アダムスキーの燦  
然たる宇宙的な体験や哲学が盲目的な  
UFO研究者に踏みこじられてゐる現  
状は長続きしないだろう。というのは、  
すでに天文学界によつて冥王星の内外  
に次々と惑星が発見されているからで  
ある。

『科学朝日』一九九三年一月号五  
六頁の記事によると、九三年度に海王  
星より遠くを回る小天体四個が次々と  
発見されて総計六個になつたとある。  
しかも最初に発見された二個の軌道半  
径は、いずれも四三天文単位、距離を  
有するが、これは太陽系で最も外側  
にある三九天文単位の冥王星よりも軌道  
半径が大である(一天文単位は地球と  
太陽間の距離を一としたときの単位)。  
かつてアダムスキーは、我らの太陽

系の惑星数は九個ではなくて一二個だ  
と声明した。これに対して起こつたの  
は嘲笑だけで、むかしGAPの月例  
会に来た一青年は、「九を一二と間違  
えた翻訳者の誤訳ではないか」と息ま  
いでいた。笑い話にもならない。

学校で与えられる知識が絶対的に正  
確であると思ひ込んでいる人々が、そ  
の知識でもって個人の価値観を醸成  
するのはやむを得ないことであるし、  
また学校教育のシステムを軽視するわ  
けにもゆかないが、少なくとも「洗脳  
されて一種の固定観念に縛られてしま  
う」ようになりがちであることは否定  
できない。「UFOなどを信じる奴は  
教室から出て行け」と先生から怒鳴ら  
れる学生生徒は、その時点から教師の  
知識の次元に引きずり込まれて閉塞さ  
れた世界で生きることになる。

だが何度も言うように、来世紀には  
太陽系の惑星群の驚異的な実態が明か  
るみに出て世界が驚愕し、古い価値  
観が崩壊して真の意味での宇宙時代が  
到来するだろう。

その兆候はすでに見えている。前記  
の小惑星群の発見がその曙光なのだ。  
現在日本やアメリカがハワイに建設を  
計画している七〜八メートル級の超巨  
大光学望遠鏡が建設されて稼働するな  
らば、これだけでも近隣の惑星群に関  
する驚くべき実状が発見されるだろう。  
そしてアダムスキーの正しかったこと  
が立証されるようになるだろう。(久)

# 信念の力、希望の力、絶対に諦めない力を起す方法

★久保田八郎 (日本GAP会長)

一九九三年一〇月一〇日、都内港区芝公園の機械振興会館で開催された一九九三年度日本GAP総会は大盛況を呈した。この記事は当日の久保田会長の講演録に自身で加筆修正したものだ。満員の参加者に深い感銘を与えた。

## 危険をのがれるカルマ

皆さん、こんにちは。本日は遠い所から多数ご来場頂きまして、どうも有難うございました。

日本GAPを創立したのは、正式には昭和三十六年（一九六一年）でして、今年は一九九三年ですから、ちょうど三十二年になります。その前にアダムスキー師と文通を始めましたのが昭和二十九年頃だったと思います。それから通算しますと三十九年になります。

その間、ずいぶんいろいろな事がありました。ときにはどうしようもないほどのどん底におちいったこともあり、あるいは素晴らしい出来事も

ありました。ずいぶん危険な目にもありました。私は危険をのがれる特殊なカルマをもつ人間ですから、その点はだいたいようぶです。

特殊なカルマといっても生まれついたりカルマなのか、あるいは後天的なのかはよくわかりませんが、子供の頃から不思議な事が連続してありました。

## 異星人の外見は普通の人間

危険をのがれる特殊なカルマといいますが、これには実はスペース・ピープル（友好的な異星人）の方々の援助があったと言っても間違いはないでしょう。一例をあげますと、この前八月に日本GAPは海外研修旅行に出かけ

ました。八月一三日に成田を出て、二日に帰国するという一〇日間の旅行でして、最初はサンフランシスコへ行つて、それからメキシコとグアテマラへ行つたわけです。そしておもに古代マヤの遺跡を見学して歩きました。

実は途中飛行機の中で私は一人のスペース・ブラザーの方に会ったのですが、後に秋山眞人氏から聞いたのが、どうやらスペース・ピープルの方々は、リレー方式でグループなり個人なりを護衛されることがあって、それを誰にも気づかれないでひそかに行なつておられるということ。神に近い方々ですね。

といっても神様ではないんです。普通の人間です。まったくの人間そのもの。そして、肉体を持って我々のように服を着てカバンを持って歩くというような人です。

現在、東京都内ではX区とZ地区一帯にスペース・ピープルが集中して活動を展開しているのだそうです。この下町地区に集結している理由が私にはわかりませんが、これも秋山氏から聞

いたことです。明日は観光でそのあたりに行きますから、注意して下さ。といつても、それらしい人を見た場合に、あとを追っかけ回してもダメです。たんなる興味本位で探し出そうとしても、絶対に見つけることはできないでしょう。本物を見分けるにはテレパシーで感じるか、あるいはオーラで見抜くかして、特殊な方法を用いないと、見分けることはできません。

## アダムスキーの原点に返ろう

この頃私が痛切に感じますことは、アダムスキーの原点に返らなくてはダメだということです。これを腹の底から感じます。

現在、アダムスキーは忘れ去られたような状態です。多くのUFO関係の書物が出ますけれども、アダムスキーのAの字も書いてはありませぬ。たまに書いてあれば大悪口といったような状態。アメリカではまったく知られていませんね。なぜならアメリカではアダムスキーの本が出なくなつて

## ない力



▲1993年度日本GAP総会における久保田会長の講演(上) 撮影/松村芳之

から数十年になりますから、人が知らないんです。

しかしアダムスキー問題の核心となる活動は着々と進められていまして、いま申しましたように、スペース・ピープルの方々は世界中に散らばって活動しておられるようです。

が、世界的な大戦争の発生を極力防止するように活動しておられるのだろうと思います。

## 今世紀の大変動発生説について

いま世紀末に大変動が発生して、地球はダメになって、地球上の人類はほ

んど死滅してしまうんだというような書物がいろいろと出ています。

しかし全地球規模の天変地異の大変動は今世紀末には起こりません。局地的な天変地異はあちこちで起こるでしょう。火山活動や地震のようなものは昔から現在まで発生している事です。しかしあと六年間の今世紀末に世界的

規模で大変動が起こって、大陸が沈み、海中から大陸が隆起するというようなことはありません。

二〇年ぐらい前に東京の町が今にも海中に沈むという予言をしていた人がありますが、何も起こりませんでしたね。ただし東京で大地震がいつ起こるか、これは予測できません。いつかは起こるでしょう。しかし、明日、明日のことはありません。戦争は世界で局地的に当分はつづくと考えられます。

## 最重要なアダムスキー問題

アダムスキーの原点に戻るといこうとは、私が昭和二〇年代の終わり頃にまったく偶然にアダムスキーの本を一冊見つけまして、そのときにはびっくり返らんばかりに驚いたのですが、あのときの驚喜乱舞した当時の状態の原点に戻りたいなあと思っているんです。それはなぜかと言いますと、いま申しましたように、アダムスキー問題の延長である別な惑星の方々の活動が、いま熾烈に水面下で展開しているからです。知らないのは一般人だけです。

それとアダムスキーの説きました『生命の科学』や『宇宙哲学』ですが、これほどに重要な内容の書物は他にないということ、この頃痛切に感じるので。

新アダムスキー全集は現在全部で一

○巻ほど出ていますが、この中で最も重要なのは、第一巻の『第二惑星からの地球訪問者』と第三巻の『生命の科学』です。全一〇巻とも皆重要ですが、特に重要なのはこの二冊です。

私が何かの理由でどこかの島へ流されるとして、書物を三冊ほど持って行ってよいという許可が出たとすれば、私はその第一巻と第三巻、それと新約聖書を持って行きます。

新約聖書も重要きわまりないものとして私はときどき読みます。私はクリスチャンではありませんし、キリスト教とは一切無関係ですが、あの書物は金星から地球へ転生して（生まれ変わって）こられたイエスという方の説いた宇宙の法則、特に愛の法則が克明に伝えてあるんです。これは非常に重要です。

## 絶対にあきらめないこと！

『第二惑星からの地球訪問者』の中で最も重要な部分はどこかといえますと、これは母船の中でマスターの方々が話しておられる部分がありまして、そこも重要ですね、私が特に引かれますのは、火星人のフアーコン氏が喫茶店の中でアダムスキーに話している二七九頁から二八〇頁にかけて述べた部分です。

「私たちはあなたがたの言う失望なるものを知りません。それは消極的な言

葉です。ずっと昔、私たちは信念の力、希望の力、絶対にあきらめない力などを学びました。昨日失われたゴールを明日は勝ちとることが出来ます」

これぐらいに重要な言葉はありません。自分で言うのもおかしいようですが、私ほどにこの言葉を実践してきた人間は、あまり沢山はいらっしゃらないだろうと思います。

なんとすれば、さつき申しましたように、アダムスキー問題を私が四〇年近くも前に始めた頃は、人がまったく信じもしないで、あたまからバカにしかかるとするような問題だったからです。いまでもそうですがね。それを私は四〇年間やってきたわけです。絶対にあきらめないでやってきたんです。どこまでもやるぞと。もちろんこの世界を去るまでやります。

## 人間の偉大な信念の力

「あきらめない」ということは、いろいろな意味があるんですが、ときにはあきらめる必要もあります。ただしどういう事をあきらめなくてはいいか、どういう事をあきらめてはいけないか、という所の区別がちょっとむづかしいのです。

私がむかしアダムスキー問題を始めました頃は、絶対にあきらめないでやってゆくぞという強烈な決意をもって開始し、現在までやってきました。

あんな「突拍子もない」問題を、こんなに長くつづけた人はあまりいないと思いますね。

それから『信念の力』『希望の力』これは昔からよく言われていることです。特にジョセフ・マーフィー博士の本ではこのことが力説してあります。

人間の信念の力ほど強力なものはないということ、ユークン誌の一二二号に、塩谷信男先生という九一歳の医学博士の方が『万物は人間の信念に感応する』と題する記事を書いておられますが、その中で極力言っておられませぬ。信念の力というものは物凄いものだ。その中で樹木が先生の信念に感応して驚くべき行動を示したという例が述べてあります。

## 細胞は人間の信念に 応える

私自身は信念の力によって体力を保つことを、いままで猛烈に実践してきました。私はいま六九歳ですが、しかし『永遠の二四歳』という気持ちでおりまして、絶対に年をとらないぞという信念を保持しています。

なぜ二四歳にこだわるかといいますと、その年の一年間は非常に楽しい年だったのですから、その頃の気分を保とうというわけです。過去には辛いこともありましたが、人間は楽しい事だけを思い出せばよいのです。先ほどの話にも出ましたように、こ

の夏の海外旅行では、早朝に集合ということが何度もあるようなハードな旅でしたが、私は決して遅れることはなく、暗いうちに起きて敏速に支度をし、時間どおりに行きます。ですから皆さんが「なんとお元気ですね」と驚いておられました。これも私の信念の力によるものです。絶対に私の体力は衰えないぞという信念が全身の細胞に影響を与えているわけです。

## 驚くべきメダカの実験

細胞とは生き物ですから、人間の信念によって、どうにでもなるんです。いつかも秋山眞人氏がテレビで超能力の素晴らしい実演をやっておられました。ガラスコップを二つおいて、その中に水を一杯入れて、両方にメダカを二〇匹ずつ入れて自由に動き回らせておきます。

それを秋山氏が信念の力によって片方のメダカ群を全部ズット底へ沈めてしまい、片方のメダカ群を活発に動き回らせるというふうになるように、信念を送ったのです。一〇分ぐらいかかったようですが、結局はメダカ群がそのとおりの状態になってしまったのです。これは驚くべき光景です。

そこで司会者の方が「どうしてそんなことがやれるのですか」とたずねたら、「イメージを描くのだ」と言っておられました。



▲ジョージ・アダムスキー

つまり片方のメダカ群は底に沈んでじっとしているイメージを描く。片方は活発に動き回っているイメージを描くのだそうです。そうすると、その想念がメダカに行つて、メダカたちがその想念の指令によって行動するわけです。

でも水の中にいるのに、どうして人間の想念が届くのかと思われまじょうが、秋山氏によりますと、水というのは人間の想念の影響を最も受けやすい物質なのだそうです。だからイエスは水を大量に葡萄酒に変えたりしていますが、あの物語は荒唐無稽なようですが、実際は、やれるんです。皆さん方にもやれる能力があるはずですよ。メダカで実験をやってみられてもいいですね。超能力開発、というよりも信念の力の開発に非常にいい練習になります。

私がおかしアメリカで聞いた話では、アダムスキーも水をワインに変える能力を持っていたということですよ。

## 想念波動で花を動かす

あるいは想念によって花を動かす練習もいいですよ。その場合は花が動いている光景をイメージとして描くとよいでしょう。すると静止している花が生き物のように動き始めるんです。

これは私も一度ほど経験があります。数年前に私が新宿の秋山氏の会社へ行って宇宙的な話を聞いたあと、非常に

心が高揚してきて楽しい気分です。帰る途中、新宿駅の構内に花屋さんがありまして、その前を通りかかったときに、その台の上に鉢植えになった薔薇の花が五、六個あつたものだから、これは奇麗だなどと思って、「やあ、薔薇さんたち、こんにちは」と心の中で叫んでテレパシーで送りましたら、薔薇の花のすべてが一斉にガサガサと大きく揺れたんです。すごく大きく動くんです。

初めは風のせいかなと思いましたが、あそこは風は絶対に吹かない所で、電車や人の歩行による振動もない場所です。たぶん私の想念が届いて揺れてくれたか、あるいは私が想念を発したときに近くにスペース・ブラザーの方がおられて、想念を送って援助して下さったか、どちらかだろうと思います。

アダムスキーは花をたびたび動かしたと聞いています。あれはどういうことかといえます、アダムスキーがヴィスタの家に住んでおりました頃のことです。彼が亡くなってから私は何度もそこへ行きましたが、あの家の裏には広い花畑がありまして、あらゆる植物が植えてあります。

その中に一群のコスモスの畑があります。そのコスモスに向かってアダムスキーが呼びかけると、コスモスたちが一斉にサーッとなびいたのを、アリス・ポマロイ女史がそばにいて見たことがあると言っていました。

風のせいではないかと思われましようが、そのとき、風は吹いていなくて、ほかの花は動かないのに、コスモスだけが一斉に動いたということです。

こうしたことは皆さん方も練習でやれるようになりますから、ふだん想念の力を強めるために、毎日のように花に向かって練習されるとよいでしょう。

本日の篠司会者は自宅で花を動かす練習をやっているそうでした、この頃はかなり動くようになったと言っていました。本日はあとで篠司会者がその実演をやりま。

## すでに実現しているー

ただし心の中でイメージを描くときに一つ問題があります。たとえば病気の方もイメージ法によって治すこともできるんですが、一つは「必ず実現する！」という反復思念を行なうこと。もう一つはイメージ法です。この二つが重要なんですが、これは同時にやるよいですね。

何か望ましい物事を実現させるときにはこれを応用するんですが、特に病気が治そうと思われまさらば、「必ず治る！」という思念は基本的に重要ですが、これだと「今は治っていないけれども」という前提がつかまっていますから、そうではなくて、「もう治っているんだ！」という思念を強く起こすのです。

一方、イメージ法も、「いずれ治るんだ」という、いつか未来に治ったときのイメージではなくて、「もう治って完全な健康体になっているんだ」というイメージを描くんです。

そんなイメージを描けといつたって、いま苦しんでいるのに描けるはずはないではないかと思われましようが、そのところで信念の力を応用するんです。「いま自分に、完璧に治った非常に美しい姿がダブって存在しているんだ」とみて、その美しいイメージを描くのです。それがポイントです。

## 生きていくプラトーン哲学

人間は本来、完璧な姿になるように宇宙の創造主から創造されているはずなんです。大体、病気というものは、この宇宙に存在しないはずなんです。存在すると思っているのは、太陽系では地球人ぐらいのものでしょう。

この大宇宙で人間が病気で苦しむように創造されたはずはありません。みんな完璧な健康体、美しい体で創造されたはずなんです。完全な体の原形が肉体内にダブって存在しているんです。

このことに気づいたのはアダムスキーだけではありません。はるか大昔、ギリシャの偉大な哲人でありましたプラトーンが、このことに気づいて言っています。

プラトーン哲学は、いまは死物のよう

に扱われていますが、あの哲学は物凄いものです。いまでも私たちが現実の世界に生かすことができる哲学です。しかし近代の科学の発達で唯物論がはびこったものだから、忘れ去られてしまいましたね。

プラトーン哲学のなかで最も重要なのはイデア論です。これはどういうことかといいますと、あらゆる万物には完璧な姿が原形として存在していて、その元の完璧な姿のとおりになんか生成発展して完成されようとしているんだというわけなんです（ここで正三角形の例を説明する）。

このように、人間にも完璧な元の原形が存在していますから、その通りのイメージを描くと、そのとおりに肉體が変化してくるはずなんです。そうして病気が消えて、美しい体になってくるはずなんです。

## 大宇宙は自分自身

人間は宇宙の外側ではなくて内側で創造されています。ちょうど母親の子宮の中にいる胎児は母親と一体化して母親に護られています。これと同様に人間も宇宙と一体であって、宇宙に護られています。したがって「私は大宇宙、大宇宙は私」というフィーリングをたえず持ちつづけることが必要です。

世の中にはいろいろな哲人や宗教

家がいらつしやいまして、いろんな優れた説を唱えておられますが、どうも「大宇宙は自分自身なのだ」という思想は、あまり見当たりませんね。

（ここで講演者自身が信念の力とイメージ法によって、地方から東京へ移住後、まもなく出版社設立を実現させた実例を詳細に語る。その会社経営中に二人の異星人が突然仕事の援助に来た状況も話す）

## スペース・ピープルに送信

さきほどから申しましたように、信念の力をもって望ましい物事を実現させるために、反復思念をする、イメージを描くという方法は絶対的に有効です。一般人はこういってはいけません。これは素晴らしい宇宙的法則ですから、皆さん方が何かを実現させたいと思えば、これを実践されるとよろしいでしょう。（ここで、この方法を応用して素晴らしい女性の伴侶を見つけた古い会員の実例を話す）

それで、どうしても反復思念ができない、イメージを描く力が弱い、というよりも重病のためにそれができない場合は、最後の手段が一つあります。

それはスペース・ピープルに強烈に送信して、なんとか助けて下さいという想念波動を送るのです。そうしますと、場合によっては助けて下さるでし



よう。その実例が一つあります。

今年の八月の海外旅行中、メキシコでひどい頭痛で寝込んだ佐々木八郎氏が、スペース・ピープルに援助を求めたところ、夜中の二時頃に突然、ホテルの窓の外から強い光が室内に照射されて、びっくりしたそうですが、それ以来急速に頭痛が治ったと言っていました。部屋の外へ円盤が何かやってきて、「来ましたよ」という合図のために強烈な光を照射して、頭痛を治すための波動を送って治したのかも知れません。翌日、佐々木氏は元氣になっていましたね。

ただしスペース・ピープルに援助をお願いするのは万策つきた最後の手段であって、安易に行なってははいけません。最後まで自分の努力で打開するのが原則です。

## 自身の内部の宇宙の意識の声を聞く

望ましい物事を実現させるには、反復思念とイメージ法の応用によって実現させることができますが、人間には生まれつきある程度の宿命つまりカルマというようなものがありますから、自分がある社会的地位につきたいと思っても不可能なことがあります。

たとえば私が大臣になろうとしてもそれは絶対になれません。私は政治家になるカルマを持っていませんので、そんなことでいくらイメージを描いて

もだめなんです。実現はしません。

そこは自分の内部の意識からくる印象によって、自分は何をやったらいいか、どういう状態になったらよいかということを知るので、つまり自分の内部に宿る宇宙の意識の声（創造主の声）を聞くのです。

したがって、自分の進路はあくまでも自分で決めるのですが、それも頭の先つちよで考えないで、自分の内部の宇宙の意識からくる印象の声を聞くようにするのがいいです。

その声を実際に頭の中で響くことがあります。私はときどき声を聞きます。あるいは声ではなくて、なんとなく印象としてわきおこってくるとか、あるいは夢の中で教えられることもあります。

そのために私たちはアダムスキー哲学によって研鑽しているわけですが、自分のマインド（心）、つまり目と耳と鼻と口の四つの感覚器官からなるマインドすなわち心を完全に静めて、内部の腹の底からわきおこってくる印象を聞き取るようにするとよいのです。

## 宇宙の創造主を認識する

ここで重要になるのは、宇宙の創造主の存在を明確に認識する必要があるということです。この創造主のことをアダムスキーは「宇宙の意識」と言っており、スペース・ピープルの

生き方にはこの「大宇宙の創造主」の概念が根底をなしているとのことで、眠っているときでも創造主のことを忘れないとアダムスキーの著書に述べてあります。

私自身もこの頃は道を歩いていても、ほんやりと歩かずに、左右の足の歩調に合わせて「大宇宙の創造主さま／有難う／ございます」とリズムカルに唱えながら歩きます。これをつづけていきますと、自分の精神が非常に宇宙的に高揚してきます。大体に、歩くときに歩調に合わせて何かを唱えるというのは素晴らしい方法ですね。それは反復思念なのですから――。

「大宇宙の創造主」といえば宗教がかって聞こえるかもしれませんが、これは宗教とはいっさい関係はありません。「久保田はアダムスキー教の教祖である」というふうな悪口を書いた本まで出ているようですが、これは有難いことです。そうまで私の事が気になるのかなと感謝にたえません。

今お話したことは今まで何度もお伝えしたことなのですが、私自身がこの頃痛切に感じて自分でも実行している事であり、皆さん方に少しでも認識して頂ければ幸いです。

大体に大宇宙の創造主（Creator）という概念は、私たちが本当の意味での宇宙的な信念を持つための重要なキイとなるようです。現段階の地球人は創造主なるものを想像の産物程度にし

か考えておらず、これを信ずる人があるにしても、宗教に関連させて、ひどくゆがめています。

スペース・ピープルの言う創造主なるものは、地球人の理解をはるかに超えたものであるらしく、たぶん科学的な裏付けのもとにその概念が確立していると思われませんが、詳細はわかりません。

しかし、それでも私たちは地球的レベルから出ないにしても、自分なりの努力によって創造主なるものの理念を持つほうが、持たないよりはるかによいことは、私自身の体験から言えることです。つまり私たちは、大宇宙の創造主に近づこうとすればするほど、スペース・ピープルが私たちに接近して来ることがわかるのです。

いま地球人のなかに、無限ともいえる宇宙の広大さ、人類が居住していると思われる無数の惑星や無数の天体を擁する無数の銀河系などの生命や文明に思いを馳せて生きている人がどれほどいるかと言いますと、ほとんどないでしょう。つまり地球人は大宇宙の中のケシ粒ほどでもない惑星の表面でしか「浮世」や「人生」や「世界」というものが感じられないのです。

これを脱却して大宇宙そのものを実感する、というよりも体感することが、真の宇宙人間になる上で重要です。そのために宇宙の創造主という根源的なものを把握することが重要ですね。

No Catastrophe will Come!  
by Makoto Akiyama

# 今世紀末、大変動発生なし!

## ●秋山眞人

超能力者で異星人とのコンタクトイヤーとしても名高い秋山氏が、昨年九月に氏の事務所編者に語った話の抜粋。きわめて興味深い有益な内容である。



▲秋山眞人氏 撮影/久保田八郎

今世紀末に自然界の大変動が発生すると言いが氾濫している。

今世紀末が変動期であることは間違いないありません。ただしそれは自然界の変動というよりは、今回は明らかに人間そのものの生活権といえますか、価値観といえますか、その基準点の変動が大きいです。これはすでに起こり始めています。

今までのデータからみますと、国家というものの概念が大きく変わってきています。これは日本においてもそうですし、海外においてもそうです。イスラエルとPLOとが泥仕合をくりかえしてきた宗教戦争の終焉または平和に対する歩み寄りがあったわけです。大体に人間の想念が闘争的であるままに世紀末を迎えますと、カタストロフィー（大破滅）を引き起こす要素はありますね。そのことをスペース・ブラザーズ（異星人）が感じた上で、ひじょうに政治的力を持っている方とか特に科学界と政治の世界の中間におられる方々にテレパシーを計画的に送っている印象を受けます。

一つは政治的な大きな変化が起きていますし、もう一つは科学界に大きな変化が起きているわけです。既成の科学的または合理主義的な考え方と、東洋的なものの価値観にもとづく考え方が互いに相手を受け入れて新しい物を

作り出そうとする傾向がすでに始まっています。

西洋の合理主義というのは、物から発生して心へ行きます。ところが東洋の科学というのは、心から発生して物へ行きます。それが最後の融合点に来て、それが融合する状況が見つければ、その新しい土俵の上に新しい局面が構築されてきます。

そうすると、まずは人間間のテレパシーの問題とか、フリーエネルギーの問題とか、宇宙文明に進化するための非常に重要な問題が現実起こってくるのが考えられます。

それと同時に例のノストラダムスの予言を中心とした終末思想も出てきます。これは以前にも申し上げましたが、世紀末のたびに終末思想が出てくるんです。なぜか非常に実力を持った人たちがそのような変動の予言をされるわけです。彼らはそれによって予言が当たらなければ信用を失ってしまうにもかかわらず、多くの直感的な人たちがそういう予言をせざるを得ない衝動にかられるというのは、人類全体の直感的な潜在意識の中に、警告を発しなければならぬというシグナルが広がっているんだらうと思うんです。

それは具体的な滅亡とか崩壊というようなビジョンではなくて、この時期に集中して、将来の目的であるとか、新しい創造性であるとか、そういったことを考えなければならぬというこ

とに対する一つの促し<sup>うなが</sup>というか、論し  
ではないかという気がするんです。

人間というのは、そういう緊張した  
状態にならないと、本格的に何かの目  
的を得ようとか、能力を高めようとか  
いう気が起こらないわけです。したが  
って、終末思想<sup>しゅうまつしゆ</sup>というのは、そういう  
ものを促<sup>うなが</sup>そうとする人類全体の意識の  
作用ではないかと思うんです。

特に日本という国を考えた場合は、  
以前から日本の直感的な人たちは、  
往々にして日本が世界の中心になる  
という不思議な予言をしているわけ  
です。それは国粹主義的な問題だけ  
ではなく、国際問題だけを見ても日  
本はしだいに世界の中心になる  
うとしています。どういふふう  
に中心になるかといひますと、東  
洋と西洋を結び中間にありなが  
ら非常に自由な言論ができる国家  
であるといふふうに、とにかく自由  
というものがアジアの中でも非常  
に保証されている国です。

一方、アメリカはある意味では、現  
代の近代キリスト教のベースがある  
わけです。そこには正しいものもあ  
りますが、沢山のドグマ(独断的な  
説)もあります。そういう点からみ  
ますと、日本は西洋的な洗礼を受  
けていながら、そのようなものにも  
固まっています。また中国の東洋  
思想に完全に固まっているかとい  
うと、そうでもありません。非常  
に自由な観点から双方を眺められ  
るわけです。そういう国家であるか

こそ、ありとあらゆる東西文化の衝突  
といひますか、そういうものが日本  
から出されてゆくでしょう。それで  
沢山の闘争性のタネが日本から発  
してゆくだろうということが予測で  
きるんです。これは科学界にしても  
政治の世界にしても、また技術や  
芸術にしてもそうだと思うんです。

とにかく日本というのは、外側から  
入ってきたものを、非常に高めて  
また外側に返してゆくという不  
思議な性質を持つた国でして、こ  
の因縁めいた性質が東洋から来  
たものをも高めて、融合させて  
新しいものを創りだす役割を日本  
が担っているということなんです。

ですから今年<sup>ことし</sup>は人間の非常に高周波  
的なエネルギーが、つまり潜在意識  
に抑圧されていたものが表面に出  
やすくなる、つまり想念に明確に  
形になってくる年だということをは  
っきり感じましたね。

大体、人間の想念に最も敏感に反  
応する物質は水です。たとえば念  
力を出せる人や超能力を持つて  
いる方が念だけで水の性質が簡  
単に変わってしまひます。持  
った人の波長に応じて水はすぐ  
変化します。

こういう時期的にも人間の想念が表  
に出やすい年というのは、やはり  
水にかかわる突発的な事が起  
こりやすい傾向があるんです。  
ですから、今年<sup>ことし</sup>はタンカーが  
水没する事故が多発しました

ね。それから台風とかいろんな水に  
かわる自然現象が活発に起きた  
年で、これからも年末までに  
いろいろな事があると思ひます。

来年(一九九四年)は今度は生命相  
互をつなぐ意識の世界が非常  
に活性化してくる年です。で  
すから今度は人間同士の非常  
に新しい事件だとか、企業の  
盛衰みたいなものが非常に激  
しく動いて、会社制度、つまり  
人間のネットワークそのもの  
の価値観の転換が末端まで進  
む年になるだろうと思ひます。  
それが九五年、六年といきま  
して、九六年に香港の返還、  
西中国の自由化があります  
が、これが具体的に日本経済  
に影響を与えてくるのは、非  
常に早いスピードでそうなる  
でしょう。

そうすると本格的にアジアの人  
たちの想念が、あらゆる活動  
にかかわってくることになる  
でしょう。そうすると九六年  
と九七年は激しい想念の  
転換が行なわれるでしょう  
が、結局、最終的には日本  
が中心になって国際間、世界  
間が変わるというポイントが  
一九九九年あたりにある  
のではないかと思ひま  
す。

つまり今までの総集編といひ  
ますか、いろんな事がいろ  
んな世界から浮き始めて、  
その最終的な転換が行な  
われるわけですが、しかし  
これは自然界の大変動で  
はなく、人間界の価値基準  
の転換です。そして新世紀  
を迎えてゆくということに  
なると思ひますね。

医療面ではここ数年の内に  
ウイルスと遺伝子工学の  
問題が非常に大きな進歩  
をとげるでしょう。これは  
やはりアメリカと日本との  
合同作業によって、沢  
山の発明発見が行なわれ、  
しかもそれ自体が生命その  
ものに対する価値観を  
変えてゆくという印象を受  
けます。

もう一つは、自己増殖、つまり  
自分を増やしてゆくとい  
う、細胞と同じの自己増  
殖能力を持つコンピュー  
ターのようなものが  
沢山出てくるでしょう。  
これはやはり新しい  
価値観の転換だと思ひ  
ますね。

それともう一つはエネルギー  
問題の解決が非常に近い  
将来に迫ってくるで  
しょう。しかしエネ  
ルギーが楽に手に入  
るようになると、また  
いろんな問題も出てくる  
ようになるでしょう。

### 日本経済の未来について

今は日本経済はどん底だとい  
われていますが、私は比較  
的回復は早いとみていま  
す。大変な不況だとい  
うのですが、貯蓄量は減  
っていないわけです。  
国民の皆さんが今  
まで儲けたお金を使  
わないんです。先行  
き不安だという世  
論を気にしてお金  
を使わないわけです。

経済状況を調べてみ  
ますと、今年の夏  
の海外旅行は日本  
人が最もお金を使  
っています。パ  
プルの絶頂の頃  
よりも今のほうが  
お金を使っています。  
ですから財布の  
ヒモを締めておく  
のが耐え

切れなくなつて、しだいにお金を使い始めてくるでしょう。しかし今までよりも慎重に投資をしようし、企業自体はスローペースで動いてゆきますから、しばらくは不況が続くでしょう。

実質的な景気そのものは、つまり落ち込む要素は未来にはあまりないんです。中国の自由化が本格的になつてくる以前には、南北朝鮮の統合は目に見えています。三八度線が開放されるのは、今のところ数字の正確な予測はできませんが、これが起こる前後には多少キナクさいといえますか、多少の戦闘状態が予測されますね。

それが悪い方向に行き過ぎると、日本からの派兵ということもありうるのではないかとすることも少し感じますね。これはひよつとしたら九七年から九九年までのあいだに起こる可能性があります。どちらにしても国連軍の介入があると思います。それは小規模なもので、過去のような大戦にはならないでしょう。

すでに今は人工衛星網がありまして、どこかで戦争が起きれば、人工衛星で数時間のうちに都市を破壊するという戦闘態勢が出来ているわけです。それが権力の手でゆき過ぎると世界支配ということになりかねないのですが——でも恐怖の対象が宇宙の方に移つたものですから、一応地上では仲よくしよ

うよというみせかけの平和論もあるんですが、そこに関してはスペース・プラザーズは非常に危惧しているんです。最終的に軍事衛星網が非常に平和的に使われるようになれば、人間がどこに住んでいようとも、たとえば北海道の果てに住んでいようとも東京と同じ情報が得られることになります。これが衛星通信の利点でもあるわけです。それを平和的に使うためにアプローチをしてゆかなくてはならないわけですから、未来は明らかに大盛況の宇宙時代ですね。まず衛星網、それと月面基地建造の問題が出てきます。ここでもそれをどう使うのかという問題に関しては、いろいろなブラックボックスがあるようですから、その辺でもプラザーズとの問題がいろいろ出てくるでしょう。

### スペース・プラザーズの地球援助活動について

最近になってプラザーズ(異星人)の活動は激化してきています。かなり積極的になっていきますね。ですから町の中を歩いていてもプラザーズを見かける回数が最近になって多くなつてきたんです。

今後は宇宙間通信と情報の流通、お金そのものの流通よりも、ここは情報とお金がどんどん合一化してきて、情報イコールお金という時代になつてく

ると思いますが。それは以前からプラザーズが予測していたんですが、お金の崩壊のあらわれではないかと思うんです。

そうなつてきたときに、人間の情報通信の範囲が宇宙に広がつてゆくでしょう。そうなると、どのような人間の生態系の変化が起きてくるのか、価値観の変化が起きてくるのかは、もう少し眺めてゆく必要があるでしょう。

### スペース・プラザーズとのコンタクト

実は今月(九三年九月)に入つてから月始めに一回ありました。たまたま路上で声をかけられたんです。

### 火星探査機との不通について

先般、アメリカの火星探査機「マーズ・オブザーヴァー」からの連絡が途絶えた件についてですが、これは先ほどお話ししましたように、アメリカが通信網の確立を狙っているわけです。今はソ連の宇宙開発にたずさわった技術者が大量にアメリカ、フランス、中東イスラエル方面に流出しています。

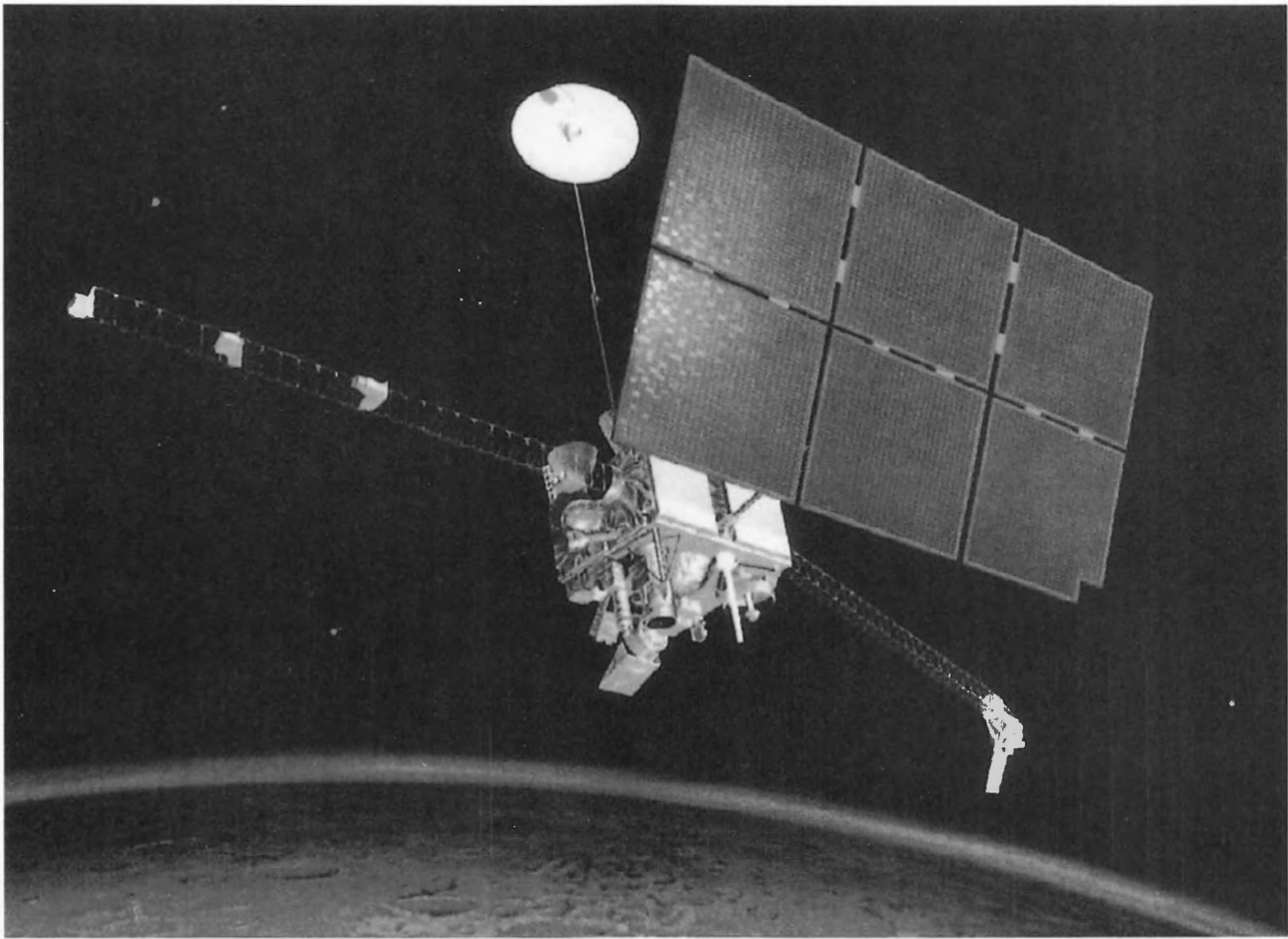
今回アメリカがなぜ仲介の労をとつてPLOとイスラエルを融合させたかといいますが、この問題の影にはフランスとイスラエルの関係があるんです。つまりPLOのネットワークというの

は、左派系の反戦運動を中心としたネットワークです。その頂点にあるフランスという国の経済界にいる人間たちが、かかわりをもっているんです。それに對してイスラエルの現状があつて、ソ連から流出した軍事技術者であるとか、重要な兵器類であるとか、これらがフランスの商人を経由してばらまかれたのです。

もう一つイスラエルに直接輸送されたのは、中国のルートを通じた場合です。どうも核兵器の一部がそのルートから流れ出た経過があつたものですから、アメリカからもうそれを使っちゃいけないよという抑止をしなければならぬがゆえに、世界に対して極秘に進めていたアメリカ側の軍事衛星網の凄さを彼らに情報として、チヨコチヨコツと教えているわけです。

そこで彼らは、いかに核兵器を持つとも、これでは勝負にならないというわけで、アメリカ側に睨まれたら怖いんだということ、しぶしぶ今回は暫定自治協定に調印したというのが真相だと思えます。

通信軍事衛星網というのは、月と近隣の惑星、たとえば水星とか火星とかまでも含めた一つのネットワークにしようとしているわけです。アメリカの軍人たちのトップの意識レベルでは、あの原爆を開発したときと同じように、抑止力としての兵器開発という観点でしか、それを見られない条件がありま



▲火星探査機マーズ・オブザーヴァー。1992年9月にアメリカのNASAが打ち上げたこの探査機は、予定では93年8月24日に火星周回軌道に乗って、686日間に火星表面の写真を地球へ送ることになっていたが、8月21日にカリフォルニア州パサデナのNASAジェット推進研究所との通信がとだえたため、約10億ドルの大プロジェクトが挫折したといわれている。この写真は画家によるイラスト。 ロイター・サン提供

す。それは地上で起こっている戦争という闘争的な想念を出す人類のクセがたんに宇宙空間に向けられただけであるという面がまだあるわけです。地上的に見ると、そういったものが見えにくくなってきました。闘争的な想念の形が見えにくくなってきました。それで我々がそれを見い出さないと、宇宙に向け始めているというふうにもいえるわけです。

スペース・ブラザーズは、人間が宇宙に対して闘争的な想念を放ったときに、その反動が宇宙から返って来ると言っているんです。ですから、そのネットワークそのものが、今、善か悪かどちらに使われるべきかということになりますね。

ですから、どうも火星を含めたネットワークというのは、一般にいわれる惑星探査機が飛んで行くというのは、ごくおおよかにしてもいいような、確実なデータが出て、軍事上、問題のないものから発表してゆくわけです。それが途中で消えたことにするというのは、やはり作戦上のミスがあって、重要な秘密が洩れるような出来事があったのだろうと思うんです。

その原因については私もまだ聞いていませんけれども、通常では起こり得ないことですね。受信網から消えるということが考えられないことです。何かやはり問題のある情報からんで、その探査機が重要なデータを地球に送

つたか、または送ろうとすれば大変な事になるので、(地上から電波を送つて)スイッチそのものを抹消して地上との交流そのものを抹消してしまふ、というようなことがあつたんじゃないかと思ひますね。

その探査機のデータが地上に來た段階では、地球上のどの国にもハッカーといわれる連中がいますからね。そこらへんにも拙いことがあるというわけです。これは火星人間側がシャットアウトしたのではなくて、地球人間側の操作だと思ひます。

もう一つは、科学上の重要な点として、物理的な意味での波動、つまり周波数ですね、これにたいして具体的な科学が進歩するだろうということが考えられます。人間の体調をコントロールしているのは、脳という非常に重要な器官ですが、この脳そのものがいろいろな周波数によつてコントロールされていることがわかつてきて、これが人間の存続に関する重要なアプローチであるわけなんです。

たとえば非常に低い周波数の音が響き渡つていような場所では、人間の思考能力が落ちる傾向があるということです。また非常に高周波の音がまきちらされていような場所では人間が疲労感や緊張感を覚えるわけです。こういうことが無意識のうちに操作できるわけです。

こうした脳と周波数に関する科学が

今後進む可能性がありますね。これは遺伝子組み替えの問題以上に人類にとって重要な問題になるでしょう。

旧ソ連が核兵器以外に軍事予算を割いた分野に何があつたかといひますと、いろんな予算報告書が出てきたのですが、それによりますと、要人暗殺の機関が出てきたんです。それは微弱な高周波の発生機と放射性物質を要人の家の地下室に仕掛けるんです。それだけでその要人と家族は四カ月ぐらひで亡くなるというわけです。

そういう暗殺兵器があつたという報告書が出ましてね、それはKGBが日本での諜報活動にも使つたし、中国やアメリカでも使つたということなんです。

編注 秋山真人氏(三三)は超能力者として頻繁にテレビに出演する有名人であるが、実はスペース・ピープルのコンタクティーとしてアダムスキー的な体験を持つ人である。別な惑星から來た円盤や母船等に同乗して金星、水星、さらに別な太陽系の惑星を訪れた体験を持つが、その詳細は久保田八郎著「UFO——遭遇と真実」(中央アールト出版社)に述べてある。

氏は超能力の研究でアメリカの大学から哲学博士の学位を取得。現在は都内板橋区で国際気能法研究所を主宰して超能力開発指導を行なう一方、実業界でも未来透視その他の能力を駆使して活躍中。

(三九頁より)

人々は言ひます「宇宙にはどこかに『果て』があるにちがいない」と。そこで言ひましよう。

「かつて『果て』があつた。その『果て』自体よりもつと偉大な物が、その『果て』を支えているんだ」とね。

ルッペルト「ふーん」

そんなふうになるんです。人間はそのことを永遠に論じつづけるでしょう。そこで私が思うに、「永遠」という言葉は、それを非常にうまくあらわしていますよ。

ルッペルト「ふーん」

現在の天文学の不幸な部分は、高度な教育を受けたことのない人々たちを無視しているという点にあります。重要な仕事から完全に締め出しているんです。例をあげますと、私は以前にここへ來た四人の天文学者に質問したことがあります。べつだん彼らを傷つけようとしたわけではなく、たまたま質問しただけです。

そこで私は言つたのです。

「我々は常識というものを基礎にしようではありませんか。常識の角度から研究するのです。そうすれば何かが得られるでしょう」とね。

## 頑張れアメリカ人科学者

いま私が言つたように、アメリカの多くの科学者たちにたいして私は心を

痛めていました。アメリカには多くの善い人がいます。彼らの内部にはアメリカ合衆国の魂が宿つています。

しかしここで言ひましよう。我々は外国から科学者を受け入れて仕事の自由を与えています。そしてその人たちは科学にたいして実質的な神々になつています。一方、アメリカの科学者は無視されています。

私がサンフランシスコで多くの記者団に囲まれていたとき、私から次のような質問を出したことがあります。

「現在、これほどの偉大なアメリカを築いたのは誰ですか」

それは我々の祖先です。アメリカ人が過去において希望を持ち、正直で、進歩的な国民であつたという証拠は明白です。我々は世界のあらゆる国よりも先を行つているからです。もしも、外国の科学者たちが優秀であるのなら、アメリカを追い越してもよさそうなものなんです。

ルッペルト「そうですね」

それなのに、なぜアメリカの科学者が無視されるのですか。彼らは今まで無視されてきたのです。

ルッペルト「それとおりです」

(訳注) アダムスキーは、アメリカの科学者がアメリカ人科学者よりも外国から流入してきた科学者によつて確立されつつある現状を危惧しているのである)

(この項は完。以下次号)

UFO over Asakusa

# ●浅草上空のUFO

1993年10月11日、日本GAP総会翌日の都内観光中、午後1時40分頃、地下鉄銀座線浅草駅から松屋デパート前に50数名のGAP観光団が出たとき、突然快晴の上空に円形のUFOが出現！ 全員と周囲の一般人も目撃して、ひと騒動発生した。秋山真人氏の超能力鑑定によると、生命波動が感じられるので有人宇宙船であろうという（関連記事別掲）。

撮影／松村秀之（ニコンF4・AFED80～200mm・f2.8 200mmオート・フジカラースーパーG ISO400）



## 私を助けてくれる異星人達

## ●上原則子

## 2

## 神出鬼没の異星人A

都営住宅が新築されて平成三年の九月に元の場所に戻るようになりました。異星人Aとの思い出の通勤路ともいよいよお別れとなりました。

私はAとの朝のすれ違いが楽しみで、一、二カ月遠回りして元の駐輪場へ自転車を置いてから出勤しておりました。毎日ではないけれど、五、六回ぐらいお会いすることができました。今後どうするか、遠回りをずっと続けようかと考えていたのですが、ある日、こんな事がありました。

Aがいつも通る道と並行して走っている道が私が自転車走っていると、横に交差している道の向こう側の道路にAが見えました。三本の道路が横に交差していましたが、三回とも交差点の所にAが見えたのです。こちらは自転車、Aは徒歩なのに、よくもまあタイミングよく姿を見せるものだと少々薄気味悪くなったことがあります。

また、ある日のこと、Aに会えるの

を期待して自転車に乗っていたのですが、なかなかお会いできなかったのです。すると「いつまでも追いかけるんじゃないよ」という声が心の中に響きました。

私は自転車置き場への道を曲がろうとしたとき、正面の方向一〇メートルぐらいの所にAの後ろ姿を見たのですが、その日はそれきりお会いできませんでした。それで、「ああ、これがテレパシーというものか」と思ったのです。私は確かに無意識に受信したらしいのです。

それからほどなくして私は現在の住居から駅までの道で不便のない場所へ駐輪場を借りました。今度は三、四カ月、いや半年に一度ぐらいか駅のすぐ近くでAとすれ違うことがあります。

## もつと高度な人間になりた

私のもつと高度な人間だったらハイレベルの事を教えて頂くことも可能だったかもしれません。幼稚園から小学校低学年程度の間には大学の数学な

どを教えようとしても無駄に終わることとは明白です。今のままの自分ではさらに教える受けることは、おそらくできないでしょう。ですから自分の向上に努めようと思えばかりです。

Aとは現在ますます遠ざかりつつありますが、せつかく正体を明かして下さったのに、正式な言葉によるコンタクトが行なえなかった（自分がその水準に達していなかった）のは非常に残念です。

ですから彼らの邪魔にならないようにしよう。追いかけるのはやめよう。でも私の所へ来て下さる方からは教えを受けようという気持ちです（久保田先生、その点はご心配なさらないで下さい）。

## Aは遠隔透視で見ている？

話とはびとびになつたり逆戻りしたりして申し訳ございませんが、次のこともぜひお知らせしたいと思えます。

他の異星人が私の前に現れるのに素直についてゆけない理由があります。平成三年の春頃、私はAに振られたと思ひ、わざといつもの時間より遅れて出かけることが多くなりました。

そんなある日（その日は雨が降りそうなので徒歩で行きました）、駐輪場の近くで後ろ姿がAに似ている異星人を見かけたのです。まっすぐな背骨、機敏な歩き方、スマートな体つき――。

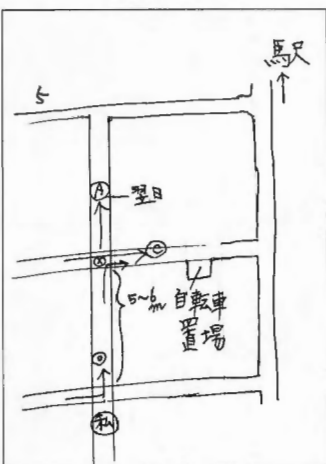
私はCだ！と直感しました。

そこで私はCについて行きたい衝動にかられて、どちから行こうかと右往左往してから、やはりCのあとに行くことにして右へ曲がり、それとなくついて行きました。

私のこの行動をAがどこかで見ていようとは夢にも思いませんでした。あるいは遠くにおいて遠隔透視したのかもれません。

駅のホームに着いて、いつも私が電車に乗る場所へ行くと、C（もしかするとE）がそこにいて、私におじぎをしました。おじぎというより会釈というほうがよいと思います。いかにも私のことをよく知っているというふうでした。そうされると何となくそばへ寄りにくくなって、隣の乗り口から乗ってしまいました。

次の日は自転車でしたが、私が◎地点へ来たとき、×地点でAが前日の私の動作のように前進しようか右へ曲がろうかと、さも心配だというように左右を見たりしていました。これは明らか







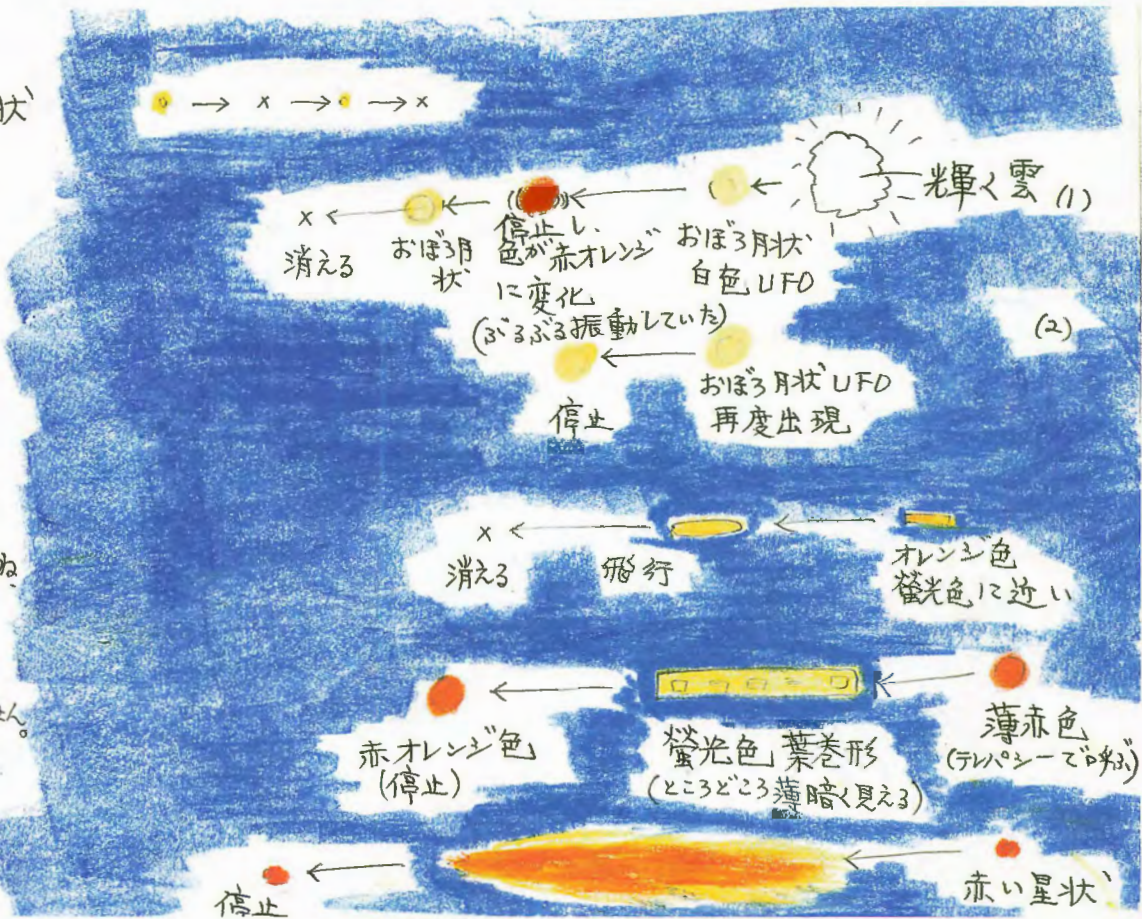
点滅星状



全部、夕方が夜

空の色は塗らない方が良かったですね

乱雑な感じになって申し訳ございません。



### 若くて素敵な異星人男性達

異星人A、B、C、D、Eは出会いの順序でそう決めました。Aと同種類らしい同年配の小柄な方が私のまわりに現れた時代もありましたし、男性異星人の可愛い子ちゃんも二人、私のまわりに現れた時代もありました。私がおもつと若かったら、それこそ首つたけになりそうな長身の美しいけれども含蓄のありそうな顔をした異星人もいます(お笑いにならないで下さいね。いや、お笑いになっても結構ですが)。

私が彼に会いたいと思ったら、その男性可愛い子ちゃんが次の日、電車を待っている私のすぐそばまで来たのです。そして私はポーツとしながら彼とともに電車に乗ったのです。二度ほど乗りました。今思い出しただけでもポーツとなりそうならいに素晴らしい方でした。これはEとは別な方です。

こんなことを書きますと、「なんとこの不倫妻なのだ」と久保田先生に叱られそうですが、でも彼らの持つ素晴らしい波動に触れることができ、とても幸せです。

彼らは私の要望に応じて私とコンタクトして下さいただ、そして私に、特にAがいろいろと教えて下さったのだから、これ以上私が何を望む必要があるのか。私は彼らに心から感謝し、「有難う」と言いたいのです。

### Aに関するエピソード

先日先生に突然お電話をおかけしまして失礼しました。どうもあの電話はテレパシーでAに聞かれたようです。実はあの日、数カ月ぶりで駅の近くでAに会いました。駅へ同時に着き、その後は私に先にホームへ行かせ、ご自分は他の場所まで電車に乗られたようです。

それから西日暮りの池袋方面行きホームの日暮里寄りの端に一人で立ち、私の乗った電車を顔上げてみておいででした。誰かを探しているように見えました。Aはまだ金町に関係がおりのようなのです。

本日もAの仲間らしい女性の異星人が私のまわりに現れて誘導して下さいました。その方に誘導されるままの場所を私の乗り場に決めました。もう迷わないつもりです。私のコンタクトは新しい段階を迎えそうです。

Aの人物を知って頂くために二〜三のエピソードを思い出しましたので書かせて頂きます。

はじめの頃は私がAに注目しているとお感じになったのか、通り過ぎるときは顔をそむけて顔の片側しか向けませんでした(編注IIこれは初めて出会ったときのスペース・ピープルの特徴) あるとき所用で早く出かけて町屋の工場に寄つてから、西日暮りの駅の、

いつもと反対側の改札口を抜け、向かって右側の階段を上がって行きました。Aが新聞を買うのの間にあって、お会いできればよいがと思ったのです。そうしたら、なんと私が階段の最後の段を上がったとたん、Aが売店の前に来て、そして私の方を見たのです。そのとき初めてAの顔を見ました。

Aは若々しく、折り目正しい紳士に見えました。三〇四〇代に見えました。顔が光り輝いているようでした。

「ああ、やっぱりAはただの人ではないのだ」と感じました。

するとAがテレパシーで「え？ どうしてあなたはこちらから？」と言って私の顔をもう一度見直しました。私はきまりが悪くなって無言で通り過ぎました。これはAがまだ自己紹介する前の話です。

その後、道で会ったのでテレパシーで挨拶したら、Aは無言でにこやかに挨拶を返しました。

同じ頃、保育園の横の道ですれ違ったとき、Aは腰をちよつと曲げて手で口を押さえてクスクス笑いをなさっていたので、私は寒山拾得の片割れになったような気がして、とても嬉しくなりました。

## GAPを応援している？

私が出会う異星人の方々が日本GAP

Pを応援しておられると思われる証拠に次のような事実があります。

●昨年の一〇月一〇日にGAP総会が開催される前の週の六日、それを祝ってか、Aがまったく久しぶりに私の乗る電車に同乗されて、階段をすれ違つて下さったのです(西日暮里駅)。それ以後はそういうことはありません。

●ユーコン誌一二三号の発行の前の週の二〇月二一日(木)に、あたかも出版祝いのごとく、二年ぶりに異星人Bが現れて、私の帰り道を共に一〇〇メートルぐらい歩いて下さいました。

私は千代田線の最後尾車両に乗っていて、みなが降りてから一番最後にホームを歩いておりました。その日は何となく気持ちが沈んでおりました。

駅から出ると、なんとBが待っていて下さったのです！ A、C、Dとはちよつと違う荘厳な感じのする方で、ものごしもゆつたりしています。もしかするとA達とは違う惑星の方かもしれません。その前頃に「Bは今頃どうしておられるのだろうか」と、しきりに気になっておりましたので、私のテレパシーが恥ずかしながら通じたのかも知れませんが――。

●ユーコン誌一二三号が到着した日、金町駅のある地点から乗ると、異星人のF子が至近距離で共に乗りました。

●別の異星人女性の方でEと歩いていたG子と、一一月四日、初めて意志が通じあいました。西日暮里から神田ま

で一緒にしました。

私がユーコン誌に載せられる記事を書いたことにより、彼らが私にますます近づいて来るということは何を意味するのでしょうか。

これはGAPを支援して下さいというところにほかならぬと思うのです。彼らはそれを態度で示しているのだと思います。

## なぜか指輪を見せる彼女達

本日もお知らせすることがございます。異星人Aが買った物をしていたセブンイレブンは一〇月に廃業になり、現在はありません。

女性異星人がふだん着で私に会いに来て下さったのですが、その日はたまたま土曜日でした。普通の日は正装です。非の打ち所のないほどの完璧なおしゃれをして来られるときもあります。色は黒、紺、その他にも淡い色が目立たない色の場合が多いです。

一一月一五日、ワニ皮のハンドバッグを持った女性異星人が、黒いスーツ、完璧な正装、朝シャンしたらしい髪で私の前に現れました。長く垂らして、少し先の方を縮らした髪です。そう、あの平成三年春頃一緒に電車に同乗した彼女です。

もし異星人だったら手を広げて下さいと言ったら、ワニ皮のハンドバッグを横にして、その上に手を広げた女性

で、先日、先生に直接お話ししましたあの彼女です。

先日の彼女の噂話をテレパシーで知ったのでしょうか、私はびっくりしました。西日暮里駅まで、すぐ近くに同乗しました。彼女は左手の中指に指輪をはめていました。

どういうわけか(愛にこだわっておられるのか)異星人の彼女らは私によく指輪を見せます。先日お話ししました「綺惑」という雑誌の表紙を見せた異星人は左手の薬指に指輪をしていました。髪にさわるなどして、わざとらしく指輪を見せるのです。

(九三年一月二一日付報告)

最近気づいたことなのですが、テレパシー能力は互いに徹底した関心と愛情を持つことによつて容易になるのではないかと思うのです。私が地元で顔見知りになった異星人の方々は十数名いらつしやいますが、実際はもっと多数かもしれません。

昨日UFO写真を撮りそこねたのが残念で仕方がありません。カメラの電池が入っていないだったので、どこかで入れてから持つて行こうとハンドバッグに入れていたのですが、シャッターが下りない状態でした。UFO四機のパレードでした。明確なUFO写真を撮って先生にお送りするのが今の私の夢です。

(以下次号)

# 我が家の周囲に不思議な光とUFO

武村豊助

by Toyosuke Takemura

Mysterious Lights And UFOs



▶武村氏の自宅(兵庫県西宮市)。この家の周囲に不思議な色光が輝き、上空でUFOが乱舞した。右手前のバルコニーが東側、左の玄関が南側。ここは高台の超一等地。見晴らしは抜群。

## 不思議な色光に包まれる

一九九一年の初夏の出来事です。夕闇のとばりの降りる七時頃、私と友人(韓国人の鄭<sup>キム</sup>氏)がリビングルームで話をしていましたとき、キッチンで夕食の用意をしていた妻が、庭がスポットライトを浴びたように輝いていると言いましたので、私達三人は庭に出て行きました。

すると、驚いたことに家の周囲と庭の空間が黄金色と微妙な虹色を混ぜたような幻想的な色合いでもってキラキラと輝いているのです。

空を見上げると、青みがかつた紫色をした神秘的な空が美しく輝いて荘厳な感じでした。芝や花や木までが光り輝く生命で脈動していました。

そのような状態が一〇分から一五分ぐらい続きましたが、その後、急に光は消えて、あたりは暗闇に包まれました。

私達三人は感動のあまり胸が熱くなり、神に接したかのような気持ちになりました。この経験は生涯忘れることのできないものとなりました。

## 上空でUFOが乱舞

一九九三年七月二五日午前四時三〇分頃、玄関のドアを三回ほど叩く音がしましたので、目がさめました。その時は何かの間違いではないかと思いましたが、門にはベルがありませんし、庭に

はシベリアンハスキー犬がいるので、人が玄関の戸を叩くことはあり得ないと思っただけです。

目がさめたので、二階の東側の窓から台風がどうなったかを知るために外を見たところ、上空一面は雲に覆われていました。

その時、東南方向の雲の中に緑色の光球が三個見えました。その緑色の光球を見ていると、急に雲の中で乱舞し始めました。しばらく乱舞が続いてから西の方向に消え去りました。

数分後に私はなんとなく気になったものですから、今度は同じ室の南側の窓から空を見ますと、南南東の方向の雲の中にオレンジ色の光球が見えたのです。

その光球を見ていると、白熱灯のような明るい光に変化し始めました。するとその光球の中から小さな光球が西の方向にむかって次から次へと飛び出して行きます。その後、もとの光球も西の方向に飛び去りました。

数分後、気になるものですから庭に出たのです。そして上空の雲を一〇分ぐらい見ていると、突然、東南方向四五度ぐらいの雲の中で、白熱に輝く光球が現れて、まるで花火のように四方八方に小さな光球を多数発射して消え去りました。私はこのとき、UFOというのは想像を絶する物だということがあらためてわかりました。大感激した次第です。

## まるで大空の花火大会

私はUFOとの遭遇を何度か体験し、それをまとめると同時に、スペース・ピープルは素晴らしい人々なのだという確信をふくらませたく、ぜひ聞いて頂きたいと思い、ここにご報告致すことにしました。

現在私は三一歳で、九歳の息子と主人の三人で故郷の高松で生活しています。主人は服飾関係の小売り卸し業を営んでおり、私は事務関係の仕事を手伝っておりますが、仕事の合間に一息つくとき、窓の外を眺めながらUFOのことを考えたりしている毎日です。

幼い頃から敏感だったと思うのですが、あれは一九七四年の七月頃だったと思います。何やら光る物体が山の方で点滅している。もしかしたらUFOではないか?と学校の放課後に騒ぎがもちあがっていました。

帰宅後、「まだ山の上空で点滅している」といって、いとこの姉が私の家にかけて上がってきました。それを聞くと同時に、夕食後くつろいでいた私、母姉、弟は四階の屋上に出てそれを見ました。

その当時、四階には高校生の三好さんと渡辺さんという女生徒が下宿していました。ですから七名で観測したのです。

その山は峰山という山で、さほど高くないのですが、高松の中心近くに

あります。時刻は夜の八時過ぎだったと思うのですが、もう日も沈み、あたりは暗くなっていました。しかし山の影と空の境はくつきりとわかる状態でした。

私たちが見た光景はまさしく光の乱舞といった感じで、まるで花火を打ち上げたようでした。山の上空を垂直に上下するUFO、右かと思えば今度は左、光ったと思えば突然消える——。このような状態で、はたして何機のUFOがいるのかわからないような状態でした。

もういなくなつたのかと思つていて、いきなりまた同じようなことがくり返されて、四〇分前後そのような光景を見つづけていたと思います。

最後にいわゆる葉巻型といわれるような細長いUFOが現れて、オレンジ色の光がその中に吸い込まれるように消えてゆきました。

下宿生の渡辺さんが写真を何枚か撮つたのですが、一つは円盤型、もう一つは噴射しているような状態で写っていました。残念ながら現在のその写真は手元にありませんが、後に考えてみると、あれはアダムスキー型円盤だったように思います。それが私の初めてのUFO目撃体験でした。

現在、その出来事を忘れずに明確に覚えているのは私だけで(下宿生の二名とは連絡がとれません)、他の目撃した人に言つても、「そんなこともあつた

なあ」「相変わらず好きやなあ」ということで片付けてしまいます。私だけがその体験の後、日増しにUFOに対する興味が大きくなつていきました。

## 精神の状態が関連?

さて、それから何度かUFOを見たのですが、体験するうちに、ある一定の事柄や一定の波動が関連していることに気づきました。それは「UFOを見たいなあ」「出てきて下さい」と呼びかけているときよりも、創造主に対して折りたくなるような喜びに心が満ちているときとか、感謝の気持ちで心の中に広がっていたとき、その他、プラスの波動を自分の内側から感じているときなどに、なんとなく見上げた空にフツとUFOを見つづ、それと同時にあたたかい思いが心の中にわきあがってくるのです。そのとき、なぜだか、「スペース・ピープルの方々、有難う」と心の中でつぶやいています。

## 良きフィーリングを保つ

最近の一番近い体験は、三月四日に息子が風邪で寝込んでいた日のことです。私は仕事のため息子を実家に預けて、五時頃に仕事を終えて息子を迎えるに自転車を走らせていました。

信号待ちをしていたとき、夕日に染まる空を見ながら、「ああ、今日も良い日だったなあ、創造主様、有難う」と、こんな言葉を心の中でつぶやきながら、

なにげなく前方五〜六〇メートルぐらい先の上空を見ると、黒い丸い物体が静止しているのに気づきました。一瞬、鳥かなと思つたのですが、まったく動かずに静止したままの状態なのです。私は我を忘れて上を見上げたまま自転車を走らせました(よく事故にあわなかつたと思います)。

まだUFOという確信がもてずに、その物体の真下に来たとき、間違いなくUFOだという確信のもとに、先程の創造主様に対する感謝の気持ちに共鳴してくれただと思つたとき、一度パツと光つて、一瞬にして消えました。

信号から消えるまではわずかに数分だつたと思うのですが、もしかしたら私の感謝の想念に共鳴してくれたのではなく、私が相手に共鳴したから(または、させられた?)UFOのパイプレーションをキャッチできたのかもしれないなど感じます。

こんな体験をくり返すなかで、スペース・ピープルは私たちが良い感情やフィーリングをもつことを喜んで見守つてくれるように思うのです。いま地球の未来についてあまり良くない噂や説がありますが、人類がいつも高い波動に包まれて愛や感謝の気持ちをもつことによつて地球の未来は明るいものになるというのを教えられているような気がします。ですからスペース・ピープルにお会いすることができたら、一番先に「いつもいろんなことを教えて



▲筆者・石井佳子さんが写真の記憶をたどりながら描いたスケッチ。

もらって有難う」と言って握手したい  
なと思っています。

(日本GAP会員・高松市)

### 追伸

先生より早速のお礼状を頂きまして、  
とても嬉しく思っています。有難うご  
ざいました。

さて、先生よりご依頼のありました  
そのときの写真ですが、探してみても  
やはり見当たりませんので、私が当時  
の記憶をたどりながらスケッチしたも  
のを送らせて頂きます。描いた後、何  
度もよく見ましたところ、その写真に  
近い絵になったと思っております。

下宿の渡辺さんが持っていた写真機  
の外観はカラーだったと思うのですが、  
機種その他フィルム等、何を使ったの  
かは不明ですが、彼女は高校生でした  
ので、あまり性能の良いものではなか  
ったと思います。

それと、あのときは夜でしたので、  
写真は白黒に近い状態でした。現像が  
上がってきたとき、

「これはおなじみの円盤型、こっちは  
噴射しているような感じで、なかなか  
うまく撮れたけど、色が鮮明でないの  
が残念やね」

と話したことや、

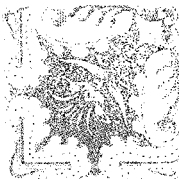
「最近、屋上でモーターの唸るような  
音がして、なんだかこの写真を宇宙人

が取りに来ているようで、怖いなあ」  
と渡辺さんが冗談めかして話していた  
ことを思い出しました。

しかし先生の手紙にも書きましたよ  
うに、異星人はけっして私たちを恐怖  
におとし入れようとか、悪い想念を植  
えつけるために地球に来ているとは思  
えません。また、その反対に物理的に  
地球人の手助けをしてくれるというの  
も疑問です。

現在、コズミックベース（宇宙的誕  
生）を迎えて意識の向上を目ざそうと  
している地球人には、やはり宇宙の先  
駆者であるスペース・ピープルに習っ  
た生き方をしなければ、どこかで行き  
づまるように思えます。

しかしスペース・ピープルのあたた  
かい波動を受け入れるも受け入れない  
も、私たち一人一人の自由意志による  
選択によるものと思っています。



## ★第一回横浜支部大会

横浜支部は発足以来最初の支部大会を盛大に開催することになった。日時は今年三月二〇日(二連休の初日)午後一時より五時まで。会場は横浜、港の見える丘公園内「ポートヒル横浜」。会費二千元。修了後六時より八時まで同会場にて立食形式のパーティーを開催。会費六千元。宿泊希望者は市内伊勢佐木町のホテル「セントラルイン横浜」に団体宿泊。料金はシングル税込で七千九百円。

翌日は観光を実施。日本一の超高層ビル「ランドマークタワー」に昇って展望。山下公園、その他を周遊。国際的な港ヨコハマの美しいエキゾチックな風景を満喫。詳細予告は本号四三頁に掲載。大盛況が期待される。

## ★第五回秋田支部大会

今年秋田支部がまたも盛大に大会を開催する。日時は四月三〇日(土)、会場は趣向をこらして仙北郡田沢湖畔のホテル「田沢湖ハイツ」で午後一時より五時まで。会費二千五百円。修了後は同会場で夕食会。会費六千元。宿泊も同じホテルで一泊朝食込み六千円。ただし相部屋。大会、夕食会、宿泊がすべて同一の建物内で行なわれるので便利この上ない。

翌日の観光は春の八幡平と田沢湖周辺を車で周遊。交通はJR田沢湖線の電車と乳頭温泉行きバスでOK。詳細は本号四四頁に掲載。東北方面の会員

諸氏の多数出席が見込まれる。

## ★第二回伊豆支部大会

花の五月のゴールデンウィーク! 待つてましたとばかりに今年伊豆支部が豪華な大会を開催する。日時は五月三日(三連休の初日)午後一時より四時半まで。会場は修善寺町の総合高級リゾートホテル「ラフォーレ修善寺・第一研修館」。会費は三千八百円。五時より七時まで夕食会を同ホテルのコンベンションホールにて開催。会費七千六百元。宿泊も同ホテルの本館またはコテージにて六名の相部屋(三名はベッド、他の三名はタタミ)。宿泊料金は一人通常二万円のところ今回の日本GAP会員には半額の一万円。

翌日は伊豆半島周遊の観光を実施。見所多数。夜は松崎町の一流温泉ホテル「松崎プリンスホテル」に宿泊。シングル一泊二万五千元。ツインならもつと安い。夜はフランス料理ディナー付。温泉プールで水泳可能。詳細予告は本号四五頁。多数参加が期待される。

## ★九四年度海外研修旅行

今年度の海外研修旅行は予告どおり、「アメリカ・メキシコ・コスタリカ宇宙ロードの旅」と題して八月二日より二日まで一〇日間の予定で実施される。詳細は本号四七頁に掲載。なお、不況のため、この旅行をもって日本GAPは当分の間、海外旅行を中止するので多数参加されたい。

## ★九四年度日本GAP総会

今年度の総会は一〇月九日、東京タワー前の機械振興会館地下二階ホールで盛大に開催の予定。今回はアメリカGAP主宰者ダニエル・ロス氏を迎えて大講演を行なう。夜は同開館六階の大ホールで大夕食会を開催。二次会等も企画し、翌日はロス氏とともに都内観光を実施する。詳細予告は今年七月下旬発行予定の本誌一二六号に掲載の予定。昨年同様大盛況が期待される。

## ★久保田会長を囲んで話を聞く会

昨年一月二〇日、GAP若手会員有志一七名による「久保田先生と語る会」が、都内武蔵野市吉祥寺の永谷ホールで開催された。夕方六時より八時半まで、質疑応答に終始したが、きわめて静粛にして熱意の満ちた雰囲気の中で、UFO問題、宇宙哲学等に関する高度なレベルの対話が展開。二〇歳代の青年男女たちの真摯な態度に会長はえらく感動していた。夜は別な場所ですべて話がはずんだ。記事と写真は本号四二頁に掲載。

## ★東京月例セミナーのテキスト変更

すでに予告したとおり、本年度の月例セミナーにおけるテキストは、新アダムスキー全集第二巻「超能力開発法」を使用する。これはたんなる超能力の開発ばかりでなく、宇宙的な生き方をしてコスミックマンになるための宇宙の法則を説いたもので、希有の書物である。これを持参されたい。セミ

ナー会場でも頒布している。

## ★高松支部、月例セミナー新会場決定

かねてから高松支部は新会場の確保に腐心していたが、今回左記のとおり好適な会場を設定できたので、参加者はそこへ直行されたい。

香川県坂出市寿町一三二五

「坂出市勤労福祉センター」

☎0877-4612463

毎月第三日曜日、一時半より四時半まで。JR坂出駅より徒歩一〇分。

## ★英文版ユーコン誌第9号発行

今回第9号を発行した。これには日本語版ユーコン誌一一七号に掲載したトップ記事「巨大宇宙船、デザートセクター上空に出現!」と一二三号のトップ記事「凄異超能力者のUFO目撃と遠隔透視」等を英訳したもので、さらにアダムスキーの「Q&A」(質疑応答)も連載されている。ダニエル・ロス氏が校閲した流麗な英文になっているので、日本語版の各記事と対照して読めば、英語の学習に好適な教材にもなる。この英文版は世界各国のUFO研究団体や個人研究者に送られており、好評を博している。

ちなみに世界のUFO研究団体の機関誌のほとんどは不気味なオバケ宇宙人、誘拐事件、心霊的なチャネリング通信、畑の円形跡等、恐怖心をあおるような記事ばかりだと久保田会長は言うが、これは会長のもとへ来る膨大な海外の資料からわかるのだという。

中国に「野人」三人

中国湖北省の神農架地区で九月三日の夕方に現地地質調査団の一行一〇人が野人三人を目撃した。

野人たちは身長は大人とほぼ同じで、全身が褐色の毛で覆われていた。目は丸く大きく、口が少し突き出していた。腰はやや曲がっていて、尾はなく、二本足で立ち、動きはとても敏捷であったという。鋭い声を聞いた者もおり、原人に似ていたという。(9・18読)

### 「修復遺伝子」の働きを立証

紫外線や発ガン物質によって遺伝子が傷つけられても、損傷を自動的に修復する別の遺伝子が体内にあり、これがガンから身を守る「防波堤」になっていることを、大阪大学細胞生体工学センターと東大医学部の共同研究グループが突き止めた。修復遺伝子を持たないマウスをつくり、正常なマウスと比較して「防波堤」の働きを確認したもので、動物実験でこれが立証されたのは世界で初めてである。

紫外線にあたると皮膚癌を起こしやすい遺伝病に「色素性乾皮症」がある。大阪大学の田中教授等は、原因はDNAの損傷を修復する蛋白質が体内で作られないためだという。患者の遺伝子の中から、この修復蛋白質を作る遺伝子を分離し、これを人工的に破壊してマウスの遺伝子に導入し、DNAの修復機能を持たないマウスの作製に成功した。

東大の石川教授らは、このマウスに発ガン物質と発ガン促進物質を塗布した。その結果、DNA修復能力のないマウスは、一〇週目に四分の一が腫瘍ができ、一六週目には、全部が腫瘍になった。し

かし、修復能力を持つ通常のマウスでは一例も症状が現れなかった。(9・27読)

### 「培養皮膚バンク」システム化へ

皮膚をシート状に培養して移植する「培養皮膚移植」が、火傷や難治性の皮膚潰瘍等の治療で成果を上げている。大阪大学医学部皮膚科学教室は、日本で初めて培養皮膚バンクのシステム化を目指している。

皮膚は表皮と真皮、そして皮下組織からなる。培養するのは厚さ一〇・三ミリメートルの表皮部分。切手大の表皮を一カ月培養するだけで、体全体を覆えるくらいの培養皮膚が得られる。また、それを凍結保存することもできる。

皮膚培養は十数年前に米国で初めて成功し、臨床応用されるようになった。日本での培養皮膚移植は昭和六〇年、聖マリアンナ医科大学の熊谷教授等が、火傷の患者に対して行なったのが最初である。

大阪大皮膚科では橋本教授等が、二年前から火傷など六〇人の患者に培養皮膚の移植を実施している。また、数年間冷凍保存した表皮細胞を培養して自家移植し、治療が難しかった再発性下腿潰瘍も治療させている。他家移植でも拒絶反応は起こらず、最終的には患者の表皮に置き換わっていき、副作用はない。

現在、培養皮膚移植は供給が追いつかない状況であり、同大では今後、手術などで余った皮膚の提供を求め、凍結保存する皮膚細胞バンク作りを進めていく。(9・27読)

### 鬱病に香りの特効

ストレス社会の中で注目され始めた鬱病の治療に、三重大学医学部の小森医師等と資生堂製品研究所が、天然の柑橘系

香料を使って画期的な効果をあげた。抗鬱薬を使った長期治療でも治せなかった重度の患者一〇人に、香り療法と抗鬱薬投与を併用し、三カ月程度でほぼ全員を健康状態に回復させた。各種の香り療法は古くからあるが、体内のホルモンや神経伝達物質、免疫機能のバランスなどを医学的に追って、鬱病治療に成功したのは世界でも例がない。

小森医師らは、これまで鬱病治療面で関連付けられていなかった精神神経機能と免疫機能が、実は深くかかわりあっているとの新しい視点から、マウスなどの動物実験を四〜五年間実施した。

香料は製品研究所がレモンなどの柑橘類で調査し、小さなファンで漂わせた。

この間、患者の尿と血中から、ホルモンや免疫反応にかかわる細胞など三〇項目を調べ、治療効果を数値化した。

その結果、香りを抗鬱薬と併用して以来、四〜一週で、鬱病症状の尺度(HRS D)がいずれも健康状態に入り、再発はなかった。(9・30読)

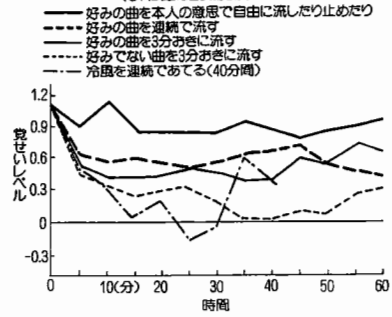
### 好きな音楽で居眠りを防ぐ

列車の居眠り運転予防策を研究しているJ R鉄道総合技術研究所の実験で、流す音楽の好みや流し方によって、居眠り防止の効果に差があることが実証された。好きな曲を自分でコントロールしながら流している、眠たくなるような環境でも頭はさえていくが、好みでない曲では反対にまぶたが重くなる。「冷風にあたるとは逆に眠りを促し」、「ガムを噛む」は一時的な効果しか期待できないこともわかった。

人間は眠くなると皮膚の電位水準が下がる。同研究所は、これに眼球運動の測

音楽などでの覚せい効果

(J R鉄道総合技術研究所へ)



定を組み合わせて独自の「覚醒度」を作成した。薄暗くして音を消した実験室で、七人の男性に様々な刺激を与え、覚醒度の平均値をとった。

音楽の効果では、実験を受けた人の側で用意した演歌やポップスなど好みの曲と、全員が好まないというクラシックのピアノ練習曲を使った。

その結果、好みの曲を自分で適当に流したり止めたりした場合は、一時間たっても覚醒度は落ちなかったのにたいし、ピアノ練習曲を三分おきに流した場合はすぐにうとうとの状態となった。また、同じ好みの曲でも連続で流したときと三分間隔で流したときでも差が出た。

居眠り防止には「窓をあけて冷たい風にあたるのがいい」といわれている。そこで温度が一四度で風速六メートルの冷風をあてる実験もした。しかし、効果はあまりなくて、連続してあてた場合には二五分ほどで眠りに近い状態になった。(11・13期)



### 脾臓ガンの診断法確立

脾臓の脾液から特定のガン遺伝子を抽出することにより、早期発見が極めて難しい脾臓ガンを約九〇パーセントの精度で見分けられる診断法を、金沢大学ガン研究所の沢木教授等のグループが臨床レベルで確立した。この診断法は、基礎研究段階では知られていたが、これだけ高い精度で臨床応用に成功した例はない。

脾臓ガンに発生するガン遺伝子を利用したもので、脾液中のガン遺伝子を増やす方法と、電圧をかけて異常のある遺伝子だけを選び分ける「電気泳動法」を組み合わせたことで、診断の精度を約九〇パーセントに高めることができたという。

従来の診断では、脾液中の細胞を調べていたが、この方法だと、脾臓の消化液で細胞が変質してしまい、精度は二〇パーセントにとどまっていた。(10・3號)トキを再生

国内では絶滅寸前のトキを残す手段として、トキの細胞保存の研究を進めていた財団法人「自然環境研究センター」と環境庁は、新潟県の最後の二羽が死んだ場合、全組織を即座に凍結して保存する。細胞を凍結保存して将来の「再生」に備えることになったトキの「ミドリ」(上)と「キン」(下)。



ことになった。将来、遺伝子技術が発達した段階で再びトキを誕生させるという。

新潟県・佐渡島にいるトキは、オスの「ミドリ」が一九歳以上、メスの「キン」は二六歳になり、かなり高齢である。

トキが死ぬと同時に、全身を心臓、皮膚、生殖器など約二五〇の組織に分ける。一部の器官については、細胞ひとつひとつにまで分解する。徐々に温度を下げて、最後に液体窒素で凍らせる。

凍結した細胞から、トキを復活させる技術は、今のところ確立していない。トキを再生させるべきかどうかの議論もあるが、その判断は将来に任せるといふ。(10・23朝)

### もう注射は痛くない

東大医学部の花岡教授等は局所麻酔薬をすり込んだ張り薬を開発した。注射の前にこの薬を張り、針の痛みをなくすもので、手術患者等を対象にした臨床試験でも七割の人で効果があったという。

傷口を縫うなどの簡単な治療や、手術前の静脈注射等の前には、痛み止めになりドカインの局所麻酔薬を注射することが多いが、そもそもこの注射自体が痛い。この張り薬は、ばん創膏タイプのテープにリドカインを染み込ませたもので、皮膚に張って徐々にリドカインを浸透さ

せ、周辺の痛覚を麻痺させる。

クリーム状の麻酔薬は一〇年以上前から開発されていたが、かなり強く皮膚にすりこまなければならず、またクリームをつけた指先も麻酔が効いてしびれてしまうといった問題があった。(10・16朝)幻の古代都市を発掘

新疆ウイグル自治区にあるタクラマカン砂漠南部に千数百年埋もれていた古代都市ニヤの遺跡が日中両国の調査隊により発掘され、宮殿の遺構や男女のミイラ八体などが発見された。古代ローマのポンペイに匹敵する広大な都市遺跡で、全体を発掘するのに半世紀を要するという。ニヤは約二〇〇〇年前から西域のシルクロード沿いにあった精絶国で栄えた都市だとみられている。遺跡は一九〇一年に英国の探険家スタインが発見したが、手つかずのまま砂に埋もれ「幻の都市」として考古学者の関心を集めてきた。

面積約二〇平方キロメートルの地域に、宮殿の遺構とみられる木の柱や、寺院、住宅、果樹園、家畜用の囲い、城壁などの廃墟が一面に広がり、住宅跡からは糸車などの生活用具が見つかっている。またミイラはいずれも細面で鼻が高く、金髪であることから、住民はアーリア系だったと推測されている。(11・19號)新原理の直流モーター

これまでのものとは回転原理の異なる直流モーターを、栃木県の発明家が開発した。永久磁石と電磁石の間の反発・吸引力で回転するのが特徴で、複数の永久磁石を斜めに並べると、その周辺の磁場に強弱が生じることを見つけ、新型モーターに応用したもの。普通のモーターに比べて、同じ電力で五割前後パワーが強

く、仕事をさせても消費電力が一〇パーセント前後しか増えない。

この新型直流モーターでは、複数の永久磁石を傾けながら配列してあるため、列の左右で磁場の強度に傾きが生じる。自由に移動できるようにしたコイルを無通電の状態では磁石の列の傍らに置くと、コイルは磁場の強い方向に向かって移動する。最も磁場が強い列の端に達した状態で、コイルに通電すると、永久磁石とは極が正反対の電磁石になるため、反発力によって、コイルは更に列の先に移動しようとする。この繰り返しによって、コイルを取り付けた軸が回転する仕組みになっている。(11・30日本工業新聞)ひと花咲かせて雑草退治

めつたに花が咲かない田んぼの雑草に花を咲かせる「薬」を宇都宮大学の共同研究班が発見した。この薬は2・6ージイソプロピルフェノキシ酢酸と呼ばれる合成化合物。雑草は花が咲くと成長が止まるため、除草剤に使えるという。

田んぼなどに生える雑草のウリカワにこの化合物を一〇アル当たり二五グラムまくと四二日に開花した。分析の結果、植物に与える毒性は見当たらず、むしろ稲の根を伸ばし、他の除草剤による薬害を解毒する作用も確認された。

種子植物は開花すると成長が止まりタネを残す。ウリカワもタネができるが、ほとんど発芽せず、塊茎もそれ以上大きくならないため、子孫を残せない。

雑草科学研究センターの近内教授は「迷惑がられる雑草だが、駆除する前にひと花咲かせてやりたい」といつている。(12・3朝)

昨年一〇月一〇日、日本GAP総会が大盛況裡に開催された翌日、都内観光を実施して浅草へ行ったところ、白昼、突然上空に白いUFOが出現して観光団を驚きさせ、付近にいた一般人も多数目撃して騒動がおこった。以下はビデオカメラで見事に撮影した堀江健一氏（日本GAP本部役員）の手記。

ここ数カ月は曇りの日が多く、例年の六割弱の日照時間しかないというのに、総会の翌日の一〇月一日は一点の曇もない快晴となった。前日の総会の余韻が残るこの日は、久々のGAP本部主催の都内観光の日である。これは役員が綿密な計画のもとに下見を行なって、練りに練った企画で、完璧を期したものだ。特に役員に加藤氏は、全国から参加された方々に懇切なおもてなしをしようということまで張り切っていた。

この気持が通じたのか、観光には五〇名を超える参加者があり、賑やかな和気あいあいたる雰囲気（きづな）に満ちていた。観光では貸切りバスを使用せず、地下鉄と徒歩で名所を回るという方法をとった。これだと気楽なハイキング気分ですらと親しく語り合いながら行けるので良かったと思う。約二〇名を一個班とし、これに二名の役員が付き添って班ごとに移動した。

まず銀座キャピタルホテルを出て東京駅に向かい、ここから皇居へ行った。

清浄な雰囲気である。

（編注）一同が皇居前広場にいたあいだ、彼方の空に白い物体が出たり消えたりする光景を参加者の佐藤晶氏（埼玉県）がビデオカメラに収めている。

このあと地下鉄で銀座に向かい、さらに浅草へ足を伸ばした。ここで雷門（かみなりもん）を通って寿司屋通りで昼食をとる。昼食後、沢山の土産物店が並ぶ高井仲見世通りでショッピング。浅草寺に参拝。

問題の事件が発生したのはこのあとである。浅草から地下鉄に乗るために午後一時四〇分頃、浅草駅ビルを兼ねる松屋デパート前の赤い時計台に全員が集合したとき、UFOが出現したのだ！

最初に発見したのは大阪支部代表の平塚氏で、全員が五分以上目撃することができた。付近の多数の人々も目撃した。

私が気づいたのは、平塚氏と加藤氏が松屋デパートの上空を指さして話をしていようなので、近づいてその方向を見たところ、白い小さな物体が飛んでいるのではないか！

この物体は松屋デパートの陰にいつたん隠れた後、また出現した。そこで騒ぎになり、全員が目を見た。飛行コースは時計台から松屋を見て右上空から左へ一直線に飛んでいる。

最初は白いゴミが風に吹かれて飛んでいるのかと思ったが、しばらくす

るとキラキラと輝き始めたので、持っている双眼鏡で見ると、この物体は円形に近い横長の楕円形（だえん）で、ゆっくりと回転している。

ただ不思議なことに、ときどきバツクの青空に溶け込むかのように消えることがあった。すぐに持っていたビデオカメラで撮影したが、あとで画面を見ても同様なシーンが何度か見られた。ときどき小さな円形にも見えたので、フットボール型（方向によつては円形に見える）なのかもしれない。

さらにおかしなことに、肉眼で見ると物体が角張っているように見えるのだ。そのために最初は四角い白いゴミ袋かと思つたのである。しかし双眼鏡で見ると、きれいな楕円形だった。あとで目撃した数名の人に聞いてみたら、ほとんどの人が四角っぽい物体だと思ひ込んでいるようだった。

興奮さめやらぬまま、このあと一行は西新宿の都庁へ行つて展望台に昇る。このビルは二四三メートルの超高層ビルで、その四五階に展望台があり、大東京を一望できる。天井はアダムスキ型円盤の天井のように巨大なドームになっている。ここでもUFOの目撃騒ぎが起こつたが、私には肉眼では確認できなかった。多くの人も確認できなかったようである。

一階へ降りてから久保田先生が迎えに来られたので、疲れていた一同は活気を取り戻した。実り多い素晴らしい

一日であった。

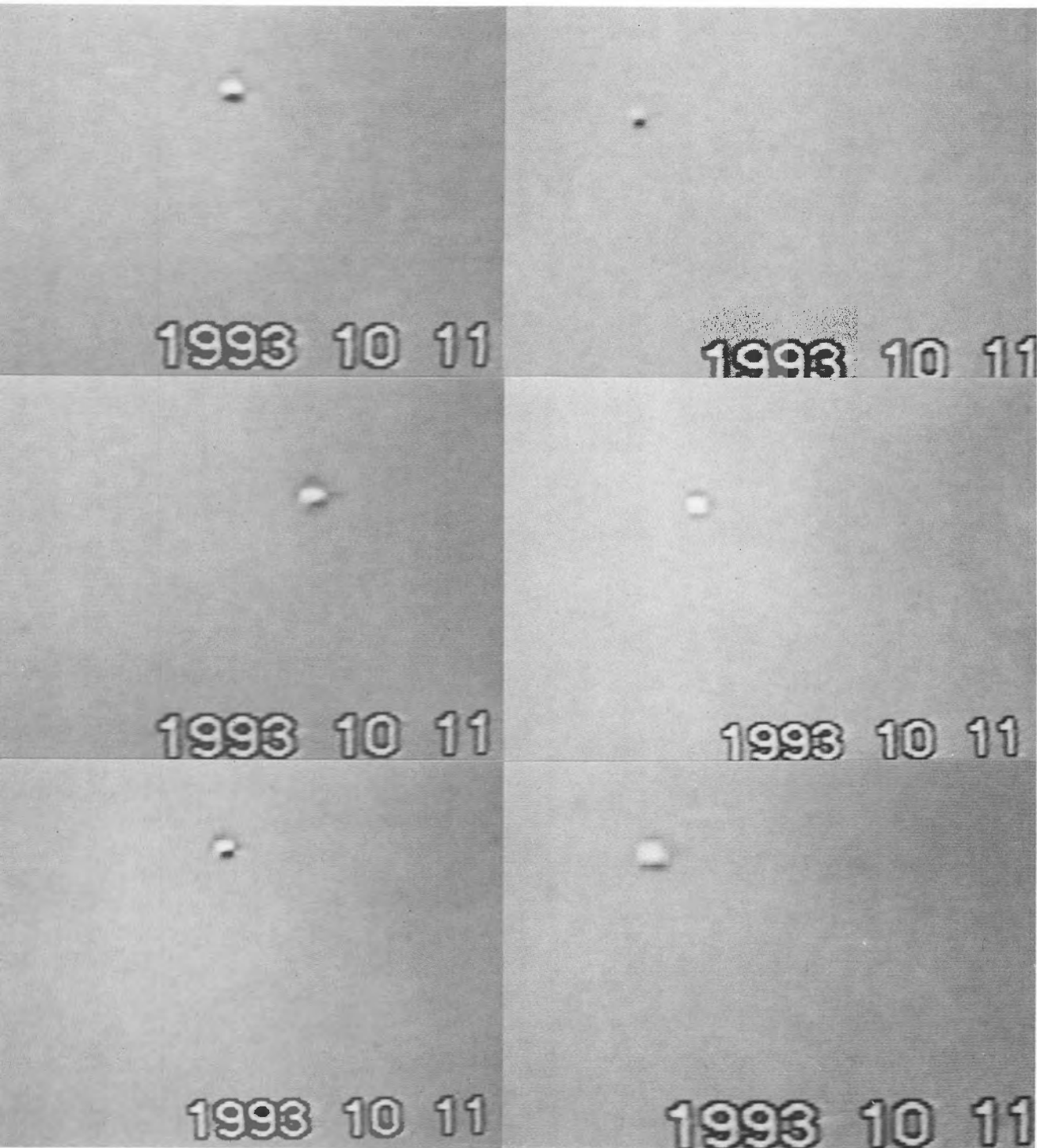
編者（久保田）付記

私は浅草まで同行しなかったが、堀江君がビデオカメラで撮影した浅草上空の白いUFOは、その日の夕方、モニターの画面で見た。確かにときどき青空に溶け込むかのように消えては出現するという現象が数度見られた。これはUFO独特の飛び方である。他の確認物体とは違うのだということに気づかせるためらしい。これに類したUFOを編者は過去にたびたび見ている。

以前、北海道旭川で支部大会が開催された翌日、観光でアイヌ記念館へ行ったとき、広場で空を見上げたとき、私の視線を待っていたかのように、突如、青空の中から吸い出されるような状態で真珠のような白銀色の真ん丸な物体が出現し、急速に下降して半円形の弧を描きながら上空に吸い込まれるように消えていった。一瞬のことで、目撃したのは私だけだった。

前日の講演でアイヌ民族の栄光あるルーツについて話したので、そのためにアイヌ記念館の前で出現したのではないかと印象を受けた。

UFOは、いつでもどこで出現するかかわらない。山間部へ行つて徹夜でテレパシーで呼びかけても出ないときは出ないし、白昼大都会の上空に出現したりする。何かの不可解な理由があるようだ。



## ●浅草のUFO

1993年10月11日、午後1時40分頃、堀江健一氏が都内浅草松屋デパート前から8mmビデオカメラで撮影したUFOをテレビ画面に映して、それを35mmカメラで撮影したもの。楕円形になったり四角に見えたりするが、すべて同一物体。



## 夢の中で激励される

関 高明

毎月、宇宙的激励のメッセージを運んで頂ける『宇宙の意識』を送付下さいます。誠に有難うございます。九三年度の日本GAP総会も大盛況のことと、ご同慶のいたりです。

さて、私は毎日の習慣に落ちた人間となり、連日の忙しさをなかでアダムスキー哲学への関心が薄れかかっているような状態でした。

しかし東京のGAP総会の前日だったと思いますが、夜、夢の中で一本の黒い細い木が浮かび上がってきて、その木に「勇氣、信念、希望」と新アダムスキー全集第一巻の言葉と同じような言葉がイメージとして浮かび上がり、目を覚ましたら涙ぐんでいました。

これはアダムスキー哲学から離れるなという「宇宙の意識」かスペース・ブラザーからの警告だったのでしょうか。この頃やつと宇宙的フィリングを取り戻そうと、毎日の生活を少し軌道修正しつつあります。

現在、田舎の秋祭りの開催日と総会が重なるために、総会には出席できませんが、四二歳の厄年にはお役ご免となりますから、そのときには出席できると思います。

今後とも微力ではありますが、GAP活動にご協力させて頂こうと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。

(日本GAP会員・香川県)

Impressive Sighting  
by Miyoko Yamaoka

## 感動のUFO出現

山岡みよ子

私はあるUFOに関する本を読み、大きな衝撃を受けて悩みました。

「これからどのように生きてゆくべきか、どうすれば人間として向上してゆけることができるのか。どうか私を導いて下さい」

私はスペース・ピープルに心から助けを求めました。心から祈りました。

すると、ふと心の中に「真理・愛」という言葉が響いてきました。そのときは真理愛(マリア)という人名だと思っていました。

そしてふと右側(東側)を見ると、建物と建物の中に銀色のUFOを見ることができました。ジグザグに飛行していました。距離や大きさはわかりませんが、とにかく鮮明に見ることができました。そして「ちゃんと見ているのですよ」と言っていて下さっているのを感じました。

温かく、心強く、素晴らしい感動でした。私たち地球人を見守って下さっ

ているスペース・ピープルは実在するという事実をあらためて確信致しました。

悩んで力をなくしていた私に「宇宙の真理の追求、万物に対する愛」を忘れてはならないということを教えて下さったスペース・ピープル。UFOで現れて勇気づけて下さったスペース・ピープル。本当に心から感謝致しております。一〇月一八日(一九九三年)午後三時頃の出来事でした。この日をきっかけに私は日本GAPに入会させて頂くことになりました。

(日本GAP会員・山形県)

Back to the Future  
by Ayumi Seo

## ある未来透視

瀬尾あゆみ

私にとって今年のGAP総会は本当に素晴らしい思い出となった気がしてならないのです。

初めての久保田先生の講演においても、その話の一つ一つに感動があったように思えます。なぜならば、久保田先生が「信念と希望と絶対にあきらめない力」と語るたびに、私の体全体にその言葉が強い力となって働いていたからです。

また、大夕食会や二次会においても、あらゆる人と接しながら、またも感動に満たされていた気がしました。

その後、テルに帰ってからベッドに横になって目を閉じた瞬間、目の前に明日行くはずの都内観光の一部の風景が、はっきり見えてきたのです。

もちろん、そのときには、まだこの風景が何であるかはさっぱりわかりませんでした。もちろん私は東京のことは何もわかりませんでした。

一つめの映像は、昔の城の門と橋のような光景でした。そしてもう一つめは立派な高層ビルのような光景であったのです。それからしばらくその映像がつづき、その夜は眠ってしまいました。

次の日、都内観光で、前夜見た映像と同じものを見てしまったときには、すごくびっくりしました。なんとそれは桜田門と二重橋であったのです!

また高層ビルの映像は東京都庁であったことに気づきました。これは私にとってはすごく感動的な出来事でした。また浅草で全員によって目撃されたUFOは、すごく感動的でした。それ

によってGAP会員以外の一般の人々がつられて集まってきた光景は今でも忘れることはできません。

そのとき初めて心が一つに調和された気がしました。本当にいろいろな意味で今年の総会は最後の最後まで感動を保つことができましたことに感謝したいと思います。

(日本GAP会員・大阪)

# SCIENCE OF LIFE STUDY COURSE

By  
GEORGE ADAMSKI

1934

FIRST LESSON  
Analysis of Life - Awareness of Cause

Copyright 1934 by George Adamski  
All Rights Reserved  
Printed in U.S.A. by First-Course Publishing Company  
Walt, California

心中にイメージを描いて奇跡を起こす方法はアダムスキー著「生命の科学」（新アダムスキー全集第3巻）の最後に出ている。上の写真は「生命の科学」の原書表紙。現在絶版。

*I Performed a Miracle through the Practice of "Science of Life"*

by George Adamski

by Minami Shimizu

## イメージ法で美術館が実現

### ★清水 南

いつもご指導をいただきまして有難うございます。ユーコン誌一二二号は大変好評のあかしとして、五店卸したうち、三店が完売いたしました。やはり金星文字と反重力モーター、そして転生等の記事が大きく関心を呼んだものと思います。

ところで話は変わりますが、昨年夏の始めの頃、埼玉県在住の家の同級生から、画家の田代光先生の記念美術館を山梨県内に造りたいので、どこか土地と建物を無償で支度してくれるところを見つけてほしいとの依頼がありました。なにしろ作品が数千点もあり、

これを全部寄贈するという条件でして、土地面積は五〇〇〇坪以上欲しいとのことでした。

なんでこのような話が私共のところに入ってきたのか大変不思議なことですが、どうしても山梨県内ということですので、近隣の市町村へこの話を持ち込んで働きかけましたが、この不景気の時節柄、一〇数億円以上の絵は欲しいのはやまやまですが、五〇〇〇坪以上の用地のめどがつかないということとで、なかなか見通しがたちません。そして田代先生は八〇歳を過ぎていて、健在のうちに早く実現させたい

ということでした。

またもしこの美術館がそこに建設されたならば、異能の画家である大家、小松崎茂先生の美術館も同じようにその場所に造りたいということですので、夢のような壮大な話です。この小松崎先生ですが、『異能の画家・小松崎茂』という本が根本圭助氏により書かれて出版され、その記念会に私も招待されました。

それで私共夫婦も絵が好きで、ときどき美術展等にも出かけて、この近くに美術館が出来たらよいがなあと思っていたこともあって、なんとかこの話をまとめたと思います。そこで思い起こしたのが信念の力とイメージ法です。

なかなか簡単にまとまりそうにない話を、なんとか短い期間で形をつくるには、こうした方法を活用するよりほかにないと考えて、どうしても美術館を造るんだという信念とイメージを起しました。

それからまもなく、わずか一カ月たらずで、この話をしていただいた東八代郡御坂町からぜひ具体的な話を聞きたいという報らせが入ったものですから、埼玉県よりこの知人が来て説明を行ないました。

あとで分かったのですが、この御坂町ですでに一万二〇〇〇坪の市の用地があり、現在、公園として開発中で、この中に何か他の施設を造りたいと思

っていたということで、大変タイミングが良くて、アツというまにこの話がまとまり、町議会を通過して田代先生との調印も終わりました。先月には膨大な量のほとんどの作品が御坂町に搬入されました。開館は二年先になりますが、今から楽しみにしております。

ところで、この件に関して不思議な事がもう一つあります。それはこの決定した場所に隣接して、家内の実家のブドー園が二反歩あるということです。私たちはいくつかの市町村や実業家に美術館建設の話を持ちかけましたが、いずれも断られて御坂町に決まったというのと、またこのような公園用地があったことや、ブドー園の位置等については事前に全然知りませんでした。それが偶然にもこのような形で決まったのでとても不思議です。

またこの町は家内の出身地ですが、私の祖母の出身地でもあり、なにか深いカルマというようものを今回は大いに感じた次第です。

以上、このような物事がまとまって今はホツとしております。振り返って考えてみますと、やはりこれはひとえに久保田先生の日頃よりのご指導によるものと深く感謝致しております。これから出来る限り勉強させて頂き、何かの面に役に立てればと思っておりますので、どうか今後ともよろしくご指導下さいようお願い申し上げます。

(日本GAP会員・山梨県)

## 丸暗記とイメージ法で英会話の達人

★首藤 秀利

本誌先号の「英語上達のための助言」で、首藤氏が久保田八郎著「ひとりごと」でマスターできる英会話」を徹底的に丸暗記して英会話の達人になった件を紹介したが、改めて同氏が学習の秘訣を詳述した手記をよこされたので、ここに掲載した。英語学習者にとって大いなる刺激と指針になるだろう。

私は、以前に出版された久保田会長著「ひとりごと」でマスターできる英会話」を丸暗記することによって、日常英会話は不自由なく話せるレベルに達することができました。客観的な評価としては、英検準一級取得と総務庁企画の『世界青年の船』のユースリーダーを務められるだけの英会話レベルです。

私には自他ともに認めるアメリカ人の親友がいますし、アメリカ人やメキシコ人の恋人がいたこともあります。一冊の良書を丸暗記することによって、誰でもこの程度の英会話レベルに到達することができるのです。

しかしながら問題は（リスニングは別としても）一冊の本を丸暗記するだ

けの忍耐力をどうやって維持するかということに尽きると思います。私の場合、イメージ法を応用したために楽しみながら実力をつけたように思われますので、以下、具体的にお話ししましょう。

## 楽しいイメージを描くこと

私が本格的に「ひとりごと」でマスターできる英会話」の暗記を開始したのは、熊本大学法学部に在学中のことでした。当時、夏休みを利用してのメキシコのホームステイを目前にしていた私は、（自己訓練として）ホームステイ先の大学生たちと出会い、彼らと英語で仲良く歓談し、なおかつ英語のできるメキシコ人の親友ができて大喜びしているイメージを強烈に描きつづけていた。

私は個人的にはメキシコ人に対して非常に親近感を抱いていたのですから、これらのイメージを描くことは本当に楽しい作業で、そうした「わくわくするような」気持ちの中で英文の暗記が順調にはかどったことを覚えていま

す。

おそらく、ただ漠然とした義務感だけで英会話を勉強していても、これほどすんなりと暗記できたかどうか疑問です。要は、より具体的で、より楽しいイメージを描きながら暗記することです。そうすれば苦しみむことなく頭の中にインプットできるのです。

結果的に前記のイメージはすべて完璧に実現し、メキシコでのホームステイは永遠に忘れることのできない体験となりました。

## またイメージが実現

帰国後、今度は外国人に英語で日本語を教えているイメージを描くことにしましたが、これもまもなく実現しました。師事していた国際政治学の助教が私を呼びつけて、熊大に留学していたバンングラディッシュの教授に日本語を教えるように依頼してきたのです。

私などよりも英文科の学生が適任ではないですかとの問いに、その先生は「英文科や中途半端に外国へ留学した学生よりも、おまえのほうがうまくしゃべれるだろう」と答えたのです。

それを聞いた私は勝ち誇ったような気持ちになりました。それはけつして私自身の英語力を自慢しているのではなく、一冊の優秀な本を丸暗記するという方法論の正しさや、日本国内にいても英会話の能力を伸ばすことができ

るし、そのほうがはるかに価値のあることなのだという私の持論が裏づけられたことへの満足感でもあったのです。結果的にバンングラディッシュの教授に日本語を教えることによって私の英会話力はかなりレベルアップすることになりました。要するにイメージの描き方はそれを実現していくことによって、次のステップへの意欲が湧くように、少しずつレベルアップしていくことがポイントだと思います。

## 必ず実現するイメージ法

大学卒業後、東京のある大企業に就職しましたが、ここでの仕事は猛烈に忙しく、英語を勉強しようにも疲れ果てて何もできないという毎日がつづきました。しかしこれで屈するような私ではありません。またイメージを描いたのです。

それは、メキシコ人のセニョリタ（編注：未婚の女性に対するスペイン語の敬称）と恋愛関係になって、一緒にタコス食べているイメージ（タコスはメキシコの代表的な食べ物）、海外の友人たちとテキーラ（メキシコの強烈な地酒）を飲みながら騒いでいる光景のイメージを常に描きつづけていました。いささか享乐的なイメージばかりですが、これはおそらく猛烈社員をやっていたことへの反動でしょう。

結局、思うところあって三年でサラ



▲アメリカ人の親友パトリックと共に「ラヴ・ミー・テンダー」を熱唱する筆者（右）。



◀メキシコ人のガールフレンド、フランカと筆者（左）。

リーマンをやめて郷里の大分県に戻ったところで、ひよんなきっかけから総務庁企画の『第一回世界青年の船』の県代表に選ばれたのです。つまり、常に英会話に関連したイメージを描いていたことが『青年の船』となって実現したわけです。

この船での三カ月間の体験は生涯忘れられないものとなり、計り知れないほどのレッスンを学ぶことができました。サラリーマン時代に描いていた前記のイメージはすべて実現したということ、この旅を通じて英会話力が飛躍的にアップしたことだけは強調しておきます。

あの旅から四年が経過しましたが、英会話の力を落とさないうために私はこの四年間、毎日ラジオの英会話講座を聴いています。どんなに忙しくても、毎日最低二〇分間は英語を聴くことです。そのほうが、ふだんやらないで土曜の夜にまとめて二時間勉強するよりも絶対に有効です。

### 一冊の本とイメージ法で大変化

その他、リスニングや異文化間のコミュニケーションについてお話ししたいことは山ほどありますが、残念ながら紙数が尽きました。いずれにせよ、一冊の本との出会いとイメージ法の応用によって、私は世界中に友人を持つことができました。そのおかげで私自

身、心の水平線をほんのわずかでも広げることができたように思います。

本人に出会った頃は単なるアメリカ人パトリックであり、メキシコ女性のブランカだったものが、本音のぶつかりあいをつづけていくうちに、今では親友としてパトリックという一人の男であり、ブランカという一人の女であるわけです。つまり修飾語としての国籍が無意味になってくるのです。

この一人の人間に先行して国籍や民族が存在するのではないということ、理屈ではなく体ごと理解し得たことこそが、私が英会話から得た最大のレッスンだったように思います。

ポロポロになった「ひとりごとでマスターできる英会話」(主婦の友社刊・現在は絶版)の頁をめくるたびに、私の脳裏には今まで出会った海外の多くの友人たちと、私に最大の影響を与えた二人の魅力的な男、すなわち久保田会長とワールドセプントラベル社の田中正氏の姿が浮かび上がってきます。

(編注) 田中氏はむかしから日本GAPの海外研修旅行を手がけてきた)

私が英会話にのめり込んだのも、少しでもこの二人のようなエキサイティングな人生を送りたかったためで、もしこの二人がいなかったら、今の私は存在していなかったでしょう。どうか皆さんもイメージ法という無限の力を応用して、エキサイティングな人生を送って下さい。



前回は英語の本を1冊丸暗記して英会話の達人になったGAP会員の首藤秀利君の実例をあげました。彼はあの記事を読んでいくと感激し、さらに詳細な手記をよこしましたので、29頁に掲載しましたからお読み下さい。よい参考になるでしょう。

### ■英語のヒアリングにはテープが最高

さて「丸暗記だけでは英語を聴く力は身につかない。本物の英語をうんと聴くことが大切だ。それによって馴れることだ」と言う人があるかも知れません。確かにそのとおりなのですが、しかしこの場合に「馴れる」ということは一日中英語が耳に響いてくる環境の中に自分を置いて、いわば英語漬けの生活をするのが前提となります。そうなると日本語の金切り声やダミ声ばかりが響いてくる日本国内にはダメであって、アメリカかイギリスあたりに住みついてしまう必要があります。それが実現すればよいのですが、誰もおいそれと長年月海外に住むわけにはゆきません。したがって簡単に「慣れることだ」とは言えないのです。しかし独習によってある程度は英語を聴き慣れる方法があります。それは英米人が吹き込んだカセットテープをテープレコーダーで聴いて聴きまくる方法です。

### ■英語に関する4つの能力は全くの別物

大体に英語を話す、聴く、読む、書くの4分野は、それぞれ別物です。しゃべれさえすれば、または聴いておりさえすれば、この4つがすべてできるようになると思うのは錯覚です。聞き取れなければしゃべれるわけではないかといって、ヒアリング専用の録音テープが販売されていますが、これはそれなりにメリットがあるでしょうが、聴いてばかりでは耳は肥えるけれども、必ずしも流暢にしゃべれるようになるとは限りません。このテープで学習した人がさっぱりしゃべれるようにならなかった実例を筆者は知っていますし、昔ニューヨークに多年住んでいた知人(男)が、耳は肥えたもののシドモド口の英語しか話せなかった例もあります。だから、英語を話す、聴く、読む、書く技術は、それぞれ別個に自分でプログラムを組んで、毎日練習をする必要があるのです。そのうちの話す力と書く力の練習の基礎をなすものが、英文の丸暗記であるわけです。戦前の昔、日本に名高い英語学者がいて、英米人顔負けの立派な英文を書いていたそうですが、この人はなんとステイヴンソンの有名な小説「宝島」の原書を一冊丸暗記して、それを応用していたということです。ただし、この英文はもう古い文体ですから、現代の我々にはあまり参考になりません。それどころか90年昔に書かれたオー・ヘンリーの短編小説を日本の高校で教えているといっているアメリカ人は笑っているような状態です。

### ■どんなテープ教材がよいか

これはひじょうに多種類出ていますから、いちがいに言えませんが、私がひんぱんに出入りしている東京駅前のヤエスブックセンターの語学教材コーナーと日本橋の丸善本社の語学教材コーナーで、かたっぱしから手にとってテキストを見たりテープを試聴したりした結果では、昔から語学教材で名高いリンガフオンの「米語初級コース」か、基礎的な力のある人は同「米語中級コース」がよいでしょう。いずれもカセットテープ12本と英文テキストと全訳の解説書がついています。価格は初級、中級共セットにして各¥56,444です。安くはありませんが、それだけの価値はありますね。米語以外にもイギリス英語コースもあります。リンガフォン以外にテープのセットになったものは多種類ありますが、ここでは述べきれません。注意すべきは、通

信教育の英語教材で、毎月テープが1本ずつ送ってくる場合、その英語の日本語全訳をよこさず、全訳は次回のテープを送るときに送付するという例が多くあります。これは会員をやめさせないで引き付けようという作戦ですから、要注意です。およそ外国語を学習するのに、英文テキストと注釈書が添付してあるだけで日本語の全訳がないような状態で学習できるものではありません。耳にした英語の意味が即座に理解できてこそ、英語そのものがインプットされるのです。1カ月先に次回のテープを送るまで自分で訳してみろというのは、無責任ともいえるでしょう。

### ■英語と米語は違う

むかし私はアメリカ人宣教師のロバート・カニングハム先生に3年8カ月ほど英語を教わったことがあります。これによって英語の何たるかを把握できたのですが、あるとき先生が次のように言われたことがあります。「日本人は英語を話すときに、口語と文語をこたまぜにし、アメリカ英語でもイギリス英語でもない独特の“英語”をしゃべり、しかも英語特有のリズムのない、ひじょうに奇妙な英語を話す」。人格高潔にして日本をよこなく愛していた先生にしてはえらく辛辣に聞こえたものですが、たぶんそのとおりなのでしょう。少々おこがましい話ですが、当時私がしゃべる英語は、先生にいわせれば「アメリカ人がしゃべっているのかとハッとするときがある」ということでした。これは私がまだ田舎に住んでいた頃のことです。

しかし後にイギリスへ行ってイギリス英語の美しさに魅了された私は(特にヨーロッパでは全体的にイギリス英語が用いられているので)発音をイギリス流に変えようと思いたち、前述のリンガフオンのイギリス英語のセットを新宿の紀伊国屋で購入し、そのテープを聴きながら猛烈に発音の練習をしたのは、かなり以前のことで、ところが私はどうもアメリカと縁が深く、特にダニエル・ロス氏やアリス・ボマロイ女史らとの交友がつつくせいもあってアメリカへよく行くのですが、あちらでイギリス弁でやると、アメリカ人から嫌われるという事実がわかって、結局またアメリカ発音を主体にするようになりましてね。このところは複雑な事情がありますが、とにかくアメリカ人はイギリス英語を笑い、イギリス人はアメリカ英語を軽蔑するという厳然とした事実があるのです。このことはむかし私が出した「ひとりごとでマスターできる英会話」の共著者である米人のアン・テイカスさんの次の言葉でもわかります。「イギリス英語を東京弁とすれば、アメリカ英語は関西弁みたいなものです」。彼女は父君がアメリカ人、母君は日本人で、日米で高度な教育を受けた完全なバイリンガル(2ヶ国語を母国語とする人)で、関西弁もよく知っていましたから、その相違がわかるのでしょう。したがって、アメリカ英語もイギリス英語も同じものだという人は大悟する必要があります。ただし東京弁と関西弁のいずれが良いか悪いかは次元の違う話であって、どちらか一方に慣れ親しんで、自分の言葉はキレイなのだと思っていれば、それでよいのです。同様に、アメリカ英語とイギリス英語のいずれでも全くかまいませんが、ただし発音に大きな差があることは心得ておくことよいでしょう。数年前、私はデンマークGAPから招待を受けて、あちらの大会で英語で講演をしましたが、デンマーク人はイギリス英語を話すので私もそれに合わせてイギリス発音でやりました。いまは相手によって発音の使い分けをするようにしています。本格的に英語を身につけようと思えば、英米のいずれかに決める方がよいのです。(以下次号)

# UFO・宇宙・人間

## ジョージ・アダムスキー／久保田八郎訳 〈アダムスキー講演集 連載5〉

この記事はアダムスキーが一九五五年にパロマー山腹に住んでいた当時、そこを訪問したエドワード・ルツペルト大尉に語った話の録音テープからおこした記録である。ルツペルト大尉は同年に『UFOに関する報告』と題する著書を出した、当時の世界的に名高いUFO研究者。後に米空軍のUFO調査機関であるプロジェクト・ブルーブックの責任者になった。深遠雄大な内容を有する談話。



▲ジョージ・アダムスキー

### 空気力学ではダメ

人間というものは、いつも新しい吐け口や珍しい体験などを求めたがることを我々はよく知っています。それどころには、UFO問題はそつちのけにして人間は宇宙旅行を行ない、別な惑星へ行こうとさえ考えているわけです。そこで、そうするためには推進原理を発見する必要があります。燃料としての油はいずれ尽きるときがきます。だから何かほかの方向へ転換する必要が起ころうでしょう。

我々が別な惑星へ——太陽系の外側の惑星にさえも——うまく行こうとするのなら、学ばなければならないことが一つあります。それは現在応用されている空気力学を捨ててしまつて、全く新しい線に沿う必要があるということなのです。

空気力学ではさまざまな圧力を扱いますので、それにしたがつて航空機を建造しなければなりません。しかし自然界においては、特に地球の運動に関するかぎり、こんな圧力などは存在しないのです。

### 何が地球を動かしているか

(UFOといわれる)宇宙船を操作している異星人たちは、地球人が信じようと信じまいと勝手ですが、地球人

と同じような人間です。そしていつか地球人は皆、異星人に会うことになるでしょう。しかし我々は周囲にいる他人にたずねるような物事を、異星人に(それと気づかずに)たずねたことがあるのです。

地球は秒速一八・五マイルという不変のスピードで自転しています。しかし人間は自分も一緒に動いているということに気づきません。地球はこの軌道を動いているばかりか、二四時間を基礎として三六五日で軌道を一周しているのです。

一方、地球には、みそすり運動と呼ばれる動きがあり、その場合は三種類の運動を示します。

(訳注II地球のよるめき運動には歳差運動と自由歳差がある。後者は他の天体等の外力を受けない剛体が空間で回転している場合、回転軸とその物体の慣性性能率の主軸とが一致していれば等速回転を続けるが、ずれた軸の周囲を回転していると、回転軸は物体の中で移動し、主軸のまわりを回る。これを自由歳差という。このため近年、自転周期自体の一様性に疑問が生じた)

しかし人間はその理由については何も知りません。しかも我々は地球上に住んでいるのです。

言いかえれば、我々は秒速一八・五マイルで自転している一機の宇宙船に乗っているようなものです。しかも、それについて何も考えていないのです。

一体、何がこの地球を動かしているのか！ 人間はこのことを自問してききました！ それはジェット・エンジンではありません。翼もありません。何が地球を動かしているのでしょうか？ 人間は研究を始めました。たぶん我々は人工衛星と呼ぶかも知れないような物を建造できるでしょう。それは地球と同じように作動するでしょうが、ただ違うのは人工物だという点です。（訳注Ⅱ一九五五年当時、まだ人工衛星は実現していなかった。世界最初の人工衛星は一九五七年一〇月四日、ソ連がバイコヌール宇宙基地からR7大陸間弾道ミサイルによって打ち上げたスプートニク一号。アメリカ最初の人工衛星は一九五八年一月三十一日、ケープカナベラルから打ち上げられたエクスプローラー一号。これに搭載されたジェームズ・A・パンアレン博士が開

## 異星人が学んだ事柄

したがって実際には神秘など何も無いのです。人間が変革をなせば地球も変化するでしょう。しかし我々はそれについて何もわかりません。なぜか？ もし地球がいまこの瞬間に回転をやめるならば、何が発生したかは誰にもわからないでしょう。なぜなら、我々が大气と呼んでいる空気は消滅するからです。それはあつというまに消滅しますから、人間は空気の欠乏で死んでしまいます。さらに地球が静止しつづけるならば、

地球内部のエネルギーが働かだして、地球を粉碎し始めます。それは飛行機の中のパイロットみたいなものです。気圧が正常に保たれた機体がなくなれば、彼は外へ放り出されて、薄い空気の中ですから、外部から体を支えるものがないために、体は膨張し始めます。これと同じ原理です。

そこで異星人たちが実際に学んだのは、こうです。彼らが応用しているのは、磁気力なのです。昔は我々はそれを静電気と呼んでいました。それは雷光を起こします。

我々が認めねばならないのは、たとえばカリフォルニア州でよく発生するように、二〜三時間のあいだに空中に雷光が発生するのに、アメリカ中の発電所のすべてを集めたとしても、そのような光を一つしか出せないということです。しかもそのために全発電所はだめになります。

ところが大気中では数時間のあいだにそれがつづくのです。空中では雷光が沢山発生します。異星人はこれに気づいたので、彼らはその雷光を取り入れているのです。したがって彼らはどこへ行こうともそのパワーを持つているのです。

彼らはこの点で過度のパワーを持っています。彼ら異星人は宇宙船の推進にわずかに一〇パーセントを用いているにすぎません。九〇パーセントは捨てなければならぬのです。どうするの

かといえますと、彼らはそれを船体の皮膚つまり表面から放出するのです。

## 異星人の宇宙船は 大気をもつ

宇宙空間のあらゆる粒子は空間それ自体に対して負（マイナス）です。空間は正（プラス）です。したがって、船体突き当たる粒子のすべては、船体の表面から放出される負の放射線帯に反発されます。するとそこには負の反発作用がつづきます。そのために船体はいかなる物質にも、隕石にさえもぶつかることはありません。この過剰なパワーの放出によって実際に何が起るかといえますと、船体の周囲に大気が生ずるのです。これは船体自身の波長システムによる引力場です。

我々がこれらの宇宙船の航跡を見ると、ときには背後にスパークが飛ぶこともありますが、それは船体から来るのではなく、それは船体から来るのではなく、船体から五〇マイルか一〇〇マイルまたは二〇〇マイルも伸びるかもしれません。

## 宇宙船と乗船者との関係

だから彼らの宇宙船の乗り心地は素敵なのです。常に快適です。乗っている異星人たちは、船体がターンするとき、それに気づくことはありません。それに関する説明として次のような例



▲エドワード・ルッペルト大尉

をあげてみましょう。

一個のタマゴがあると思います。誰でもタマゴについては知っています。たまたまの黄身は固まった部分です。その外側の白身は地球のまわりを囲む空気がみないなものです。タマゴの殻、つまりその縁は外皮となっています。

いまかりに一人の人間をタマゴの黄身の上に乗せようとするならば、まず彼はタマゴの白身の中に沈み込みます。一方、タマゴの殻である一番外側の部分の表面には、摩擦やらいろいろなことがあるでしょう。しかしタマゴの内部にいる人間は、表面で起こることについては何も知りません。これと同じことをまさに異星人たちがやっているのです。このことは地球が毎日やっていることです。

## 円盤の進行について

船体の方ですか？ 異星人たちは、実際にはターンをする必要もないのです（訳注Ⅱ船首を進行方向に向けて変える必要はないの意）。円盤の下部にある球形装置は緊急の時の着陸装置として用いられるだけです。あの球形装置は、静電気を充電するためのコンデンサーなのです。

これは別な意味でわかっているのですが、一度あのパワーボールに静電気を充電するならば、それは速度を出し始めます。だからそれらはコンデンサ

ーなのです。それらは互いにパワーを切ることができません。どれかを切れば、それが船体が進行する方向になります。だから我々が自動車や船でやっているように宇宙船の向きを変える必要はないのです。我々には円盤が船体の向きを変えて直角にターンするように見えますが、実際はそうではないのです。

## マンテル大尉の事件

マンテル大尉は宇宙船にからみついたので。

（訳注Ⅱ一九四八年一月七日の白昼一時過ぎ、米ケンタッキー州ゴッドマン空軍基地にハイウエーパートロール隊から緊急連絡が入った。一二八キロ離れた町の住民が奇妙な飛行物体を目撃したという。約一時間後、訓練中のF五―ムスタング戦闘機三機が帰還してきたので、指揮官機に搭乗していたトーマス・マンテル大尉にUFOの追跡命令をくだした。マンテルは四・五キロ以上の上空にいた物体に接近したが、午後三時頃、謎の爆発とともに墜落し、惨死した。彼が物体に接近したとき、「物体の中に人間が見える！」と叫んだことが記録されているという）

彼は、もし飛行機の形が翼などないただの円筒型であったならば、死ななかつたはずだ。それは磁石のついた二本の金属の棒のように作動します。二本の磁石の棒は両方とも同じものな

ので、ちょうどあのように引き合います。それでそのような事件が起こったわけですね。つまり飛行機の翼が円盤が放射しているパワーに引つ張られたのです。このパワーは宇宙船を保護するためのフォース・フィールドです。

ひとつたび飛行機の翼がこのパワーに捕らえられると、全体が粉碎し始めます。しかし彼の戦闘機が葉巻型母船みたいに胴体だけならば、両方が接近しても、二本の磁石の棒のように反発しあつて何事も起こらなかつたでしょう。それはきわめて容易にやれるのです。

（訳注Ⅱマンテル大尉の悲劇については、新アダムスキー全集第一巻『第二惑星からの地球訪問者』二七二頁に、土星人ラミュールがアダムスキーに詳細に説明している。それによると、あときの円盤の乗員は大尉が敵意を持たないことを知って無線でコンタクトしようとしたのだけれども、大尉機が接近しすぎたために、翼が円盤の磁気放射線に触れて分解したのだという。地球のジェット機は危険だと示唆している）

彼ら異星人は誰をも傷つける意図はなかつたのです。マンテルは事情を知らなかつただけで、接近しすぎたのです。それは我々が超音速の壁にぶちあたつたのと同様です。そのあとで我々はその壁をつき抜ける方法がわかるのです。

## 地球の磁極の謎

ご存じのように磁石はその端から中心部にむかつて磁力線を放射します。私には、人々が地球は北極と南極とを持つという場合に疑問が起こります。

いったいそこにはそんなものがあるのかと。一方は正極で他方は負極です。これは我々の磁力の法則に従つて真実です。しかし我々は地球の中心は正極だと言います。したがつて一方が正極で他方が負極だというかわりに、両極とも負極でなければなりません。力とも負極のはこんなふうには働かからず、かりにそれが可能だとすれば、一方は正極によつて反発されるでしょう。しかし両極とも引つ張り合います。もちろんこれは一つの説にすぎません。

磁気の法則によれば、正極は正極に反発し、負極は負極に反発します。そして中心部へやってくる正極があります。しかも中心部は正極です。そんなことはありえないことです。そこでは反発し合うはずなんです。だがそれは引つ張りあつているのです。そこで私は不思議に思うんです。両極とも負極ではないのかと。我々は間違っているのだと。たぶん多くの間違いがあるのかも知れません。

## 人間は

### 万物を知ることが出来る

常識の次元に返りましょう。人間とは不思議な動物ですね。人間は地上で知られているあらゆる元素で出来ていません。それを吸い込んでくるからです。したがって人間は感覚や波動などに対する潜在力を自動的に持つと言えるでしょう。その波動が人間に、精神活動の最低の段階から知性の最高の段階に至るまで、簡単な実態を人間に気づかせるのです。このことは人間自身の充分な研究を必要とします。これは人間が自分の知識をいかなる源泉から得ているかということを的確に知るために必要です。

## ウィリアムソンと無線機

さて、ウィリアムソンと彼の無線機による異星人との最初のコンタクトの件ですが、彼はそれをやってはいません。むしろチェック・システムでサンタフェイに向かって操作した例の男がやったのです。その男が連絡して、ウィリアムソンはその場に行きました。それから彼は開弁を続けたのです。私はそこにはいませんでした。私は聞かされた事を知っているだけです。それ以上の事は知りません。ずいぶん矛盾した事柄が沢山あるようです。  
(訳注)ウィリアムソンというのは、

一九五二年一月二〇日、アダムスキーが米カリフォルニア州デザートセンタで異星人とコンタクトしたときの六人の同行目撃者の一人。彼はその場で金星人の靴の足跡の図形を石膏にとった。のちに無線機で空中の円盤と連絡する実験を行なったといわれている。ここはその件に言及したもの)

(ルツペルトから何かの質問を受けて)ああ、それは可能です。というのは、イングランドのアーチャーズ・コートが、全く人間の手で修正されなかった私のUFO写真類に関して質問してきたのです。彼らは私の写真類をある種の機械に通しました。そして写真中のあらゆる点について調査したので

す。  
今私はこのことを(アダムスキーのUFO写真類が真実であることを)支持するような情報を持っています。中西部にそんな人がいるのです。私はそれに関するすべての事を知ろうとして働きかけています。彼が知りえたかぎりでは、最高の手段を持っています。私は今朝彼に手紙を出したところ

です。これがいかに真実であるかを見い出すために個人的に会いたいですね。というのは、こうした指示は彼の無線機を通じて(異星人から)来たから

### 徹底的な調査が必要

です。これは私が初めて聞いたことで、実際には何が起こったのかを知るために、調査したいですね。そうすれば、私の写真のすべてが支持されるでしょう

う(訳注)誰かがスペース・ピープルからの声を無線機で受信して、アダムスキーのUFO写真類を真実のものと立証する科学的な方法を教わったことを意味するものと思われる)

### ウィジャ・ボードは危険

ルツペルト「私はウィリアムソンの本を読みました。部分的にですが――。それで私が好まなかった箇所は、彼がやった事はすべてウィジャ・ボードを用いた点です」

その通り！ それがもう一つの問題点です。あのUFO大会でベティ・ストーンという名の婦人が私の所へ来て、言いました。

「ジョージ、私たちはウィジャ・ボードで遊んでいたんです」

そこで私は言ったんです。  
「そんなものはやめろ！ 捨ててしまえ！ あんたが物事をもっと知りたいのならば、それに夢中になる前に物事をもっと知る必要があるんだと。」

だが我々はそれをやっていません！あなたが誰かを支持したいと思えば思うほど、それは出来ないのです。個人が気づかされていないということを知る限り、自分がケムに巻かれる可能性があるのです。したがって個人はきわめて注意深くする必要があります。あ

(訳注)ウィジャ・ボードというのは、心靈的な道具であって、平たい盤に文字や数字などを記入しておき、被術者は目をつむって自動的に手が動いて次々と各文字に手をおく。それを他の一人が記録して文章にし、宇宙人または霊界から来たメッセージだと思ひ込

む。しかしこれは本人の内部の細胞から来る印象にすぎないのであって、真実の通信ではない。この詳細はアダムスキーの『生命の科学』に述べてある。このウイジャ・ボードに凝って半狂乱になったり精神分裂症になった人がいることを訳者は知っている。」

私はつづけました。

「私はそれを否定はしない。人間には自分自身の権利がある。私はあんなからいかなる権利をも奪いとるものではない。だが、あなたはそれについて充分知っていないんだ。多くの混乱が生じて自分をその混乱に巻き込ませるので、自分がどこにいるかがわからなくなるんだ。」

そのときにウイリアムソン博士が私のそばに立っていて、こう言いましたね。

「そうだ、捨ててしまっただ。私がジョージ（アダムスキー）の言うことをよく聞いていたならば、こんな混乱におちいることはなかったのに」

（訳注）ウイリアムソンは一九五二年一月二〇日のデザートセンターにおけるコンタクトのあと、金星人の足跡の図形を独自に解釈した書物を出したが、これにはウイジャ・ボードを用いたために、全くの的はずれな解釈に終わったといわれている。そのためにアダムスキーのグループから敬遠されることになった。しかし昔、訳者にくれた彼からの書簡類はきわめて格調高い

丁寧な文面であった）

「だけだね、誰も私の言うことを聞くとはしないのです。私が相手の言うことを修正しようとすれば、私が彼らを支配しようとしているように相手は思うのです。たしかに、こちらが一レンツスンにつき人々から二五ドルを徴収すれば、彼らはこちらの話を聞いて学ぼうとします。しかし無料で何かを与えようとすれば、相手は私に支配されると思うんです。これは大きな問題です。」

## CONCLUSION 情報

ルツペルト「先に申しましたように、私はウイリアムソンの書物をさほど注意深く読んではないんです。しかしこのことを取り上げた最初の男は、無線のハムをやっていたのではないんですか？」

「いやいや、私が聞いたところでは、列車が通過するとき次の駅へメッセージを伝達するサンタフェイの連絡事務所にいた人です。最初に（異星人からの連絡が）発生したと思われたときには、その事務所にはいたんです。」

ルツペルト「なるほど。それでウイリアムソンはデトロイト出身のその男と提携しているんですね？」

「あなたはミラーのことを言っていますね。そう、私はあの日、大会の会場でミラーの話を聞きました。彼はかな

り健全な考え方をしていますよ。こんなふうには言いませんよ。筋の立った考え方というものは、きわめてうまく役立ちます。しかし一人の男が出てきて、三五〇〇機の火星の宇宙船が飛来して人類を救ってくれるだろうと言えば、私はその男にも誰にも言いたくない。そんなことは、とんでもないたわごとだ！」とね。

ルツペルト「私はあの大会でミラーに話しかけましたよ。かなりの時間、話しました。実際、あんなに長く話したのは彼が初めてです。というのは、彼らのグループは赤外線ビームを用いてこの仕事（異星人との通信）をやっているからです」

そのとおりです。彼らが会場に二個の小さな装置を持っているのを私も見ました。それが何なのかはわかりません。あれはジョン・アーノルドの発明または発見といったようなものです。それについては何もわかりませんが、

ジョンがある有名な雑誌からそのアイデアを取り入れたのです。それが本物かどうかは私にはわかりません。そういうことを聞いたのですが、あれは赤外線機械です。どんなふうに変動するのか、どんな結果が出るものになっているのかは、わかりません。だけど、それが本当に良い物ならば、これは私の意見ですが、政府が長くそれを使うことになるでしょうね。」

## カネで情報を洩らさない

さて、私はカリフォルニア州の誘導ミサイルに関する最高権威者四名からインタビューを受けましたが、彼らはこういう質問をするのです。

「別な惑星から来る宇宙船は、原爆の爆発直後にどのようにしてキノコ雲を突き抜けるのですか。影響を受けないのですか」

私は言いました。

「そんなことが、どうして私にわかるんですか」

「いや、あなたがそれをご存じであることは、我々にわかっているんです」  
人間がそれを知る唯一の方法は、実態を知るために異星人の宇宙船に乗ればいいと思っただけです。でも私が宇宙船に乗ったというので、私が知っているというのですかね？」

「あなたがご存じであることは、我々にわかっているんです」

と、彼らは言うだけです。彼らは言質を与えようとしません（訳注）あとで証拠となる言葉を述べようとならない意）

そこで私が解答を与えましたところ、それは国防上、きわめて有効だと彼らは言います。

つづいて彼らは私に、誘導ミサイルプロジェクトの顧問にならないかと言うのです。

私は言いました。  
「私は技術屋でないもので、何も建造することはできませんが——」

私は鉱石受信機が最初に発表された当時には、無線機について考えていただけです。

「それでいいんですよ。あなたは技術屋である必要はありません。あなたが理論を話してやりさえすれば、それを作る人間たちは、いますから——。私たちが望んでいるのは、あなたのアイデアだけです」

そこで私はたずねました。

「それは給料が出るのですか」

「そうです」と彼は言います。

私は政府から給料を支給される勤め人になりたくはないんです。というのは、もしそうなると、今しゃべっているように自由に話すことができなくなるからです。そのことはわかっています。

むかし私はかなりの期間、軍隊にいました。したがって軍隊がどんなものかはよく知っています。それで次のように話しました。

「私はそんなふうには軍に関係したくはありませんが、政府が義務を押しつけないようなやり方でやるのならば（報酬を出さないのならば）情報を与えましょう」

私が（秘密を）知っていると言います。彼らが中心で思いつく、筋道の立った物事は、実現する可能性が

あります。そしてそれを作る技術屋はいるのです。

その角度から、先ほどの赤外線機械に返りますと、そのすべてから結論づけて、我々もつと優れた物を持っているのです。おわかりでしょうか。

私は彼らを非難しているわけではありません。その機械にあると思われる劣等性を示すために分析しているのです。その機械に関するかぎりは善意に解釈したいですね。しかしそれはうまくはゆかないでしょう。実際、無意味な物は作らないほうがよいのです。

## 人類は別な方向へ行く必要がある

先にも言いましたように、UFO問題はあまりにも重大なもので、我々は自分でその問題から多くを学び取ることができます。それで、我々がひとたび自分で円盤の推進法を学んだならば、しかも燃料の油はいつか枯渇しますから、人類は何か別な方向へ転換する必要が起こるでしょう。

人間は常に新しい吐け口を求めていることを私たちは知っています。そして現在、人間はUFO問題をそっちのけにして、宇宙へ飛び出して別な惑星へ到達しようとしているのです。

そうするためには、我々は解決法を見つけねばなりません。というのは、我々はテストにおいて少数の人を犠牲にする必要があるかもしれませぬので

安全に宇宙旅行ができるような方法を発見する必要があります。

## カナダのコンタクト事件

ルッペルト「我々が、たとえば火星のような別な惑星へ行った場合、いかなる種類の受け入れがあるでしょうか」  
我々が武器を持たねば良い歓迎を受けるでしょう。

ルッペルト「なぜ異星人は実際に地球へ着陸して、しかも地球を占領しようとしなんでしょうか。我々地球人もしも火星に着陸したとすれば、たぶん空気のサンプルを採取したり、土地のサンプルを取ってきたりすると思うんですが——」

そうです。彼らは地球でそんなふう

にやっていたと聞いています。  
昨年私がカナダにいたとき、次のような情報が入ったんです。最初はカナダへ向かって出発する前に入ったんですがね。ですから関係者たちの名前はわかりませんでした。

一人は戦時中に空軍の最高の地位にいた人です。他の二人は実業家でした。彼らはちよつとした土地を持っていて週末にはそこへ行楽に出かけていました。その近くに湖があったんです。この事件はそこで発生したことです。

一機の円盤が降下して、異星人たちが彼らに話しかけたんです。もう一人の実業家は小型のトラクターを運転し

ていました。彼は小さな円盤を飛ばして遊んでいました。（訳注IIこれはフリズビーというプラスチック製の投げ道具。戦後流行した）暮れてきたので彼はやめようと思っていました。

そのときUFOが飛んで来るのを見たんです。しかし彼はそれに注意を払わなかったところ、やがて彼のトラクターのエンジンが停止したんです。それで彼は他の二人の所へ話しに行ったんです。いずれの場合も異星人たちは土、水、木の葉などを採取しているんです。これと同じ事を我々も火星でやるでしょう。

## またもカナダ人が証言

私がトロントで講演をやったあとで、沢山の人がいきましたね。会場は満員です。とにかく講演と質疑応答を終えてお開きになろうとしたとき、一人の婦人がいました。私をラジオに出演させた人です。彼女は非常に素敵な女性でした。

すると三人の男がステージに上がってきて、私の肩をたたきながら彼は言うのです。

「私たちはこれこれこういう者です」

そして大衆が絶対に知らない要点に触れて、カナダで発生した事件について私が話していた事柄を彼らは知っていると言って、自分たちのことを聴衆にその場で知らせたのです。

例の婦人がすぐに三人を支持して、翌日だと思いますが、彼らはラジオに出演しましたね。

一人は大男の実業家でした。彼は寶石店をいくつか持っています。他の一人は金物業界の人で、やはり沢山の店を持っています。また、戦時中にカナダ空軍の総司令官であった人もいました。彼らは発言については気をつける必要があったのです。さもないと事業に傷がつくこととなります。

しかし異星人たちが遠くへ去ってしまつてから、三人は同じ事をくり返しました。彼らは事件が発生したことを証言し、異星人たちが土や何やらのサンプルを採取したと話したのです。異星人たちは、きわめて友好的であつたことや、かれらの宇宙船には武器などはなかったと証言していました。

## 不思議なベルト

ルツペルト「なるほど。ところで質問があるのですが——あなたがメキシコにいたあいだに、やはり異星人とコンタクトしたという男と話したということですか」

ああ、話しました。彼は二人の異星人と一夜をすごしたんです。ここには別な物事があるんです。その男はヘルメットを持っていました。異星人二人もヘルメットを持っていました。しかし相手はこんなふうに自分の腕の下に

抱えていました。ヘルメットを頭にかぶつてはいませんでした。しかし相手は頭にかぶるたびに同じ物が見えたのです。ヘルメットの両側に小さな物が付いているのに男は気づいたわけですからそのヘルメットにはアンテナが付いていたんですかね。

それは連絡用のヘルメットだったかもしれません。それだけのことで。だから飛行中は頭にかぶつて母船とコンタクト連絡していたのかもかもしれません。しかし地上にいるときは、かぶらないんです。

さらに別な話があります。その男は政府関係者に体験を話しました。そこへ連れて行かれたからです。

相手の異星人二人は腰にベルトを着けていました。しかし男はそのときそんな物には気づきませんでした。

それで実際には何が起つたかといえますと、その土地には多くの水たまりがあつて、ぬかるみになっていたんです。異星人たちは宇宙船の方へ歩いて行き、その男もあとをついて行きました。男はぬかるみの中へ足首までつかりましたが、異星人たちはそんなことにはないんです。例のベルトが光つていたということですよ。

ルツペルト「なるほど」

言いかえれば、そのベルトは人体浮揚器だったのです。だから、ぬかるみに沈まなかつたわけです。

異星人たちが円盤に乗り込むとき、

その男にも一緒に行かないかと言つたのですが、最初彼は恐れました。何が起るかわからないからです。

異星人たちが宇宙船(円盤)のフランジ(訳注IIキャビンの下にスカート状に広がった部分)の上にながったとき——そのフランジは地面に低く下がっていたのですが——キャビンは半透明で、一部は透明でした。だから円盤はあらゆる色光を放つのです。

円盤の内部はグラフィカなくて、針の動きなどはありません。すべてグラフィで、しかも色であらわします。異なる色光を放ち、半透明と透明のドームがその色光を反射しますので気分が転換します。その男は円盤内でそんなものをすべて見たのです。

一同が円盤内に入るためにフランジの上に立つたとき、男が気づいたのは、フランジ上に泥がまったくなかつたことです。フランジは鏡のように光つていました。だから、あのベルトは泥の上の空間を歩くために用いられたのかもしれません。以上がこの事件の最も奇妙な部分です。

## 地球のものではない金属

ルツペルト「なるほど。ところであなたはこのような質問を過去に無数に受けられたと思いますが、なぜコンタクトした人は証拠物件を持ち帰らないのですか」

そうですね、私は一個の金属を持っています。しかしそれは金属ではありません。それは鈹<sup>ベリリウム</sup>です。私が円盤に接近したとき(訳注IIこれはアダムスキーが一九五三年二月一八日、砂漠地帯で二度目のコンタクトをしたときのことを意味する。詳細は新アダムスキー全集『第二惑星からの地球訪問者』一五二頁に出ていゝ)私は非常に驚きました。というのは、最初のコンタクトのときには(訳注IIこれは一九五二年一月二〇日のコンタクト)テレバシーで語り合つたからです。

彼らは誰かに会いたいと思うとき、電話などをいいたいです。彼らは他人とテレバシー・システムを確立しているんです。

あらゆる人間は異なる波動を持っています。同じ人間は二人といません。そこで私が一人の人間から本人の波動をキャッチしますと、同じ人間からそれが再度来ることがわかります。その波動が私にフィードバックを起させて本人ということを感じさせるのです。

さて、砂漠で円盤に近づいてみると相手の異星人(金星人)は英語で話し始めました。彼は最初のコンタクトのときには英語が話せないような様子でしたから、私はすっかり面食らいましたね。

そこで私は思ったんです。このイタズラはいったん何なのだろうかと。私はポーランド語を少し話せます。



私は父方のポーランド系なのです。そこでポーランド語を使いましたら、相手はすぐにポーランド語で言い返ししました。それはポーランド人と全く変わりません。だから先ほどのメキシコ人の男にしても、異星人たちはスペイン語で彼に話しかけたのです。

ところで、砂漠での話ですが、相手の異星人は何かをやっていました。何かを修理していたのです。彼は小さな増柄まがばを持っていましたが、それは熱かっただけですね。そして彼は金属の屑くずを投げ捨てました。そこで私がそれを拾い上げてハンカチに包んだのです。それはかなり熱かっただけですが、焼けるほどではありません。それでハンカチの中に入れて、上着のポケットの中へ入れ始めました。

すると相手がいきました。「そんな物を拾って、どうするんですか」

「これはあなたの惑星の金属なのではないか？」

「そうです。でもそれは地球の物と変わりはありませんよ」と相手は言いいます。

彼らが持っているもので唯一の相違する物は合金です。しかし金属は同じなのです。それで彼らは笑いました。

とにかく私はそれを家へ持って帰りました。きわめて小さな物ですが、持って帰ったのです。

それからデスマOND・レスリーがこ

こへ来たとき、私は彼に、その一個を譲ゆづったんです。彼は後にローマへ行つたとき、法王からそれを祝福されたというのです。少なくとも私にそのように書いてよこしましたね。(訳注)デスマOND・レスリーはアダムスキーが最初にコンタクト体験記「空飛ぶ円盤は着陸した」を出したときのイギリス人共著者であるが、後にアダムスキーから離れた。その原因は彼が異星人に会わせてくれとアダムスキーに頼んだとき、異星人側から拒否されたことにあると伝えられている)

私がメキシコにいたあいだに彼からその手紙を受け取ったのですが、それには彼がその金属のかけらを英陸軍に分析してもらったと述べてありました。それによりますと、その金属の中には地球上では未知の元素類が含まれているという事です。

## スペクトル分析では不充足

ルッペルト「そうですか。ところで、私にわかっているのは、別な惑星群のスペクトル分析や大気分析から見ますと、惑星によっては、特に金星では二酸化炭素があるということですが、これについてはどうですか」

そうですね。それはこうなんです。その線にそって論じてみましょうか。私は科学者を傷つけようとか、信用

しないとか、そんなことをするつもり

はありません。スペクトル分析の線にそって論ずることにしましょう。

スペクトルというのは素晴らしいものです。素晴らしいのですが危険でもあります。鉄の弱さやその他何でも分析するのに用いられます。それは非常に良いものです。

しかし天文学者が認めているところによりますと、宇宙空間には、いわゆる宇宙塵うちゅうじん、隕石いんせき、微粒子、あらゆる種類のガスポケットなどが充滿しているのです。しかも地球から金星までの距離は六千万マイルありますから、我々は目標に到達する前に、それらの雑多な物を記録しているわけです。地球と金星とのあいだにどの程度の障害があるのか、わからないというのに、いったいどのようにして正確な解答が得られるのでしょうか。

今のところ、それが唯一の解答です。私はその線にそって研究してきました。これはフランスからの情報ですが、私

は一つの記事と手紙を入手しています。それによりますと、フランスでは、ある観測装置が開発されて、今月作動

することになっています。それはこの(パロマー山の)二〇〇インチ望遠鏡とは違う装置であつて、電子工学的なものですが、どんな物かは正確にはわかりませんが、二〇〇インチのコストの

一〇分の一ということですが、いずれはその装置によって各惑星上の状態に関する解答が我々に与えられるでしょう。

それがうまく作動すれば、二年以内に金星その他の惑星上の水とか何とかがわかるということで、フランスの関係者たちが計画していることは、もし金星で何かのシヨウが行なわれていれば、それを我々のテレビに中継するというのです。その観測装置がいかに優れたものであるかが、これでわかるでしょう。たいした物なのでしょうね。

## 宇宙に“果て”があるか

したがって、従来の天文学で観測した結果は、地球と金星のあいだの空間を記録したのかもしれない。それを何度試みても学者は同じ結果を得るだけです。私が「電子の棒」と呼んでいる物があるんですが、それが宇宙空間へ一フットずつ進行して、各フットを記録するようになるまでは、真相はわからないでしょう。私はその線にそって研究しているんですがね。

空間にどの程度の障害があるかが正確にわかれば、標的に到達する前に干渉物のすべてを演繹的に推測することができます。そうなれば金星に実際に何ががあるかがわかります。

我々の観測装置はそれなりに優秀なのですが、しかし一〇〇インチ反射望遠鏡でも一〇億光年までしか観測できません。しかも始めも終わりもない大宇宙には、こんな光年などは無きにひ

としいものです。(以下一二頁へ)

# 1993年度日本GAP総会 大盛況!

一九九三年一〇月一〇日、港区の機械振興会館において今年度日本GAP総会を開催。

今年の演題は「信念と希望と絶対に諦めない力を起こさせる方法」である。約二五〇名が出席。豪華な場所ではないが真摯な会合を催すには十分であろう。

久保田会長の講演が始まった。以下はその要旨。

「活動を始めてから四〇年近くの日本GAPはいつもブラザーズに見守られてきた。今回の旅行でも久保田会長の行くところ常にブラザーズの援助があった。この頃はそのブラザーズが都内のK区とAに多く集中している。また天変地異によって世界がだめになることは絶対になく、核兵器による大戦争も起こらない。現在アダムスキー問題を中心にしたブラザーズの方々の活動が水面下で熾烈に行なわれている。現代の生命科学の研究はアダムスキー氏の説くものに近づいてきている」

会場全体のフィードバックが次第に高揚してきた。会長の話聞き入る会員の方々の熱気が背中で感じられる。

さらに会長は、GAP会員の間に有名なフーコン氏の言葉を「ご自身が実践されてきたことや、そうした信念の

重要性を話す。特に病気を治すときには「今の自分に、完璧に治った美しい姿がダブって存在している」というイメージを描くのが良いことや、ある会員の方がイメージの力で良き伴侶を見つけたことなどにより、イメージを描くことの効用を説く。また自分の力ではどうしようもないときは最後の手段としてブラザーズに送信をして助けてもらえばよいことや、現在コンタクト

をしている会員の話なども出た。また、人間にはそれぞれ宿命があるので、どうしても実現できない物事もあるけれども、基本的に自分の進路は自分で決めなくてはならず、それを知るためには心を完全に静めてから、意識からわき起こってくる印象の声を聞き取るようにすれば良いことなどを説明。

続いてスライドの上映が行なわれる。ブラジルのUFOが紹介されて、ブラジルはUFOの存在を公式に認めた国であることを述べる。その他、各地のコンタクトイーターの方々の様子や目撃報告、政府関係の資料などを公開。

最後に宇宙の生命エネルギーを体に充満させる大宇宙瞑想を全員で実習した後、会長の講演は終了。

休憩をはさんでから本部役員の篠芳

史氏による、想念の力によって花(コスモス)を動かす実演が始まった。残念ながら大きく動かなかったが(かすかに動いていたという)、たまたまこの

花が自分を見つめる大勢の方の真面目な視線にびくつきりして畏縮してしまっただのかもしれない。我々人間でさえこんなになくさんの人に見つめられたら緊張して動けなくなるだろう。篠氏は「花を生き物として、人に対するように語りかけている」といい、自宅では大きく動くという。たしかにそれは生き物であり、人間や動物と同じように動いていることは間違いない。ただ我々とは異なる時間で生きているので普通はその動きが意識できないだけなのだ。

続いてテレパシー練習を行なった後、伊豆支部代表の高梨十光氏の講演が始まる。来年の伊豆支部大会にかける会員歴二〇数年の大先輩の熱心さには頭が下がる。

本日最後のプログラムである質疑応答に移る。会長は転生や霊界に関する質問に対して、人は皆最高の何かを目指して進んでいるのだから各人は何を信じてよいことを、多くの登り口のある富士山の頂上へ登ることにとえて説明。続いて能力に関しては、他人に頼むよりは自分の力を自分で開発していくのが本当の進歩であることを述べる。またNASAの火星探査機が通信不能になった件についても、実は裏

で情報操作が行なわれており、結局地球人の目をほんとうに驚ますのは科学に他ならないことを力説。

大夕食会は総会と同じ機械振興会館の六階で開催。出席者は一三〇名。立食形式による賑やかな宴会が二時間半続く。これにより一層会員同士の親睦が強化された。

大夕食会の後には銀座で二次会を開催。出席者は約九〇名。

翌日の観光も前日同様快晴に恵まれた。約五〇名で出発。皇居の二重橋前広場、桜田門、銀座を経て浅草へ向かう。ここで散策後、最初の集合場所へ戻ったら、時計台の近くで騒ぎが発生している。UFOが出たというのだ! 大阪の斎藤さんが指さす空中を見ると、銀色の板のような物が見えたり見えたり。この物体はそこにいた会員だけでなく、周囲にいた多くの通行人も目撃している。これは素晴らしいおまけであった。

大会全体を通じて感じたことは、新しい会員の方が多数増えており、例年になく新鮮な雰囲気になっているということである。一年間、練りに練って企画した総会、大夕食会、観光のいずれも予定どおりに進行して結果的には大成功であった。北は北海道、南は鹿児島を含む全国各地から参加された方々に厚く御礼を申しあげるとともに皆様方のご発展を祈念致したい。

(本部役員 岡部智成)



SCIENCE & COSMIC PHILOSOPHY OF GEORGE ADAMSKI

1993年度日本GAP総会  
信念と希望と絶対に諦めない力  
を届かせるセミナー



右上より、大夕食会二点、鏡光(皇后一重橋前)、浅草で出現したUFOを見つめる会員と群衆。  
左上より、講演中の久保田会長、参会者、篠・遠藤両名によるテレビパシー練習、高梨十光伊豆支部代表の挨拶。

撮影：松村芳之。夕食会二点は山本益巳撮影



## 久保田先生と 語るう会

昨年一月二〇日、東京都内吉祥寺にある永谷スペースに於いて若手会員が集い、第一回目の「久保田八郎先生と語るう会」— UFO 問題に関する質疑応答— が開催された。

あいにくの雨にもかかわらず会場は若さによって熱気に溢れ、久保田先生ご自身も永遠の二・四歳と言われるように、質問に対するお答えもいつになくパワフルで、しかも我々への内なる激励がお言葉の一つ一つに滲み出ているかのような素晴らしいご回答を頂くことが出来た。

質疑応答だけでも二時間以上も費やしたこのセミナーでは普段お聞きすることのないようなアダムスキー問題の秘話や久保田先生ご自身の秘話、その他質問も多岐にわたったが、そのどれもが興味尽きぬ深遠な内容ばかりであった。セミナーの最後では東京本部月例研究会で実践中の大宇宙瞑想を特別にご指導頂き、会場は最後まで宇宙的なフィーリングで満たされた。

その後若手会員同志の親睦を兼ねた夕食会、二次会へと移り、こうして手作りのセミナーは無事終了した。

最後に、全国の若い会員の方々に久保田先生が最も力説された次の言葉をお伝えし、ご報告とさせて頂きたい。

「テレパシクな瞑想型の人間になりなさい。これが重要です！」

(加藤純一)

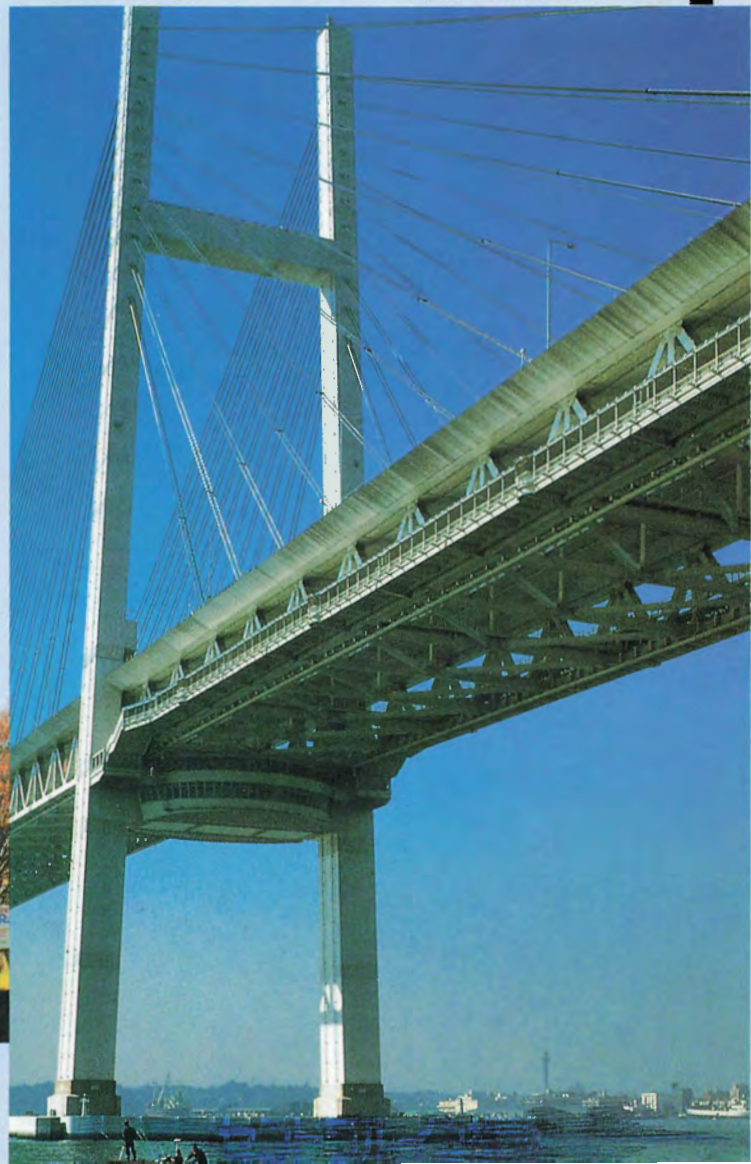
# 第1回・横浜支部大会 〈3月20日〉

★国際都市・港ヨコハマに宇宙の声を響かせよう!

横浜支部発足以来、満を持して機会をうかがっておりましたが、ついに第1回大会を開催することになりました。エキゾチックな美しい「港の見える丘公園」の「ポートヒル横浜」に久保田先生をお迎えして大講演をお聞きし、夜は同会場で港の黄金の夜景を眺めながら楽しい立食パーティーを開きます。翌日は市内観光を実施。日本一の超高層ビル「ランドマークタワー」(296m)の展望台に昇ってUFOを観測。山下公園その他を周遊し、横浜の2日間を満喫します。ロマンティックなハマの忘れえぬ思い出を残そうではありませんか。多数ご来場下さい。支部会員一同あたたかくお迎えします。 支部代表 清水 正

- 日 時 1994年3月20日(2連休の初日) 1:00—5:00
- 会 場 市内・港の見える丘公園内「ポートヒル横浜」(総合結婚式場)  
交通=東京駅からは京浜東北線「石川町駅」下車。徒歩15分。タクシー5分。JR桜木町駅から①保土ヶ谷駅東口行きバス、または②山手駅行きバスで「港の見える丘公園」バス停で下車。すぐ前の建物。
- 会 費 ￥2000 (全員記念写真代￥1000は別途)
- 夕食会 同会場の宴会室にて立食形式で6:00—8:00まで開催。
- 会 費 ￥6500
- 宿 舎 ホテル「セントラルイン横浜」  
中区伊勢佐木町4丁目117番地  
☎045-251-1010(代)
- 宿泊料 シングル ￥7900(税込)  
朝食付 ￥9250  
※夕食会後の二次会はホテルの近くの伊勢佐木町に予定、宿泊者には便利。
- 申 込 夕食会、ホテル、観光参加希望者は3月10日までに下記へハガキでお申し込み下さい。  
〒171 東京都豊島区西池袋  
3-8-17  
清水 正  
☎03-5951-3518

▼横浜港にかかるベイブリッジ



## — プログラム —

- 司会 元井武士
- 1:05 支部代表挨拶 清水 正
- 1:15 会員講演「学びのプロセス」 杉山敬樹
- 2:00 一休憩
- 2:10 講演「宇宙哲学で奇跡を起こす方法」 久保田八郎先生
- 3:40 全員記念撮影・休憩
- 4:05 質疑応答
- 5:00 閉会

▼大会と夕食会の会場「ポートヒル横浜」



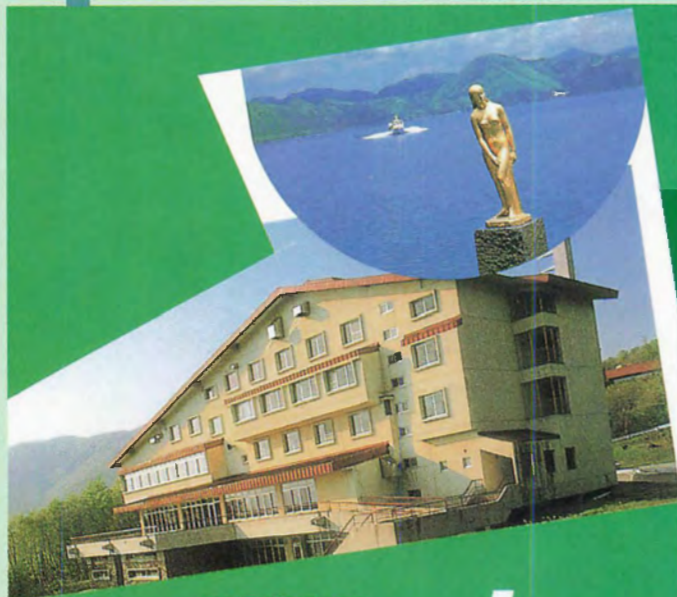
# 第5回・秋田支部大会

〈4月30日〉

新緑の田沢湖畔で歓喜の波動！

●今年も久しぶりに東北の地へ久保田先生をお招きして雄大な講演をお聞きすることになりました。支部会員一同歓喜に燃えています。田沢湖は秋田県最大の観光地。またUFOの出現も多い土地です。風光明媚、清澄な空気に包まれた湖畔で、お互いに宇宙的な精神波動を高めようではありませんか。昼の大会、夜の夕食会、宿泊のすべてを同一の建物内で行ないますからきわめて便利です。翌日は車で田沢湖周辺や新緑萌える名高い八幡平高原を周遊。途中で空を見上げてテレパシーで送信すれば、UFOの祝福の出現があるかも？東北地方の会員の皆様、この絶好の機会をお見逃しなく万障お繰り合わせのうえ多数ご参加下さい。支部会員一同心からお待ちしております。 支部代表 伊藤正治

▼上は支部大会会場「田沢湖ハイツ」



田沢湖高原

# Tazawako Heights



日時 4月30日（土・飛び連休の中日）  
1：00—5：00  
会場 ホテル「田沢湖ハイツ」中会議室  
秋田県北仙北郡田沢湖町生保内  
駒ヶ岳 ☎0187-46-2201  
交通=大曲・盛岡間JR田沢湖線  
「田沢湖駅」下車、乳頭温泉行きバス  
約40分。「保養所団地前」バス停  
下車、徒歩3分。  
会費 ¥2500（全員記念写真代¥1000は  
別途）

### — プログラム —

司会 佐々木京子  
1：00 支部代表挨拶 伊藤正治  
1：05 会員講演 佐藤忠義  
1：35 講演「アダムスキー問題の意義  
と奇跡発生法」久保田先生  
3：00 全員記念撮影・休憩  
3：20 全員自己紹介・質疑応答  
5：00 閉会

夕食会 6：00—8：00 同ホテル別室に  
て。

会費 ¥6000  
宿泊 ¥6000（朝食込み）シングルがな  
いので相部屋になります。

観光 5月1日（日）田沢湖周辺と八幡  
平を車で周遊。JR田沢湖駅到着  
予定は3：00 秋田駅・秋田空港到  
着予定時刻は4：30。

参加費 ¥1500  
申込 夕食会、ホテル宿泊、観光参加希  
望者はハガキで下記へ4月10日ま  
で（必着）にお申し込み下さい。  
あらためて詳細案内書をお送りし  
ます。  
〒010 秋田市山王新町15-4  
伊藤正治 ☎0188-62-2831

※4月10日の月例セミナーは通常  
どおり開催します。



# 第2回 伊豆支部大会 (5月3日)

花のゴールデンウィークは伊豆修善寺へ！

花の五月のゴールデンウィーク！伊豆支部はまたも久保田先生をお迎えし、盛大な大会を開催します。会場は五〇万坪の敷地を誇る総合リゾートホテル「ラフォーレ修善寺」。付属のゴルフ場では夜間にUFO観測も可能です。翌日の観光は貸切りバスで伊豆半島周遊の豪華版。二日目の夜は松崎町海岸の温泉のある高級リゾートホテル「松崎プリンスホテル」に宿泊。二泊三日の旅は会員間の親交を深める絶好のチャンス。多数ご参加下さい。まごころをこめてお迎えいたします。

支部代表 高梨十光・副代表 赤池澄夫他役員一同

- 日時 5月3日(火・3連休の初日) 1:00—4:30
- 会場 総合リゾートホテル「ラフォーレ修善寺」第1研修館  
静岡県田方郡修善寺町大平宇大城1529 ☎0558-72-3311  
交通=新幹線「三島駅」で伊豆箱根鉄道に乗り換えて「修善寺駅」下車(所要35分、¥470)。駅前より東海バス乗場⑩番線から「ラフォーレ修善寺」行き無料バスあり(所要25分)。9:10より1時間間隔で13:10まで出る。タクシー20分。東京からL特急踊り子号で修善寺駅まで直通2時間15分。¥4470。
- 会費 ¥9800 中高生¥2000 小学生以下は無料。受付で納入(全員記念写真代¥1000は別途)
- プログラム—
- 司会 赤池澄夫 1:05 支部代表挨拶 高梨十光  
1:15 講演「アダムスキー哲学と奇跡発生法」久保田先生  
2:45 全員記念撮影・休憩/3:15 全員自己紹介・質疑応答  
4:30 閉会
- 夕食会 5:00—7:00会場 ラフォーレ修善寺コンベンションホール  
会費 ¥7600 中高生割引なし。
- 宿泊 ラフォーレ修善寺 本館またはコテージ(1部屋6名。内3名はベッド、3名はタタミ)。シングルは希望に応ず。料金同じ。
- 宿泊料 通常料金¥20000のところ日本GAP会員は半額の¥10000。朝食は¥1980バイキング式。
- 観光参加費 5月4日 9:00—4:30 貸切りバスで伊豆半島周遊の旅。  
¥7500(昼食別)見所=中伊豆の万城の滝、伊豆高原、城ヶ崎海岸、石廊崎灯台、波勝崎、マーガレットライン、富士見彫刻ライン、松崎海岸その他。
- 宿泊 温泉のあるシーサイド高級ホテル「松崎プリンスホテル」  
宿泊料 ¥25000 1泊2食付(夕食は5:30より豪華なフランス料理、朝食はバイキング)静岡県加茂郡松崎町江奈211-5 ☎0558-42-2111 温泉プールで水泳可能。水着のご用意を。5月5日はバスでホテルから修善寺駅まで走行(所要1時間40分)。
- 申込 ハガキに3日の夕食会/ラフォーレ宿泊/4日の観光/プリンスホテル宿泊のいずれかと、氏名・住所・電話番号・同室希望者名を明記して4月1日まで(必着)に下記へお送り下さい。  
〒410-24 静岡県田方郡修善寺町柏久保675-1、三田マンション103 高梨十光 ☎0558-72-7832  
ご注意=5月の月例セミナーは中止。

▼「ラフォーレ修善寺」のふかん図(部分)



# 本誌バックナンバー掲載記事目録

★下記の他に101号と105号以降最近号まであります。代金後払い可。ハガキで注文の場合は号数・住所・氏名・電話番号を明記して下さい。バックナンバーに限り送料は当方でサービスします。ご注文は日本GAPへ気軽どうぞ。

## No.123 平成5年10月25日発行 ¥900

凄く超能力者のUFO目撃と遠隔透視	編集部
私を助けてくれる異星人(1)	上原則子
山梨県に出現した巨大UFO	編集部
エゼキエルはUFOを見た?	久保田八郎
私はアダムスキー型円盤を見た	海瀬宏子
UFOと異星人の実態	G・アダムスキー
謎の古代マヤ遺跡とUFO	久保田八郎

## No.122 平成5年7月25日発行 ¥900

金星文字を解読してUFOの推進原理を解明!	バシル・バン・デン・バーグ
星々への切符	遠藤昭則
オメ教授が発見した金星?文字	久保田八郎
不思議な体験連続の人生	千葉福造
オーラで異星人を見分ける	紙屋光孝
私だけが見る UFO	須山有美子/宮本浩子
万物は人間の想念に感応する	塩谷信男
四感・生命の息・転生	G・アダムスキー

## No.121 平成5年1月25日発行 ¥900

パロマー山にUFO出現	久保田八郎
宇宙ボタルはUFO	
アダムスキー型円盤、超低空で東京をかすめる!	
江戸川堤防の怪光体	鈴木 武
不思議な筒状の雲	沼倉孝彦
人間・イメージ・波動	佐々木八郎
驚異の超小型円盤と宇宙の永遠の活動	G・アダムスキー

## No.120 平成5年1月25日発行 ¥900

宇宙的な信念と勇気を起こす方法	久保田八郎
二人の異星人からの忠告	辻 俊昭
テレパシーで植物を動かす方法	遠藤昭則
人間は生来テレパシー能力を持つ	堀江健一
夜空の不思議な“映像”	田辺優子
重力と宇宙の自然のパワー	G・アダムスキー
モアイとUFOの島へ	伊東芳和

## No.119 平成4年10月25日発行 ¥900

夜空に不思議な「U」の文字が出現	久保田八郎
私の超能力開発体験と異星人女性との出会い	佐々木八郎
瀕死の妻が宇宙哲学で奇跡的に全快	ロノ町一男
ミコミラクルワールドとイメージ法で腰痛が急速に治る	
	穴原美智子
神室山上空のUFO	沼倉 孝彦
UFO・異星人・地球人	G・アダムスキー

## No.118 平成4年7月25日発行 ¥900

イエスの実像と転生の法則	久保田八郎
計り知れぬ影響力をもつアダムスキー	中村省三
宇宙の意識とともに願望を実現させる方法	高梨十光
私のUFO目撃と不思議な体験	川野晶子
音楽は生命エネルギーを運ぶ	鷺見 弘
UFO・異星人・地球人(1)	G・アダムスキー
天地万物との一体化で長寿	紙屋信男

## No.117 平成4年4月25日発行 ¥900

巨大宇宙船、デザートセンター上空に出現!	
地球救済活動を続ける異星人(2)	秋山真人
飛行機を助けた謎のUFO	
奇跡を起こす反復思念とイメージ法	久保田八郎
善だけを探し求めてテレパシーが発現	小川隆志
ひとりで物品が動く現象	大嶋順子
思いどおりに出現するUFO	中島直仁
ジョージ・アダムスキーと異星人(完)	アリス・ボマロイ

## No.116 平成4年1月25日発行 ¥900

地球救済活動を続ける異星人	秋山真人
南フランスの不思議なコンタクト事件	中村省三
奇跡的に願望を実現させる方法	テッド・オーウェン
病氣治療の宇宙哲学的応用	高梨十光
ミラクル・ワードとミラクル・イメージ	久保田八郎
江東区上空のUFO	森田久恵
南九州支部からの声	曾我部勇人
ブラザーズに助けられた?	藤沢清則
ジョージ・アダムスキーと異星人	アリス・ボマロイ

## No.115 平成3年10月25日発行 ¥900

アダムスキーとUFO問題の真相	ハンス・ピーターセン
金星表面に超長大な水路を発見!	
28年ぶり宇宙からの帰還!	
突然消滅した10人の少年少女!	
暗闇から現れた不思議な人々	
円筒型の奇妙な物体を見る	服部哲雄
謎の飛行物体、米子に出没	
UFOの色彩についての考察	斎藤俊徳
UFOと古代マヤの謎	久保田八郎

## No.114 平成3年7月25日発行 ¥900

日本GAP 全国ネットワークテレパシーコール UFO観測会、大成功	
北海道上空の物凄い光景	松村芳之
尽きぬ宇宙へのロマン	高木 澤
奇跡を起こす想念の力	遠藤昭則
私は巨大な円盤を見た!	松浦義教
タバコイの謎の大爆発	ジャン・パジャック博士

## No.113 平成3年4月25日発行 ¥900

ファティマの大円盤出現事件	久保田八郎
奇跡のペンダントと転生の法則	ハンス・ピーターセン
ティモシー・グッドのアダムスキー体験	中村省三
オーラ透視力開発法	遠藤昭則
壁面の奇跡	永山稔恭
江戸川区上空の巨大UFO	北館博子
クリスマス前のUFO出現	伊藤芳和
私のUFO目撃体験	平井沙織
UFO-宇宙からの完全な証拠(完)	ダニエル・ロス

## No.112 平成3年1月25日発行 ¥900

アダムスキー問題と日本GAP	久保田八郎
宇宙人の遺体はロボットだった!	ハンス・ピーターセン
高度に進化した金星人の実態(完)	G・アダムスキー
<写真>金星の不思議なスジ模様	
青森県に頻発するUFO出現事件	
UFO-宇宙からの完全な証拠(1)	ダニエル・ロス



# アメリカ・メキシコ・コスタリカ 宇宙ロードの旅

●1994年度(平成6年)日本GAP企画第16回海外研修旅行



写真上=デザートセンターのコンタクト地点(矢印)。下左=テオティワカンの太陽のピラミッド。右=パレンケの碑銘の神殿ピラミッド。  
撮影3点共/久保田八郎

◆日本GAP海外研修旅行は今回で16回目になります。今度はアメリカの大都市ロサンゼルス市内見学を皮切りに、1952年11月20日にアダムスキーが金星人と会った歴史的な場所であるデザートセンターを訪れてコンタクト地点を視察します。GAP会員必見の感動の地域です。そのあと中米の美しい国コスタリカへ飛び、首都サンホセに2泊して市内見学、名高い避暑地のアウフェラや花の都エレティアを周遊。次にメキシコへ入り、首都の近くのアテオティワカン大遺跡を見学。太陽のピラミッドや月のピラミッドに登頂。首都の市内見学。翌日はメキシコの田舎へ専用バスで行きます。ここはUFOが着陸して特殊な放射線を浴びせたために水質が変化して、これを飲めばどんな難病でも治るといわれる奇跡の水が湧き出る所です。自由に飲んだりビンにつめて持ち帰ることもできます。首都のメキシコ市には2泊して、滞在中はユカタン半島の古代マヤ遺跡中最も壮麗典雅な風格をもつパレンケの遺跡を訪問(希望者のみ)。その後メキシコ市から米サンフランシスコを経由して帰国の途につきます。

◆日本GAP独特の温かい家庭的な雰囲気、満ちた手作りの楽しい旅を満喫して下さい。旅行中はベテランの田中正(ワールドセブントラル社)より添乗。日本GAP東京本部役員)と久保田八郎日本GAP会長が親身のお世話を致します。訪問地のいずれも治安は良好ですから安心して多数ご参加下さい。

## 日 程

1994年(平成6年)8月12日より10日間。  
12日(金)成田16:00発。米ユナイテッド航空890便で出発。同日朝ロサンゼルス着。着後半日市内見学。同夜ロサンゼルス泊。  
13日(土)朝専用バスで出発、デザートセンター行き(片道4時間)、夕方市内へ帰着。夜ロサンゼルス発。(機内泊)。  
14日(日)朝コスタリカの首都サンホセ着。国立博物館、黄金博物館その他、半日市内見学。同夜サンホセ泊。  
15日(月)朝専用バスで首都より20kmの避暑地アラフェラと花の都エレティアを周遊。同夜サンホセ泊。  
16日(火)早朝サンホセ発、約3時間後メキシコ市へ引き返す。そのままテオティワカンの大遺跡へ専用バスで行き、太陽のピラミッド等に登頂。同夜メキシコ市泊。  
17日(水)専用バスで奇跡の水が出る所へ行き、水を飲み、採取して、同夜はその土地のホテルに宿泊。  
18日(木)専用バスでメキシコ市へ帰る。同夜はメキシコ市泊。  
19日(金)メキシコ市滞在。希望者のみ古代マヤの遺跡パレンケへ飛び(要別途料金)。見学後メキシコ市へ帰り、同夜市内泊。  
20日(土)早朝メキシコ市発、米サンフランシスコへ10:16発。13:40ユナイテッド航空837便で出発。  
21日(日)成田へ16:25着。

- ★期 間 1994年8月12日(金)より21日(日)まで10日間
- ★費 用 59万5千円(1カ所別途料金)
- ★定 員 20名
- ★航空機 ユナイテッド航空
- ★ローン 費用は24か月払いも利用できます。詳細は案内書をごらん下さい。
- ★参加資格 日本GAP会員と会員に同行する家族に限ります。
- ★案内書 下記へハガキでお申し込み下さい。〒150東京都渋谷区東3-24-3 サイースビル2F ワールドセブントラル株式会社 田中 正 ☎03-3499-2461 (夜間は田中宅0475-89-2039へ)
- ★説明会 第1回目 平成6年5月15日(日) 第2回目 " 7月24日(日) 会場・時間等については案内書申込者に後日お知らせします。
- ※ご注意 8月は1年を通じて航空運賃が最高値になる時期ですから、1~2月頃の最低運賃と比較しても無意味です。この費用は他社と比べて高くはありません。多数参加見込につき早目にお申込み下さい。
- ★企 画 日本GAP
- ★主 催 株式会社 日本旅行 (運輸大臣登録一般旅行業第2号)
- ★取扱い旅行代理店 ワールドセブントラル株式会社(運輸大臣登録旅行代理店業第1957号)

# ユーコン広場



## 日本GAP総会、大成功を祝す

静岡県 高梨十光

過日は盛大なる総会、誠にめでたうございました。また、大舞台での挨拶という光栄なる機会を与えて下さいましてありがとうございます。

日本晴れの一日のもと、全国津々浦々から万難を排してお越しになられた方々は、皆、超熱心な方々ばかりでした。熱気が満席の会場に充満しておりました。久保田会長の御講演は、宇宙的に轟き響き、二百数十名の方々の「信念と希望と絶対に諦めない力」を強く強く高められました。三二年もの長きに渡って、弛むことなく一貫して聖なる活動を続けられた業績は偉大です。久保田会長はまさに「信念と希望と絶対に諦めない力」の源です。大夕食会や二次会では、友人との再会や新しい出会いで物凄く楽しくて、あつという間に東京の夜が過ぎ去りました。

翌日は至れり尽せりの手作りの観光でした。東京本部役員の皆様の大活躍には本当に嬉しく思いました。リラクセスした一日で会員間の親睦も深まり、友人も増えました。このような企画はとて良いことと存じます。久保田会長の御統率の下、総会の全日程に渡る本部役員の大活躍には、脱帽致しました。

投稿歓迎字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

## 大盛況の日本GAP総会

東京 清水 正

総会の大成功おめでとうございませう。久保田先生と役員の方々の準備が実った、素晴らしいフィードバックの総会でした。年に一度の総会是全国の方々と出会う喜びを分かち合う楽しい日です。本当に別れがたく思いました。

最近では会員数が増えている為でしょうか、今回の総会にも新しい方々が多く参加されて、ある種の熱気が感じられました。UFO問題のブームは周期的にやってきましたが、これから再びこの問題が世界的な広がりをもってマスコミに取り上げられ、テレビの特集番組が多くなってくるような気が致します。少しずつ深く浸透してゆくのはまちがいありません。

総会のテーマですが、まさにこれからの信念の力、希望の力、絶対に諦めない力ですね。先生はスペース・ピープルが公然と出現するのはいつ頃とみていますか。二〇一〇年頃でしょうか。またアダムスキー氏の映画はどのような状況でしょうか。楽しみます。私はこれからのGAP活動への協力をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 魅力的だった総会

大阪 福井貴子

本年度総会での先生の御講演は、私にとりまして、いつもの年と比べてより具体的で、より身近で、より魅力的な話で、一層引き込まれるような気が致しました。毎月の月例セミナーで聞いてきたものが、もっと分かりやすく心にしみ込んでくる、そんな感じが致しました(最近少しずつですが実感し始めました)。気負わない状態で確信となっていく心地良さを楽しみながら体験できました。「信念の力、希望の力、絶対に諦めない力……」大好きな生き方ですが、もっともっとと普段の生活に生かしたいと改めて思います。ありがとうございます。

夕食会や二次会とても楽しいものでした。また、翌日の都内観光は秋晴れの中、便利な地下鉄を利用して無駄のない行程でした。美しい皇居の二重橋前広場、銀座、活気ある浅草、高層ビル群の新宿、都庁の展望台からの素晴らしい眺めなど、東京の大都会としての表情と、憩いの場での表情を楽しませて頂きました。本部役員の皆様をはじめとして案内して下さいました。

## 初めての総会に感動

埼玉県 佐藤 晶

一九九三年度の総会には私にとって初めての参加でした。私の意識に共鳴して、信念と希望と絶対に諦めない力を出す勇気を与えて下さいました。ここに改めて感謝致します。また大夕食会におきましても、心

暖まる雰囲気の中で久保田先生を始め会員の皆様との友好的な交流ができたことを嬉しく思います。

翌日の都内観光では、宇宙の意識を日々共感して学び実践されている仲間達と行動を共にすることにより、さらに私自身の内部の意識が高揚していくのが感じられました。またUFOを肉眼で見ても、ビデオカメラにも撮れました。

総会の終わつた夜は眠れませんでした。朝四時頃、空を見渡すとオレンジ色の発光体が二度出現しました。ビデオカメラを出しましたが、その後は現れません。しかしその時、今日は快晴になるという確信が持て、またUFOも見れそうな感じがしましたので、スペース・ピープルの方々にUFOをビデオカメラに撮れるようにお願いして都内観光に参加しました。

そして宇宙的波動の高い人々といることによってスペース・ピープルの祝福を受けたのでしょうか。皇居、浅草、そして都庁においてUFOを撮影できました。

## ホットな波動に包まれた総会

大阪 西本修二

GAPに参加して八カ月です。初めて総会に出席してもらいました。大夕食会や都内観光にも出ました。会員の方々のホットな波動に包まれて、緊張しながらも楽しく過ごさせて頂きました。お世話になった方々に心から感謝致します。

僕は小学生の頃から作家になりたいと願ってきて、二〇歳で高校を卒業してから今まで自費出版を続けてきました。二年前からは中国でも本

を販売していますが、そこで知り合った中国の大学院生の王さんという女性が慶応大学に留学してきたので、総会に招待されました。

その人の感想は「異星人がいるとはなかなか信じられないけれど、地球を良くしていきたいという努力には感動しました」ということです。

中国の人々は二人に一人はUFOに関心があり、北京や上海にもUFOの研究会があります。中国の方々と自費出版を通してコミュニケーションをとりながら、アダムスキー問題を伝えていきたいと思っております。

これからはどんなことでも絶対あきらめないで努力を続けることを僕は誓います。

## 総会に夢中になった私

新潟県 源川 正

久保田先生を始めとして、本部役員の皆様には二日間にかけて随分とお世話になりました。心から御礼申し上げます。

先生の御講演「信念と希望と絶対に諦めない力」はとて心地好く拝聴させて頂きました。時の経つのも忘れるとはこのことかと思うほど夢中になってしまいました。普段は時間や何やかやと他のことが気にかかっていた私が、本当に引き付けられました。きっと先生の御言葉や表情や動作の中に、私が共感や共鳴するフィードバックを感じていたからでしょう。

私はここ数年、新潟支部で星代表の細やかな創意と工夫に満ちた例会に参加させて頂いております。そこでは東京月例会の御講演の録音テー



絶賛発売中

※新アダムスキー全集全巻をまとめてご注文頂きますと定価の10%引き+送料がサービスとなります。

# 新アダムスキー全集

—— 全面改訂・改訳 全10巻 ——

久保田八郎・訳／各四六判



中央アート出版社・発行 104 東京都中央区京橋3-7-13 三成ビル5F ☎03(3561)7017 ●郵便振替 東京8-66324

超絶した大文明を持つ、太陽系の他の惑星群の人々とコンタクトしたアダムスキーを米政府機関は密かにマークしていた！ UFOや惑星群の驚異の実態と深遠な宇宙思想を伝える本全集は、地球人類に宇宙的覚醒の必要性和真の生き方を示す永遠の古典。UFOと宇宙哲学の研究者にとって必読の名著。旧全集を全面改訂した最新決定版。世界に類書なき金字塔！

アダムスキー

## ① 第2惑星からの地球訪問者 352頁・定価1980円

UFO研究者として世界的に有名なジョージ・アダムスキーの、1952年11月20日、米カリフォルニア州の砂漠に着陸した円盤から出てきた金星人との会見から始まる驚異的なコンタクト実録。著者みずから円盤や母船に乗り組み、他の惑星の超絶的大文明の実態を明かにする、本全集の中心の書。写真多数収録。

アダムスキー

## ② 超能力開発法 (テレパシー、遠隔透視その他) 192頁・定価1300円

世間に氾濫する通俗的な超能力開発法とは根本から異なる宇宙的能力の発現法を説いたもの。目、耳、鼻、口、の四官をコントロールして、肉体内部の宇宙の意識から来るメッセージを感じ、真の意味でのテレパシー、遠隔透視その他の超能力を身につける方法を具体的に詳述。類書皆無の重要文献。

アダムスキー

## ③ 21世紀/生命の科学 208頁・定価1300円

アダムスキーが他界する前年に出した12冊分の講座を一冊にまとめたもの。アダムスキー宇宙哲学の総合的な大金字塔。特に人体細胞の実態と真実のテレパシー、及び霊界通信の誤り等を科学的に解説した超能力開発指導書。心霊現象への接近を警告する画期的な理論を明快に説く、第5巻の統編として必読のテキスト。

アダムスキー

## ④ UFO問答100 216頁・定価1300円

1958年にアダムスキーは、世界中から来る質問の洪水を分類して質疑応答集を出した。全部で100問のUFO関係の質問に懇切な回答を与えている。現在の混迷した世界のUFO研究界に的確な示唆と回答を示すものとして、内容は今も驚くほど新鮮で有用である。UFO研究者の素晴らしいガイドブック。

アダムスキー

## ⑤ 金星・土星探訪記 380頁・定価2400円

アダムスキーが大母船に乘せられて、想像を絶する進歩をとげた金星と木星を訪れた体験記。特に金星人の少女として生まれかわった亡き妻メリーとの劇的な対面が1巻。第2部には1958年以来、日本におけるアダムスキーの代理人として啓蒙活動に専念している久保田八郎宛の多数の書簡を収録。

アダムスキー

## ⑥ UFOの謎 262頁・定価1980円

UFOの推進原理をはじめ、聖書とUFOとの関連などを詳述して様々なミステリーを解明した重要な文献。第2部はアダムスキーの世界講演旅行記で、各国GAP網の活動状況が克明に描写されていて1960年代のUFO研究界の友情と一般人の宇宙観がよく理解できる。第1巻の統編。

アダムスキー

## ⑦ 21世紀の宇宙哲学 148頁・定価1030円

地球人が真に宇宙的な成長をとげるための基本的思想として、マインド(心)と肉体内部に宿る宇宙の意識との一体化を説いた書。既成のあらゆる宗教や哲学では理解し得なかった人間の意識と万物との関係を説いて21世紀の思想を先取りした。第5巻、6巻と合わせてアダムスキー哲学の三部作をなす。

アダムスキー

## ⑧ UFO・人間・宇宙 370頁・定価2400円

アダムスキー支持活動団体として世界のトップクラスをゆく日本GAPの機関誌に掲載された、アダムスキーのUFOと宇宙哲学関係の論文、講演録等を編集。他界する直前の最後の講演が1巻。第2部には訳者・久保田八郎が再三渡米してアダムスキーの今は亡き高弟たちと接したインタビュー記事を収録。

アダムスキー

## ⑨ UFOの真相 320頁・定価1980円 1991年4月刊!

アダムスキーの薫陶を受けた人達の論説・講演録等を収録。宇宙の実態と人間味豊かな庶民性をあわせもつ偉人の素顔を多角的に描写。A氏の高弟アリス・ボマロイ、キース・フリットクロフト、ハンズ・ビーターセン、金星文字を解説して画期的な永久モーターを開発したバシル・バン・デン・バーグラの証言が1巻。「サンビエトロ大寺院の異星人」と題する久保田八郎の体験記も興味深い。

アダムスキー

## ⑩ 超人ジョージ・アダムスキー 232頁・定価1300円

歴大な新アダムスキー全集の最後をしめくくる完結篇。アダムスキーの宇宙的な活動と深遠な哲学を集約して伝えるとともに、彼の伝記をも加えてこの偉人の人間像を克明に描写。これ1冊でアダムスキー問題の何たるかが理解できる全集のコンパクト版。豊富な写真入り。国際的なアダムスキー研究者・久保田八郎が書き下ろし執筆。

## UFO—宇宙からの完全な証拠 480頁・定価2800円

ダニエル・ロス著／久保田八郎訳

アメリカの気鋭UFO研究者ダニエル・ロス氏が全力で展開したUFO問題の真相。月・惑星探査結果に関するNASA(米航空宇宙局)の隠蔽工作を暴露し、アダムスキーの体験の真実性を科学的に実証した画期的な内容の本書は、UFOの研究者のみならず、宇宙科学に関心ある人にもきわめて有益な知識情報の源泉となる。写真多数掲載。

# UFO・遭遇と真実 —日本編—

★久保田八郎著 ￥1500 送料￥250 四六判・246頁 美麗カバー付

日本で発生した驚異的なUFO事件を8件選び、わが国UFO研究界の第一人者・久保田八郎が新たに書き下ろして読みやすく編集した本書は、類書がないほどに不可思議な事件に満ちています。実証主義をつらぬく著者が各事件現場を検証、体験者や証人達に直接会って徹底的に調査した結果、真実そのものであると確認した事件のみを流麗な筆致で活写。豊富な写真・イラストとあいまって読者を大気圏外の世界へ誘う稀有の保存資料です。

■書店で品切れの際は下記へ郵便振替か現金書留でご注文下さい。

中央アート出版社 〒104 東京都中央区京橋3-7-13

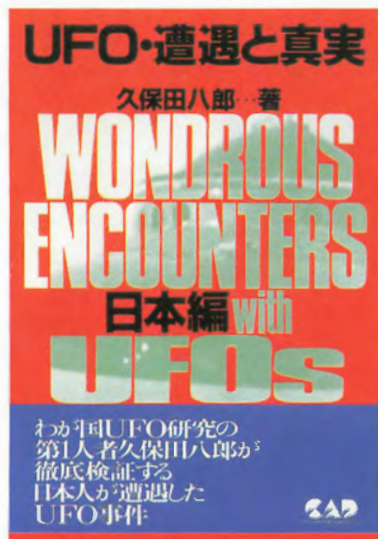
振替・東京8-66324

※上記の書籍は日本GAPでも取扱います。著者の署名捺印入り。

ハガキでご注文下されれば代金後払いで直送します。

## 〈内容〉

- ①関東大震災中に横浜で人々を救出した円盤
- ②東京タワーから少年が円盤と塔乗員を目撃
- ③高松市に超低空で降下した円盤と手を振る少年
- ④旭川市郊外の夜空に展開した物凄い光景
- ⑤UFOに乗せられてエジプトまで飛んだ少年
- ⑥熱烈な願いに応えて出現したUFOを撮影
- ⑦尾道市に出現したアダムスキー型円盤と母船
- ⑧円盤や母船に乗って別な惑星に行ってきた秋山真人氏



## 英文版「UFO contactee」No.9 発行 日本GAP

B5版/12頁/コート紙使用/¥500 送料¥175/3冊まで¥250

日本GAP発行の英文版ユーコン誌は、未来に希望をもつ理想主義的なUFO専門誌として、世界各国のUFO研究団体や個人から絶賛をおびています。最近もイギリスの研究者エリック・オグデン氏から「次号がまだ来ない。中止されたのなら大変悲しいことだ」と伝えてきました。No.9は日本語版ユーコン誌117号掲載の「巨大宇宙船、デザートセンター上空に出現!」と123号掲載の「凄異超能力者のUFO目撃と遠隔透視」を英訳。アダムスキーの「質疑応答」の連載等、有益な記事が流麗な英文で掲載されています。英語学習用にも好適。ぜひお求め下さい。(No.1～No.3は品切れです)

## 編集後記

\*\*\*\*\*

★年頭に際しましては多数の方から年賀状を頂きました。厚く御礼を申し上げます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

★前号の編集後記では大きなミスが生じまして深くお詫び致します。一二三号の正式な編集後記が必要な方はハガキでお申し込み下さい。送料サービスでお送りします。

★本号には多数の記事を掲載しました。白眉はアダムスキーとエドワード・ルツベルト大尉の対話「UFO・宇宙・人間」です。この大宇宙に人間という生物が存在すること自体、非常に不思議です。この理由を考えているだけでも気が遠くなりそうです。地球の哲学も科学もすべてむなしくみえてきそうです。

★昨年度の日本GAP総会は大盛況でした。この講演録を掲載しましたが、さて、どうでしょうか。感想をお聞かせ下さい。どうでしょうか。感想をお聞かせ下さい。

★今年前半は地方支部大会が三カ所で開催されました。詳細予告は本号四三頁から出ていますので、ご参加下さい。

★日本GAP企画の海外研修旅行は一年続きましたが、不況のために今年の旅行は五つまで中止します。多数ご参加のほどを。

★UFO目撃報告、UFO写真、超能力開発体験、宇宙哲学研究実践談、宇宙科学等の原稿や資料を募集しています。原稿書きの苦手な方には面談して取材します。ご遠慮なくご応募下さい。

★本誌は多数のヴォランティアにより全国の主要書店に卸されています。この活動に参加希望の方はハガキでお申し込み下さい。説明書をお送りします。

日本GAP専門誌・季刊 春季号  
**UFO contactee** 124号  
 編集発行人 久保田八郎  
 発行所 日本GAP  
 〒133東京都江戸川区本一色1-12-11 3組  
 ☎03-3651-1095 8  
 振替 東京4-355912  
 定価九二七円(本体九〇〇円・送料240円)  
 ※本誌掲載の全記事写真共、他の印刷物への無断転載を禁じます。

(K)

1994年度

# 日本GAP全国月例セミナー案内

支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※3月のみは6階67号室に変更。	港区芝公園3丁目5-8「機械振興会館」地下3F第2研修室。 ☎03-3434-8216。JR浜松町駅下車。東京タワーの正面前。 浜松町駅から東京タワー行きバスで約8分。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-3651-0958 ※日曜日は正面玄関が閉じられているので、右へ回って建物の右側面の入口から入る。	会 場 費 ¥1000 セ ミ ナ ー 受 講 料 ¥1500 計 ¥2500	1:00→1:30 会員による講演。 1:30→3:00 久保田会長による講演。 ※平成6年1月よりテキストを新全集2巻「超能力開発法」に変更。 3:10→5:00 超能力開発練習/近況報告/質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JRまたは阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-436-3478	¥500	東京月例会における久保田会長の講演録音テープを公開。 テキストその他=東京本部と同じ。
新潟支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	新潟市東万代町9「新潟市青年の家」(万代市民会館と同じ建物) ☎025-246-7711。JR新潟駅より徒歩5分。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同 上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30 ※3月のみは第1日曜日の6日に変更。	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。☎052-331-2141代。 JR東海・名鉄・地下鉄の金山橋より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥300	同 上
仙台支部	毎月第3日曜日 午後1:10→4:20 ※当分の間、セミナーは中止。	仙台市青葉区米ヶ袋1-1-35「仙台市片平市民センター」会議室。 ☎022-227-5333。仙台駅からお豊橋経由動物公園方面バスで約7〜10分。東北大正門下車、真向かいの建物。 連絡先=笠原弘可 ☎022-284-2910	¥300	同 上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※日時に変更があるため、毎月事前に柴田宛電話で問い合わせること。	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎0236-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥300	同 上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時・会場は不定につき、事前に高野宛問い合わせること。	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821。 連絡先=高野省志 ☎011-783-6393	¥500	同 上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	旭川市五条4丁目「旭川ときわ市民ホール」3F 302研修室 ☎0166-23-5577 連絡先=川上三秀 ☎0166-61-0044	¥500	同 上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→4:30	具志川市栄野比1213-1「具志川市野外レクセンター」会議室。 ☎09897-2-7722 連絡先=里 孝人 ☎098-869-9964	¥500	同 上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00 ※4月は支部大会なるも月例セミナーは開催。	秋田市八幡運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377。 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	¥500	同 上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※3月は支部大会のため月例セミナーは中止。	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市技能文化会館」7F 703号室。 ☎045-681-6511。JR 関内駅、地下鉄・伊勢崎長者町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎03-5951-3518	¥500	同 上
茨城支部	毎月第4日曜日 午後1:20→5:00	水戸市梅香1-2「三の丸公民館」小集会室。 ☎0292-24-6600。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎0292-73-1903	¥300	同 上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	塩尻市大門7番町「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253。 連絡先=博田文喜 ☎0263-58-8510	¥500	同 上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※日時と会場については小川宛事前に問い合わせること。	和歌山県新宮市新宮6682-1「新宮市福祉センター」1F相談室。 ☎0735-21-2760。JR 西日本新宮駅下車、徒歩5分。 連絡先=(副代表)小川隆志 ☎0735-32-2834	¥300	同 上
栃木支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿沼市市役所裏「御殿山会館」1F小会議室。 ☎0289-64-4334。JR 鹿沼駅から西へ1.5km。東武新鹿沼駅から北へ1.5km、市内行きのバスに乗り天神町下車。徒歩5分。 連絡先=渡辺克明 ☎0289-62-3319	¥500	同 上
南九州支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	指宿市東方12000番地「指宿市民会館」 ☎0993-22-4105 連絡先=鶴田清則 ☎0993-25-3252	¥500	同 上
高松支部	毎月第3日曜日 午後1:30→4:30	香川県坂出市寿町1-3-5「坂出勤労福祉センター」 ☎0877-46-2463 JR 坂出駅より徒歩10分。 連絡先=関 高明 ☎0875-72-2698	¥500	同 上
伊豆支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30 ※日時に変更があるため事前に高梨宛電話。 ※5月は支部大会のため月例セミナーは中止。	静岡県三島市一番町20-5「三島市民文化会館」第3会議室。 ☎0559-76-4455。三島駅より徒歩3分。 連絡先=高梨十光 ☎0558-72-7832	¥500	同 上



### オーソン肖像写真

新アダムスキー全集第1巻に出てくる金星人の肖像。目撃者アリス・ウェルズ女史のスケッチにもとづいて女流画家ゲイ・ベッツが描いた等身大の油絵の写真。10.5cm×17cm。

¥1,000 送料 ¥120



### 金星のシンボルマーク

中央の眼は万物を見透すパワーをあらわし、周囲の4層の星は人間のマインド(心)の発達状態をあらわしています。9.3cm×8.8cm。

¥500 送料 ¥62



### ESPカード

超能力開発練習用としてアメリカのデューク大学で開発されたカード。5種類の図形カード各5枚ずつ、計25枚1セット。堅牢な厚紙製。重さ40gの軽量。5.7cm×8.9cm。ポケットに入れて携帯するのに便利なので、どこでも気軽に練習できます。

¥1,600 送料 ¥175



### テレフォンカード

日本GAP特製テレフォンカードの第6弾。1952年11月20日、米カリフォルニア州デザートセンターでアダムスキーがコンタクトした金星人が、地面に残した靴の跡の不思議な図形を今回は取り入れました。これは今も謎のままになっています。

¥1,500 送料10枚まで ¥62



### GAPキーホルダー

多数の方の要望にお応えして制作したオリジナル・キーホルダー。シンボルマークの周囲を「WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識とともに)」の金文字が取り巻く優雅なデザイン。メタル部分は径3.2cm、全長9cm。

¥1,900 送料 ¥120



### 会員バッジ

金星のシンボルマークが金色に輝く優雅なデザイン。表面の透明樹脂がキズを防ぎ、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏の留め金が心棒ネジ留め式。女性用は安全ピン式。ご注文の際は、いずれかを明記して下さい。実物径1.7cm。

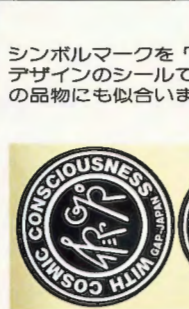
¥2,000 送料4個まで ¥120



### ブックカバー

新アダムスキー全集のカヴァー用に作られたものですが、同じ大きさの四六判の書籍ならどれにも利用できます。表側の中央にシンボルマークと「宇宙の意識とともに」という意味の英文が金色で箔押しされた濃紺色の優雅なデザインです。人造皮革製。

¥1,200 送料 ¥175 5枚まで ¥250



### GAPシール

シンボルマークを「宇宙の意識とともに」の英文が取り巻く優雅なデザインのシールです。黒地のため黒カバンや黒い物に最適。色物の品物にも似合います。

¥200 送料10枚まで ¥62

## 新アダムスキー全集★★★★訳・著者 久保田八郎のサイン・捺印入り!!★★★★

中央アート出版社刊の新アダムスキー全集を日本GAPでも取り扱います。各巻とも扉に久保田八郎の直筆サインと捺印を入れてお届けします。全巻注文の割引はありません。送料はご注文内容によって異なりますので、ご注文の際は書籍代のみご送金下さい。書籍発送の際、送料の請求書と振込用紙を同封します。ハガキでご注文下されば代金あと払いでお送りします。(電話によるご注文はご遠慮下さい)

申込先

住所、氏名、電話番号、商品名、種類、個数等をご明記の上、郵便振替または現金書留でお申込下さい。代金後払いのご注文も承ります。ハガキに上記項目をご記入の上、投函して下さい。品物をお送りするときに専用振替用紙を同封しますから、現品到着後、それを用いて郵便局よりご送金下さい。振替によるご送金は当方へ到着す

るまでに約1週間かかります。この欄の商品はすべて消費税は無関係です。

〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1-511  
日本GAP 振替・東京4-35912 ☎03-3651-0958



### 日本GAP能力開発テープ

#### ●日本GAP東京月例セミナー

毎月開催される東京本部月例セミナーから、久保田会長の「生命の科学」解説講義と質疑応答その他を録音したもの。これを聴けば絶大な信念と勇気がわきあがり、人生の荒波を超えて成功をめざして堂々と前進できます。

●テープ① ¥1500 送料 ¥175

〈内容〉久保田会長による新アダムスキー全集第3巻「生命の科学」の講義。近況報告付

●テープ② ¥1200 送料 ¥175

〈内容〉会員による講演、超能力開発練習。質疑応答。※1990年以前のバックナンバーあり。往復ハガキでお問い合わせ下さい。

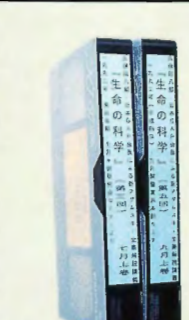
●1993年度日本GAP総会

2巻セット ¥2700 送料 ¥250

〈内容〉久保田会長講演「宇宙的な信念と勇気を起こす方法」。質疑応答。

申込先

申込先「品名」「〇年〇月分」「個数」「お名前・ご住所・電話番号」等を明記の上、郵便振替でお申し込み下さい。  
〒133 東京都江戸川区本一色1-24-3-202  
松村芳之 振替・東京0-162644 ☎03-3653-9387



### 日本GAPビデオ

臨場感溢れる画像があなたを会場に引き込み、宇宙的な一体感を起こします。全巻VHS。

●東京本部月例セミナー 全1巻 ¥4000

〈内容〉久保田会長の解説講義、他、約120分。

●日本GAP総会 全2巻各 ¥3000

〈内容〉毎年開催される日本GAP総会を完全収録。(1989年度分からは在庫あり)

●日本GAP海外研修旅行 全1巻 ¥3000

〈内容〉旅行のハイライトをまとめた楽しいビデオ。(1989年度分からは在庫あり)

●1992年度デザートセンター調査行 全1巻 ¥3000

〈内容〉1952年11月20日、アダムスキーが金星人とコンタクトした地点その他を調査した記録。送料はビデオ1本 ¥360。2本以上3本まで ¥670。4本以上7本までは距離に応じて変わります。

申込先

ご注文の際は品名、〇年〇月分、上下巻の区別、個数、住所氏名、電話番号を明記の上、郵便振替でお申し込み下さい。  
〒162 東京都新宿区富久町36-18 富久マンション103  
伊東芳和 振替・東京4-13811 ☎03-3351-9526

先着500名様限り

サジェストロニクス  
**超高速英語学習**  
試聴用  
デモテープ

「短期間に英会話をマスターしたい」「ほんとうにしゃべれる英語を身につけたい」「楽しく聴いて、しかも聴きこえるテープがほしい」「そんな方にぜひお勧めします。BGMとして楽しんでいるだけで、『自然に英語を口ずさみ始める』」

●BGM感覚で聴き流しているだけで、自然に英語が身についてしまつて、アメリカ出身の、パルサード博士の手になる超高速学習テープ「サジェストロニクス・ラーニング」がアメリカからやってきました。

●実際の効果を試せる「試聴用デモテープ」を、この広告をご覧の方先着500名様無料で差し上げます。

●お申込みは今すぐ下記の住所までおハガキ、お電話でどうぞ。

サジェストロニクス・ラーニングテープとは、モーツァルト、バッハ、ビバルディ等のクラシック音楽を、アメリカで特訓を受けた加速教育ナレーションの専門家が独自の技法を用い、音楽と絶妙のハーモニーをかも出しながら、3パターンのナレーションを吹き込んだ特殊な聴覚テープ。

●歌の歌詞を聴き流すように自然に頭に入つてゆく「何處聴いても飽きがこない」BGM感覚で、心地よく苦痛なしに聴けるというのがこのテープの特徴。子供が母親から言葉を吸収してゆくように、自然に体が英語を吸収してゆきます。

下記までおハガキ、又は電話で、超高速英語学習デモテープ「希望」と明記してお申込み下さい。詳しい案内書と試聴用デモテープをお送りします。

**サブミナルテープ<sup>®</sup> 無料進呈!**  
サブミナルテープ<sup>®</sup>の美しい音楽をBGMとして聴くだけで—  
**あなたの人生が変わる!**

1,2,3のいずれかをお選び下さい。

**サンプルテープ1** ●テーマ名=リラクゼーション  
●効果=心身の安らぎ・ストレスコントロール・大脳の活性化。●イライラした時、勉強の前、気分が乗らない時などに聴くと効果的。

**サンプルテープ2** ●テーマ名=マッサージ  
●効果=心身の安らぎ・疲労回復・大脳、全身の血行促進。●疲れた時、風呂上がり、夜眠れない時等に聴くと効果的。

**サンプルテープ3** ●テーマ名=記憶力を高める  
●効果=記憶力の向上。頭が冴えない時、勉強の前等に聴くと効果的。●繰り返し聴く事により記憶力が徐々に向上していく。

●「記憶力・集中力強化」「魅力的な性格」「学力向上」「減量」「心のやすらぎ」「最高の頭脳」等々を努力なしに現実のものにしてくれる、アメリカからやってきた「サブミナルテープ」がNHK等でも紹介され、話題になっています。

●実際の効果を試せる「試聴用サンプルテープ」(心身の安らぎ・頭脳の活性化・記憶力の向上に効果あり)を、この広告をご覧の方、先着500名様無料で差し上げます。今すぐおハガキ、お電話でお申込み下さい。

サブミナルテープとは、ストレスを解消し、気分をさわやかにする特殊な音楽に、「特定の効果をもたず、耳に聴こえない周波数に変換された心理的メッセージ」を同調させた特殊な音楽テープ、BGMとして聴き流しているだけで、自然に潜在能力が開発されたり、理想的な習慣が身につきます。「試聴用サンプルテープ」と同時に「能力開発」「心身の健康」「性格の改善」等の各シリーズの案内書をお送りいたします。

能力を飛躍的に引き出す最終兵器  
クリアなデジタルサウンドで潜在意識をダイレクトに刺激

**更なる自己実現** 新発売  
**サブミナルCD**  
コンパクト・ディスク

★アメリカでは年間50万本以上の爆発的大ヒット! 全米の研究機関でも実証済み!! ★

知能活性新シリーズとしてCD版登場!

多数のお客様より好評を頂いておりますサブミナルテープシリーズ、従来はカセットテープのみの販売でしたが「是非ともCD化して欲しい」と数多くのお客様の声を頂き、その要望に応えるべく研究を重ねついにサブミナルCDの開発に成功致しました。よりクリアなサウンドで音楽としても更に楽しめるだけでなく、潜在意識の層で眠っている自分の本来の能力を引き出します。あなたのサウンド・コレクションの一つに加えて頂ければ幸いです。

特別特典サービス!  
サブミナルビジュアルサポート  
ビデオソフト付

- 3 記憶能力の強化 4 脳波(アルファ波)強化  
5 思考力を身につける 6 独自才能を目覚めさせる
- 二覧頂いた通り異なる6つの角度から知能の活性化を行いビジュアルで能力開発を更にサポートします。自分の才能を伸ばし活躍されたい方にとっては、まさにビックリのテーマです。

- 頒布会方式  
商品代金4,800円×8回+送料・梱包代700円
- 一括お届け方式 (発送物・CD6枚とビデオ1本)  
商品代金36,800円+送料・梱包代700円
- (※各方式とも消費税は別)

知能活性新シリーズであなたも **スーパーマンに!!**

知能活性新シリーズは超人に変身する目的で開発されたサブミナルCDのことです。超人に変身するとは、従来ほんのわずかしが使用されていなかった能力を目覚めさせ、それを最大限に活かし能力的超人に変身させることです。そのためのCDが次にあげる6枚です。 1 基本知能の目覚め 2 総合知能の向上

試聴用サンプルテープ・デモテープ、又はサブミナルCD購入をご希望の方は、

住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、「無料サンプルテープ①又は②又は③希望」「超高速英語学習デモテープ希望」、または「サブミナルCD購入希望」と左記までおハガキか、お電話の方は下記までお申込み下さい。(今回の申込みでお届けしたテープ・案内書等の返品義務や商品購入の義務は全くなりませんので安心して申込み下さい。)

お電話での **0120-363-002** 受付時間AM8~PM23 (日・祝日も受付中)

希望

●住所  
●氏名  
●電話番号  
●年齢  
●職業

郵便はがき  
〒107

東京都港区南青山  
2-19-24  
アメリカライブラリー社  
2009係